

本資料のうち、枠囲みの内容は、機密事項に属しますので公開できません。

柏崎刈羽原子力発電所第7号機 工事計画審査資料	
資料番号	KK7 添-1-001-1-13 改1
提出年月日	2020年8月28日

V-1-1-1-1 発電用原子炉の設置の許可（本文（五号））

との整合性に関する説明書

（その13）：常用電源設備，非常用電源設備，補機駆動用燃料  
設備

2020年8月

東京電力ホールディングス株式会社

設置変更許可申請書（本文（五号））	設置変更許可申請書（添付書類八） 該当事項	設計及び工事の計画 該当事項	整合性	備考
<p>(i) 全交流動力電源喪失対策設備</p> <p><u>全交流動力電源喪失時から重大事故等に対処するために必要な電力の供給が常設代替交流電源設備から開始されるまでの約 70 分を包絡した約 12 時間に対し、発電用原子炉を安全に停止し、かつ、発電用原子炉の停止後に炉心を冷却するための設備が動作するとともに、原子炉格納容器の健全性を確保するための設備が動作することができるよう、これらの設備の動作に必要な容量を有する</u> <u>□(3)(i)a.(i)-①蓄電池（非常用）</u> <u>を設ける設計とする。</u></p>	<p>10. その他発電用原子炉の附属施設</p> <p>10.1 非常用電源設備</p> <p>10.1.1 通常運転時等</p> <p>10.1.1.2 設計方針</p> <p>10.1.1.2.2 全交流動力電源喪失</p> <p>発電用原子炉施設には、<u>全交流動力電源喪失時から重大事故等に対処するために必要な電力の供給が常設代替交流電源設備から開始されるまでの約 70 分を包絡した約 12 時間に対し、発電用原子炉を安全に停止し、かつ、発電用原子炉の停止後に炉心を冷却するための設備が動作するとともに、原子炉格納容器の健全性を確保するための設備が動作することができるよう、これら設備の動作に必要な容量を有する非常用直流電源設備である蓄電池（非常用）を設ける設計とする。</u></p> <p>&lt;中略&gt;</p> <p>10.1.1.4 主要設備</p> <p>10.1.1.4.4 直流電源設備</p> <p>非常用直流電源設備は、第 10.1-3 図に示すように、非常用所内電源系として、直流 125V 4 系統から構成する。</p> <p>非常用所内電源系の直流 125V 系統は、非常用低圧母線に接続される充電器 7 台、蓄電池 4 組等を設ける。これらの 4 系統のうち 1 系統が故障しても発電用原子炉の安全性は確保できる。</p> <p>また、これらの系統は、多重性及び独立性を確保することにより、共通要因により同時に機能が喪失することのない設計とする。直流母線は 125V であり、非常用直流電源設備 4 組の電源の負荷は、工学的安全施設等の制御装置、電磁弁、バイタル交流母線に給電する静止型無停電電源装置等である。</p> <p>&lt;中略&gt;</p>	<p><b>【非常用電源設備】</b></p> <p>（基本設計方針）</p> <p>第 2 章 個別項目</p> <p>3. 直流電源設備及び計測制御用電源設備</p> <p>3.1 常設直流電源設備</p> <p>&lt;中略&gt;</p> <p>直流電源設備は、<u>全交流動力電源喪失時から重大事故等に対処するために必要な電力の供給が常設代替交流電源設備から開始されるまでの約 70 分を包絡した約 12 時間に対し、発電用原子炉を安全に停止し、かつ、発電用原子炉の停止後に炉心を冷却するための設備が動作するとともに、原子炉格納容器の健全性を確保するための設備が動作することができるよう、これらの設備の動作に必要な容量を有する</u> <u>□(3)(i)a.(i)-①直</u> <u>流 125V 蓄電池を設ける設計とする。</u></p> <p>非常用の直流電源設備は、直流 125V4 系統の蓄電池、充電器、直流 125V 主母線盤等で構成する。これらの 4 系統のうち 1 系統が故障しても発電用原子炉の安全性は確保できる設計とする。また、これらの系統は、多重性及び独立性を確保することにより、共通要因により同時に機能が喪失することのない設計とする。直流母線は 125V であり、非常用直流電源設備 4 組の電源の負荷は、工学的安全施設等の制御装置、電磁弁、交流 120V バイタル分電盤に給電するバイタル交流電源装置等である。</p> <p>&lt;中略&gt;</p>	<p>設計及び工事の計画の <u>□(3)</u> <u>(i)a.(i)-①</u> は、設置変更許可申請書（本文（五号））の <u>□(3)(i)a.(i)-①</u> と同義であり、整合している。</p>	

設置変更許可申請書（本文（五号））	設置変更許可申請書（添付書類八） 該当事項	設計及び工事の計画 該当事項	整合性	備考
	<p>10.1.1.4.5 計測制御用電源設備</p> <p>非常用の計測制御用電源設備は、第10.1-4図に示すように、バイタル交流120V 4母線及び計測母線120V 3母線で構成する。</p> <p>バイタル交流母線は、4系統に分離独立させ、それぞれ静止形無停電電源装置から給電する。</p> <p>静止形無停電電源装置は、外部電源喪失及び全交流動力電源喪失時から重大事故等に対処するため、非常用直流電源設備である蓄電池（非常用）から直流電源が供給されることにより、静止形無停電電源装置内の変換器を介し直流を交流へ変換し、バイタル交流母線に対し電源供給を確保する。</p> <p>静止型無停電電源装置のうち、原子炉核計装の監視による発電用原子炉の安全停止状態及び未臨界の維持状態の確保のため、区分Ⅰは全交流動力電源喪失時から重大事故等に対処するために必要な電力の供給が常設代替交流電源設備から開始されるまでの約70分間を包絡した約12時間、電源供給が可能である。なお、静止型無停電電源装置のうち、区分Ⅱ、区分Ⅲ及びⅣは約1時間、電源供給が可能である。</p> <p>そのため、原子炉核計装の監視による発電用原子炉の安全停止状態及び未臨界の維持状態の確認を可能とする。</p> <p>&lt;中略&gt;</p>	<p>3.5 計測制御用電源設備</p> <p>&lt;中略&gt;</p> <p>非常用の計測制御用電源設備は、バイタル交流電源装置4母線及び中央制御室計測用主母線盤3母線で構成する。</p> <p>非常用の計測制御用電源設備は、非常用低圧母線及び非常用直流母線に接続するバイタル交流電源装置並びに中央制御室計測用主母線盤等で構成し、原子炉核計装の監視による発電用原子炉の安全停止状態及び未臨界の維持状態の確認が可能な設計とする。</p> <p>バイタル交流電源装置7Aは、外部電源喪失及び全交流動力電源喪失時から重大事故等に対処するために必要な電力の供給が常設代替交流電源設備から開始されるまでの間においても、非常用直流電源設備である直流125V蓄電池から直流電源が供給されることにより、交流120Vバイタル分電盤に対し電力供給を確保する設計とする。</p> <p>なお、バイタル交流電源装置7B,7C及び7Dは約1時間、電力供給が可能な設計とする。</p>		

設置変更許可申請書（本文（五号））	設置変更許可申請書（添付書類八） 該当事項	設計及び工事の計画 該当事項	整合性	備考
<p>(ab) 保安電源設備</p> <p><u>発電用原子炉施設は、重要安全施設がその機能を維持するために必要となる電力を当該重要安全施設に供給するため、電力系統に連系した設計とする。</u></p> <p>また、<u>発電用原子炉施設には、<span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">□(3)(i)a.(ab)-①</span>非常用電源設備（安全施設に属するものに限る。以下、本項において同じ。）を設ける。</u></p>	<p>（保安電源設備）</p> <p>第三十三条 適合のための設計方針</p> <p>1 について</p> <p><u>発電用原子炉施設は、重要安全施設がその機能を維持するために必要となる電力を当該重要安全施設に供給するため、500kV送電線（東京電力パワーグリッド株式会社新新潟幹線及び東京電力パワーグリッド株式会社南新潟幹線）2ルート4回線（1号、2号、3号、4号、5号、6号及び7号炉共用、既設）及び154kV送電線（東北電力株式会社荒浜線）1ルート1回線（1号、2号、3号、4号、5号、6号及び7号炉共用、既設）で電力系統に連系した設計とする。</u></p> <p>2 について</p> <p><u>発電用原子炉施設に、非常用所内電源設備として非常用交流電源設備である非常用ディーゼル発電機及び非常用直流電源設備である蓄電池（非常用）を設ける設計とする。また、それらに必要な燃料等を備える設計とする。</u></p>	<p>【常用電源設備】 （基本設計方針）</p> <p>第2章 個別項目</p> <p>1. 保安電源設備</p> <p>1.2 電線路の独立性及び物理的分離</p> <p><u>発電用原子炉施設は、重要安全施設がその機能を維持するために必要となる電力を当該重要安全施設に供給するため、電力系統に連系した設計とする。</u></p> <p>&lt;中略&gt;</p> <p>【非常用電源設備】 （基本設計方針）</p> <p>第2章 個別項目</p> <p>2. 交流電源設備</p> <p>2.1 非常用ディーゼル発電設備</p> <p><u>発電用原子炉施設は、重要安全施設がその機能を維持するために必要となる電力を当該重要安全施設に供給するため、電力系統に連系した設計とする。</u></p> <p><u>発電用原子炉施設には、電線路及び当該発電用原子炉施設において常時使用される発電機からの電力の供給が停止した場合において発電用原子炉施設の安全性を確保するために必要な装置の機能を維持するため、<span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">□(3)(i)a.(ab)-①a</span>内燃機関を原動力とする非常用電源設備を設ける設計とする。</u></p> <p>発電用原子炉施設の安全性を確保するために必要な装置（非常用電源設備及びその燃料補給設備、使用済燃料貯蔵プールへの補給設備、原子炉格納容器内の圧力、温度、酸素・水素濃度、放射性物質の濃度及び線量当量率の監視設備並びに中央制御室外からの原子炉停止設備）は、内燃機関を原動力とする非常用電源設備の非常用ディーゼル発電設備からの電源供給が可能な設計とする。</p> <p>&lt;中略&gt;</p>	<p>設計及び工事の計画の<span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">□(3)(i)a.(ab)-①a</span>及び<span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">□(3)(i)a.(ab)-①b</span>は、設置変更許可申請書（本文（五号））の<span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">□(3)(i)a.(ab)-①</span>を具体的に記載しており、整合している。</p>	

設置変更許可申請書（本文（五号））	設置変更許可申請書（添付書類八） 該当事項	設計及び工事の計画 該当事項	整合性	備考
		<p>3. 直流電源設備及び計測制御用電源設備</p> <p>3.1 常設直流電源設備</p> <p>設計基準対象施設の安全性を確保する上で特に必要な設備に対し、直流電源設備を施設する設計とする。</p> <p>直流電源設備は、全交流動力電源喪失時から重大事故等に対処するために必要な電力の供給が常設代替交流電源設備から開始されるまでの約70分を包絡した約12時間に対し、発電用原子炉を安全に停止し、かつ、発電用原子炉の停止後に炉心を冷却するための設備が動作するとともに、原子炉格納容器の健全性を確保するための設備が動作することができるよう、これらの設備の動作に必要な容量を有する <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">□(3)(i)a.(ab)-①b</span> 直流125V蓄電池を設ける設計とする。</p> <p>&lt;中略&gt;</p> <p>3.5 計測制御用電源設備</p> <p>設計基準対象施設の安全性を確保する上で特に必要な設備に対し、計測制御用電源設備として、無停電電源装置であるバイタル交流電源装置を施設する設計とする。</p> <p>&lt;中略&gt;</p> <p>バイタル交流電源装置7Aは、外部電源喪失及び全交流動力電源喪失時から重大事故等に対処するために必要な電力の供給が常設代替交流電源設備から開始されるまでの間においても、非常用直流電源設備である直流125V蓄電池から直流電源が供給されることにより、交流120Vバイタル分電盤に対し電力供給を確保する設計とする。</p> <p>なお、バイタル交流電源装置7B,7C及び7Dは約1時間、電力供給が可能な設計とする。</p>		

設置変更許可申請書（本文（五号））	設置変更許可申請書（添付書類八） 該当事項	設計及び工事の計画 該当事項	整合性	備考
<p><u>保安電源設備（安全施設へ電力を供給するための設備をいう。）は、電線路、発電用原子炉施設において常時使用される発電機、外部電源系及び非常用電源設備から安全施設への電力の供給が停止することがないように、発電機、送電線、変圧器、母線等に保護継電器を設置し、機器の損壊、故障その他の異常を検知するとともに、異常を検知した場合は、ガス絶縁開閉装置あるいはメタルクラッド開閉装置等の遮断器が動作することにより、その拡大を防止する設計とする。</u></p> <p><u>特に□(3)(i)a.(ab)-②重要安全施設においては、多重性を有し、系統分離が可能である母線で構成し、信頼性の高い機器を設置するとともに、非常用所内電源系からの受電時の母線切替操作が容易な設計とする。</u></p>	<p>3 について</p> <p><u>保安電源設備（安全施設へ電力を供給するための設備をいう。）は、電線路、発電用原子炉施設において常時使用される発電機、外部電源系及び非常用所内電源系から安全施設への電力の供給が停止することがないように、発電機、外部電源、非常用所内電源設備、その他の関連する電気系統機器の短絡若しくは地絡又は母線の低電圧若しくは過電流等を保護継電器にて検知できる設計とする。また、故障を検知した場合は、ガス絶縁開閉装置あるいはメタルクラッド開閉装置等の遮断器により故障箇所を隔離することにより、故障による影響を局所化できるとともに、他の安全機能への影響を限定できる設計とする。</u></p> <p>&lt;中略&gt;</p> <p>10. その他発電用原子炉の附属施設</p> <p>10.3 常用電源設備</p> <p>10.3.4 主要設備</p> <p>10.3.4.5 所内高圧系統</p> <p>常用の所内高圧系統は、6.9kVで第10.1-1図に示すように常用4母線、6号及び7号炉共用4母線で構成する。</p> <p>常用高圧母線………所内変圧器又は共通用高圧母線から受電する母線</p> <p>共通用高圧母線………起動変圧器から受電する母線（6号及び7号炉共用）</p> <p>これらの母線は、母線ごとに一連のメタルクラッド開閉装置で構成し、遮断器には真空遮断器を使用する。故障を検知した場合には、遮断器により故障箇所を隔離す</p>	<p><b>【常用電源設備】</b> （基本設計方針）</p> <p>第2章 個別項目</p> <p>1. 保安電源設備</p> <p>1.1 発電所構内における電気系統の信頼性確保</p> <p>1.1.1 機器の損壊、故障その他の異常の検知と拡大防止</p> <p><u>安全施設へ電力を供給する保安電源設備は、電線路、発電用原子炉施設において常時使用される発電機、外部電源系及び非常用電源設備から安全施設への電力の供給が停止することがないように、発電機、送電線、変圧器、母線等に保護継電器を設置し、機器の損壊、故障その他の異常を検知するとともに、異常を検知した場合は、ガス絶縁開閉装置あるいはメタルクラッド開閉装置等の遮断器が動作することにより、その拡大を防止する設計とする。</u></p> <p><u>特に□(3)(i)a.(ab)-②a重要安全施設に給電する系統においては、多重性を有し、系統分離が可能である母線で構成し、信頼性の高い機器を設置する。</u></p> <p>常用高圧母線（メタルクラッド開閉装置で構成）は、4母線で構成し、通常運転時に必要な負荷を各母線に振り分け給電する。それぞれの母線から動力変圧器を通して降圧し、常用低圧母線（パワーセンタ及びモータコントロールセンタで構成）へ給電する。</p> <p>共通用高圧母線（メタルクラッド開閉装置で構成）は、4母線で構成し、それぞれの母線から動力変圧器を通して降圧し、共通用低圧母線（パワーセンタ及びモータコントロールセンタで構成）へ給電する。</p>	<p>設計及び工事の計画の□(3)(i)a.(ab)-②a及び□(3)(i)a.(ab)-②bは、設置変更許可申請書（本文（五号））の□(3)(i)a.(ab)-②を具体的に記載しており、整合している。</p>	



設置変更許可申請書（本文（五号））	設置変更許可申請書（添付書類八） 該当事項	設計及び工事の計画 該当事項	整合性	備考
	<p>10.3.4.10 ケーブル及び電線路</p> <p>動力回路，制御回路，計装回路のケーブルは，それぞれ相互に分離したケーブル・トレイ，電線管を使用して敷設する。</p> <p>&lt;中略&gt;</p> <p>10.1 非常用電源設備</p> <p>10.1.1 通常運転時等</p> <p>10.1.1.4 主要設備</p> <p>10.1.1.4.1 所内高圧系統</p> <p>非常用の所内高圧系統は，6.9kV で第 10.1-1 図に示すように 3 母線で構成する。</p> <p>非常用高圧母線………共通用高圧母線又は非常用ディーゼル発電機から受電する母線</p> <p>これらの母線は，母線ごとに一連のメタルクラッド開閉装置で構成し遮断器には真空遮断器を使用する。故障を検知した場合には，遮断器により故障箇所を隔離することによって，故障による影響を局所化できるとともに，他の安全機能への影響を限定できる設計とする。</p> <p>非常用高圧母線のメタルクラッド開閉装置は，原子炉建屋内に設置する。</p> <p>非常用高圧母線には，工学的安全施設に関する機器を振り分ける。</p> <p>&lt;中略&gt;</p>	<p>非常用電源設備の動力回路のケーブルは，負荷の容量に応じたケーブルを使用する設計とし，多重化した非常用電源設備の動力回路のケーブルの系統分離対策に影響を及ぼさない設計とするとともに，制御回路や計装回路への電氣的影響を考慮した設計とする。</p> <p><b>【非常用電源設備】</b>  <b>（基本設計方針）</b></p> <p>第 2 章 個別項目</p> <p>1. 非常用電源設備の電源系統</p> <p>1.1 非常用電源系統</p> <p><u>□(3)(i)a.(ab)-②b重要安全施設においては，多重性を有し，系統分離が可能である母線で構成し，信頼性の高い機器を設置する。</u></p> <p>非常用高圧母線（メタルクラッド開閉装置で構成）は，多重性を持たせ，3 系統の母線で構成し，工学的安全施設に関する高圧補機と発電所の保安に必要な高圧補機へ給電する設計とする。また，動力変圧器を通して降圧し，非常用低圧母線（パワーセンタ及びモータコントロールセンタで構成）へ給電する。非常用低圧母線も同様に多重性を持たせ，3 系統の母線で構成し，工学的安全施設に関する低圧補機と発電所の保安に必要な低圧補機へ給電する設計とする。</p> <p>また，高圧及び低圧母線等で故障が発生した際は，遮断器により故障箇所を隔離できる設計とし，故障による影響を局所化できるとともに，他の安全施設への影響を限定できる設計とする。</p> <p>さらに，<u>非常用所内電源系からの受電時の母線切替操作が容易な設計とする。</u></p> <p>&lt;中略&gt;</p> <p>これらの母線は，独立性を確保し，それぞれ区画分離された部屋に配置する設計とする。</p>		



設置変更許可申請書（本文（五号））	設置変更許可申請書（添付書類八） 該当事項	設計及び工事の計画 該当事項	整合性	備考
<p>また、変圧器 1 次側において 3 相のうちの 1 相の電路の開放が生じ、<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">ロ(3)(i)a.(ab)-③</span>安全施設への電力の供給が不安定になった場合においては、自動（地絡や過</p>	<p>10.1.1.4.2 所内低圧系統            非常用の所内低圧系統は、480V で第 10.1-1 図に示すように 6 母線で構成する。            非常用低圧母線……非常用高圧母線から動力用変圧器を通して受電する母線            これらの母線は、母線ごとに一連のキュービクルで構成し、遮断器は気中遮断器を使用する。故障を検知した場合には、遮断器により故障箇所を隔離することによって、故障による影響を局所化できるとともに、他の安全機能への影響を限定できる設計とする。            非常用低圧母線のパワーセンタは、耐震設計上、原子炉建屋内及びタービン建屋内に設置する。            工学的安全施設に関する機器を接続している非常用低圧母線には、非常用高圧母線から動力用変圧器を通して降圧し給電する。            &lt;中略&gt;            10.1.1.4.6 ケーブル及び電線路            安全保護系並びに工学的安全施設に関する動力回路、制御回路、計装回路のケーブルは、その多重性及び独立性を確保するため、それぞれ相互に分離したケーブル・トレイ、電線管を使用して布設し、相互に独立性を侵害することのないようにする。            &lt;中略&gt;            1. 安全設計            1.10 発電用原子炉設置変更許可申請に係る安全設計の方針            1.10.2 発電用原子炉設置変更許可申請（平成 25 年 9 月 27 日申請）に係る実用発電用原子炉及びその附属施設の位置、構造及び設備の基準に関する規則への適合（保安電源設備）            第三十三条            適合のための設計方針            3 について            &lt;中略&gt;            変圧器 1 次側において 3 相のうちの 1 相の電路の開放が生じ、安全施設への電力の供給が不安定になった場合においては、自動（地絡や過電流による保護継電器の動</p>	<p>原子炉緊急停止系並びに工学的安全施設に関する多重性を持つ動力回路に使用するケーブルは、負荷の容量に応じたケーブルを使用し、多重化したそれぞれのケーブルについて相互に物理的分離を図る設計とするとともに制御回路や計装回路への電氣的影響を考慮した設計とする。  <b>【常用電源設備】</b>            （基本設計方針）            第 2 章 個別項目            1. 保安電源設備            1.1 発電所構内における電気系統の信頼性確保            1.1.2 1 相の電路の開放に対する検知及び電力の安定性回復              変圧器一次側において 3 相のうちの 1 相の電路の開放が生じた<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">ロ(3)(i)a.(ab)-③a</span>場合に検知できるよう、変圧器一次側の電路は、電路を筐体に内包する変</p>	<p>設計及び工事の計画の<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">ロ(3)</span>  <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">(i)a.(ab)-③a</span>及び<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">ロ(3)</span></p>	

設置変更許可申請書（本文（五号））	設置変更許可申請書（添付書類八） 該当事項	設計及び工事の計画 該当事項	整合性	備考
<p>電流による保護継電器の動作)若しくは手動操作で、故障箇所の隔離又は非常用母線の健全な電源からの受電へ切り替えることにより安全施設への電力の供給の安定性を回復できる設計とする。</p> <p>□(3)(i)a.(ab)-④設計基準対象施設に接続する電線路のうち少なくとも2回線は、それぞれ互いに独立したものであって、当該設計基準対象施設において受電可能なものであり、かつ、それにより当該設計基準対象施設を電力系統に連系するとともに、</p>	<p>作により)若しくは手動操作で、故障箇所の隔離又は非常用母線の健全な電源からの受電へ切り替えることにより安全施設への電力の供給の安定性を回復できる設計とする。また、送電線は複数回線との接続を確保し、巡視点検による異常の早期検知ができるよう、送電線引留部の外観確認が可能な設計とする。</p> <p>&lt;中略&gt;</p> <p>4 について</p> <p>設計基準対象施設は、送受電可能な回線として500kV送電線(東京電力パワーグリッド株式会社新新潟幹線及び東京電力パワーグリッド株式会社南新潟幹線)2ルート4回線(1号、2号、3号、4号、5号、6号及び7号炉共用、既設)及び受電専用の回路として154kV送電線(東北電力株式会社荒浜線)1ルート1回線(1号、2号、3号、4号、5号、6号及び7号炉共用、既設)の3ルート5回線を設置し、電力系統に接続する。</p> <p>500kV送電線は、約100km離れた東京電力パワーグリッド株式会社西群馬開閉所に連系する。また、154kV送</p>	<p>圧器やガス絶縁開閉装置等により構成し、3相のうち1相の電路の開放が生じた場合に保護継電器にて自動で故障箇所の隔離及び非常用母線の受電切替ができる設計とし、電力の供給の安定性を回復できる設計とする。</p> <p>送電線において3相のうち1相の電路の開放が生じた場合、500kV送電線は1回線での電路の開放時に、安全施設への電力の供給が不安定にならないよう、多重化した設計とする。また、電力送電時、保護装置による3相の電流不平衡監視にて常時自動検知できる設計とする。さらに保安規定に定めている巡視点検を加えることで、保護装置による検知が期待できない場合の1相開放故障や、その兆候を早期に検知できる設計とする。</p> <p>154kV送電線は、各相の不足電圧継電器にて常時自動検知できる設計とする。さらに保安規定に定めている巡視点検を加えることで、保護継電器による検知が期待できない場合の1相開放故障や、その兆候を早期に検知できる設計とする。</p> <p>500kV送電線及び154kV送電線において1相の電路の開放を検知した場合は、□(3)(i)a.(ab)-③b)自動又は手動で、故障箇所の隔離又は非常用母線の受電切替ができる設計とし、電力の供給の安定性を回復できる設計とする。</p> <p>1.2 電線路の独立性及び物理的分離</p> <p>&lt;中略&gt;</p> <p>□(3)(i)a.(ab)-④設計基準対象施設は、送受電可能な回線として500kV送電線(東京電力パワーグリッド株式会社新新潟幹線及び東京電力パワーグリッド株式会社南新潟幹線)2ルート4回線(「1,2,3,4,5,6,7号機共用,1号機に設置」(以下同じ。))及び受電専用の回線として154kV送電線(東北電力ネットワーク株式会社荒浜線)1ルート1回線(「1,2,3,4,5,6,7号機共用,1号機に設置」(以下同じ。))の合計3ルート5回線にて、電力系統に接続する設計とする。</p> <p>500kV送電線4回線は、東京電力パワーグリッド株式会社西群馬開閉所に連系する設計とする。また、</p>	<p>□(3)(i)a.(ab)-③b)は、設置変更許可申請書(本文(五号))の□(3)(i)a.(ab)-③を具体的に記載しており、整合している。</p> <p>設計及び工事の計画の□(3)(i)a.(ab)-④は、設置変更許可申請書(本文(五号))の□(3)(i)a.(ab)-④を具体的に記載しており、整合している。</p>	

設置変更許可申請書（本文（五号））	設置変更許可申請書（添付書類八） 該当事項	設計及び工事の計画 該当事項	整合性	備考
<p>電線路のうち少なくとも 1 回線は、設計基準対象施設において他の回線と物理的に <u>□(3)(i)a.(ab)-⑤</u> 分離して受電できる設計とする。</p>	<p>電線は、約 4km 離れた東北電力株式会社刈羽変電所に連系する。</p> <p>上記 3 ルート 5 回線の送電線の独立性を確保するため、万一、送電線の上流側接続先である東京電力パワーグリッド株式会社西群馬開閉所が停止した場合でも、外部電源からの電力供給が可能となるよう、東北電力株式会社刈羽変電所を経由するルートで本発電所に電力を供給することが可能な設計とする。また、東北電力株式会社刈羽変電所が停止した場合には、東京電力パワーグリッド株式会社西群馬開閉所を経由するルートで本発電所に電力を供給することが可能な設計とする。</p> <p>5 について</p> <p>設計基準対象施設に連系する 500kV 送電線（東京電力パワーグリッド株式会社新新潟幹線）2 回線、500kV 送電線（東京電力パワーグリッド株式会社南新潟幹線）2 回線及び 154kV 送電線（東北電力株式会社荒浜線）1 回線は、同一の送電鉄塔に架線しないよう、それぞれのルートに送電鉄塔を備える設計とする。</p> <p>また、送電線は、大規模な盛土の崩壊、大規模な地すべり、急傾斜の崩壊による被害の最小化を図るため、鉄塔基礎の安定性を確保することで、鉄塔の倒壊を防止するとともに、台風等による強風発生時や着氷雪による事故防止対策を図ることにより、外部電源系からの電力供給が同時に停止することのない設計とする。</p> <p>さらに、500kV 送電線（東京電力パワーグリッド株式会社新新潟幹線、東京電力パワーグリッド株式会社南新潟幹線）と 154kV 送電線（東北電力株式会社荒浜線）の近接箇所については、仮に 1 つの鉄塔が倒壊しても、全ての送電線が同時に機能喪失しない水平距離を確保する設計とする。</p> <p>これらにより、設計基準対象施設に連系する送電線は、互いに物理的に分離した設計とする。</p>	<p>154kV 送電線 1 回線は、東北電力ネットワーク株式会社刈羽変電所に連系する設計とする。</p> <p>上記 3 ルート 5 回線の送電線の独立性を確保するため、万一、送電線の上流側接続先である東京電力パワーグリッド株式会社西群馬開閉所が停止した場合でも、外部電源からの電力供給が可能となるよう、東北電力ネットワーク株式会社刈羽変電所を経由するルートで本発電所に電力を供給することが可能な設計とする。</p> <p>また、東北電力ネットワーク株式会社刈羽変電所が停止した場合には、外部電源からの電力供給が可能となるよう、東京電力パワーグリッド株式会社西群馬開閉所を経由するルートで本発電所に電力を供給することが可能な設計とする。</p> <p>設計基準対象施設は、電線路のうち少なくとも 1 回線は、同一の送電鉄塔に架線されていない、他の回線と物理的に <u>□(3)(i)a.(ab)-⑤</u> 分離された送電線から受電する設計とする。</p> <p>また、大規模な盛土の崩壊、大規模な地すべり、急傾斜地の崩壊に対し鉄塔基礎の安定性が確保され、台風等による強風発生時及び着氷雪の事故防止対策が図られ、送電線の近接箇所においては、必要な絶縁距離及び水平距離が確保された送電線から受電する設計とする。</p>	<p>設計及び工事の計画の <u>□(3)(i)a.(ab)-⑤</u> は、設置変更許可申請書（本文（五号））の <u>□(3)(i)a.(ab)-⑤</u> を具体的に記載しており、整合している。</p>	

設置変更許可申請書（本文（五号））	設置変更許可申請書（添付書類八） 該当事項	設計及び工事の計画 該当事項	整合性	備考
<p>設計基準対象施設に接続する電線路は、<u>□(3)(i)a.(ab)-⑥</u>同一の発電所内の2以上の発電用原子炉施設を電力系統に連系する場合には、いずれの2回線が喪失した場合においても電力系統からこれらの発電用原子炉施設への電力の供給が同時に停止しない設計とする。</p> <p>非常用電源設備及びその附属設備は、多重性又は多様性を確保し、及び独立性を確保し、その系統を構成する<u>□(3)(i)a.(ab)-⑦</u>機器の単一故障が発生した場合であっても、運転時の異常な過渡変化時又は設計基準事故時において工学的安全施設及び設計基準事故に対処するための設備がその機能を確保するために十分な容量を有する設計とする。</p>	<p>6 について</p> <p>設計基準対象施設に連系する送電線は、500kV送電線4回線と154kV送電線1回線とで構成する。</p> <p>これらの送電線は1回線で6号及び7号炉の停止に必要な電力を供給し得る容量とし、いずれの2回線が喪失しても、発電用原子炉施設が同時に外部電源喪失に至らない構成とする。</p> <p>なお、500kV送電線は母線連絡遮断器を設置したタイラインにより起動用開閉所変圧器を介して、154kV送電線は予備電源変圧器を介して起動用開閉所に接続する。起動用開閉所は起動変圧器を介して発電用原子炉施設へ接続する設計とする。</p> <p>開閉所からの送受電設備は、十分な支持性能を持つ地盤に設置するとともに、遮断器等は重心の低いガス絶縁開閉装置及びガス遮断器を採用する等、耐震性の高いものを使用する。</p> <p>さらに津波の影響を受けない敷地高さに設置するとともに、塩害を考慮し、送電線引留部の碍子に対しては、碍子洗浄できる設計とし、遮断器等に対しては、電路がタンクに内包されているガス絶縁開閉装置及びガス遮断器を採用し、ガス遮断器の架線部については屋内に設置する。</p> <p>7 について</p> <p>非常用ディーゼル発電機及びその附属設備は、多重性及び独立性を考慮して、必要な容量のものを各々別の場所に3台備え、共通要因により機能が喪失しない設計とするとともに、各々非常用高圧母線に接続する。</p> <p>蓄電池は、非常用4系統をそれぞれ異なる区画に設置し、多重性及び独立性を確保し共通要因により機能が喪失しない設計とする。</p> <p>これらにより、その系統を構成する機器の単一故障が発生した場合にも、機能が確保される設計とする。</p>	<p>1.3 複数号機を設置する場合における電力供給確保</p> <p>設計基準対象施設に接続する電線路は、<u>□(3)(i)a.(ab)-⑥</u>いずれの2回線が喪失した場合においても電力系統から同一の発電所内の発電用原子炉施設への電力の供給が同時に停止しない設計とし、500kV送電線4回線は500kV開閉所及び66kV開閉所を介して接続するとともに、154kV送電線1回線は66kV開閉所を介して接続する設計とする。</p> <p>開閉所から主発電機側の送受電設備は、十分な支持性能を持つ地盤に設置するとともに、耐震性の高い、可とう性のある懸垂碍子並びに重心の低いガス絶縁開閉装置及びガス遮断器を設置する設計とする。</p> <p>さらに、津波の影響を受けない敷地高さに設置するとともに、塩害を考慮し、送電線引留部の碍子に対しては、碍子洗浄ができる設計とし、遮断器等に対しては、電路がタンクに内包されているガス絶縁開閉装置及びガス遮断器を設置し、ガス遮断器の架線部については屋内に設置する。</p> <p>【非常用電源設備】 （基本設計方針）</p> <p>第2章 個別項目</p> <p>2. 交流電源設備</p> <p>2.1 非常用ディーゼル発電設備</p> <p>&lt;中略&gt;</p> <p>非常用電源設備及びその附属設備は、多重性又は多様性を確保し、及び独立性を確保し、その系統を構成する<u>□(3)(i)a.(ab)-⑦</u>機械又は器具の単一故障が発生した場合であっても、運転時の異常な過渡変化時又は設計基準事故時において、工学的安全施設及び設計基準事故に対処するための設備がその機能を確保するために十分な容量を有する設計とする。</p> <p>&lt;中略&gt;</p>	<p>設計及び工事の計画の<u>□(3)(i)a.(ab)-⑥</u>は、設置変更許可申請書（本文（五号））の<u>□(3)(i)a.(ab)-⑥</u>を全て含んでおり、整合している。</p> <p>設計及び工事の計画の<u>□(3)(i)a.(ab)-⑦</u>は、設置変更許可申請書（本文（五号））の<u>□(3)(i)a.(ab)-⑦</u>と同義であり、整合している。</p>	

設置変更許可申請書（本文（五号））	設置変更許可申請書（添付書類八） 該当事項	設計及び工事の計画 該当事項	整合性	備考
<p><u>□(3)(i)a.(ab)-⑧非常用ディーゼル発電機は、7日間の外部電源喪失を仮定しても、連続運転により必要とする電力を供給できるよう、7日間分の容量以上の燃料を□(3)(i)a.(ab)-⑨軽油タンクに貯蔵する設計とする。</u></p> <p><u>□(3)(i)a.(ab)-⑩設計基準対象施設は、他の発電用原子炉施設に属する非常用電源設備及びその附属設備から受電する場合には、当該非常用電源設備から供給される電力に過度に依存しない設計とする。</u></p>	<p>また、非常用ディーゼル発電機については、7日間の外部電源喪失を仮定しても、連続運転により必要とする電力を供給できるよう、7日間分の容量以上の燃料を軽油タンクに貯蔵する設計とする。</p> <p>8 について</p> <p>設計基準事故時において、発電用原子炉施設に属する非常用所内電源設備及びその附属設備は、発電用原子炉ごとに設置し、他の発電用原子炉施設と共用しない設計とする。</p>	<p>4. 燃料設備</p> <p>4.1 非常用ディーゼル発電設備の燃料補給設備</p> <p><u>□(3)(i)a.(ab)-⑧非常用ディーゼル発電設備は、7日間の外部電源喪失を仮定しても、連続運転により必要とする電力を供給できるよう、7日間分の容量以上の燃料を□(3)(i)a.(ab)-⑨7号機の軽油タンクに貯蔵する設計とする。</u></p> <p>2. 交流電源設備</p> <p>2.1 非常用ディーゼル発電設備</p> <p>&lt;中略&gt;</p> <p><u>□(3)(i)a.(ab)-⑩設計基準事故時において、発電用原子炉施設に属する非常用所内電源設備及びその附属設備は、発電用原子炉ごとに設置し、他の発電用原子炉施設と共用しない設計とする。</u></p> <p>&lt;中略&gt;</p>	<p>設計及び工事の計画の□(3)(i)a.(ab)-⑧は、設置変更許可申請書（本文（五号））の□(3)(i)a.(ab)-⑧を全て含んでおり、整合している。</p> <p>設計及び工事の計画の□(3)(i)a.(ab)-⑨は、設置変更許可申請書（本文（五号））の□(3)(i)a.(ab)-⑨と同義であり、整合している。</p> <p>設計及び工事の計画の□(3)(i)a.(ab)-⑩は、設置変更許可申請書（本文（五号））の□(3)(i)a.(ab)-⑩と同義であり、整合している。</p>	

設置変更許可申請書（本文（五号））	設置変更許可申請書（添付書類八） 該当事項	設計及び工事の計画 該当事項	整合性	備考																																													
<p>ヌ その他発電用原子炉の附属施設の構造及び設備</p> <p>(1) 常用電源設備の構造</p> <p>(i) <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">ヌ(1)(i)-①</span>主発電機</p> <p>個数 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">ヌ(1)(i)-②</span>1</p> <p>容量 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">約 1,540,000kVA</span></p>	<p>10. その他発電用原子炉の附属施設</p> <p>第 10.3-3 表 発電機及び励磁装置の主要機器仕様</p> <p>(1) 発電機</p> <p>型式 横軸円筒回転界磁 3 相同期発電機</p> <p>容量 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">約 1,540,000kVA</span></p> <p>力率 0.9（遅れ）</p> <p>電圧 27kV</p> <p>相数 3</p> <p>周波数 50Hz</p> <p>回転数 1,500rpm</p> <p>冷却法 固定子 水及び水素ガス冷却 回転子 水素ガス冷却</p>	<p>【常用電源設備】 (要目表)</p> <p>2 常用電源設備</p> <p>1 発電機に係る次の事項</p> <p>(1) 発電機の種類、容量、力率、電圧、相、周波数、回転速度、結線法及び冷却法並びに発電電動機の場合は、出力</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th colspan="2" style="text-align: left;">名 称</th> <th style="text-align: center;">ヌ(1)(i)-①</th> <th style="text-align: center;">変 更 前 発電機*1</th> <th style="text-align: center;">変 更 後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>種 類</td> <td>—</td> <td></td> <td>横軸円筒回転界磁形耐爆構造式 三相交流同期発電機</td> <td rowspan="10" style="text-align: center; vertical-align: middle;">変更なし</td> </tr> <tr> <td>容 量</td> <td>kVA</td> <td></td> <td>1540000（水素圧 520kPa*2）</td> </tr> <tr> <td>力 率</td> <td>—</td> <td></td> <td>0.9（遅れ）</td> </tr> <tr> <td>電 圧</td> <td>kV</td> <td></td> <td>27</td> </tr> <tr> <td>相</td> <td>—</td> <td></td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>周 波 数</td> <td>Hz</td> <td></td> <td>50</td> </tr> <tr> <td>回 転 速 度*3</td> <td>rpm</td> <td></td> <td>1500</td> </tr> <tr> <td>結 線 法</td> <td>—</td> <td></td> <td>三重星形</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">冷 却 法</td> <td>固 定 子</td> <td>—</td> <td>水直接及び水素間接冷却</td> </tr> <tr> <td>回 転 子</td> <td>—</td> <td>水素直接冷却</td> </tr> </tbody> </table> <p style="font-size: small; margin-top: 5px;">注：記載の適正化を行う。既工事計画書の「個数」の記載を削除。  注記*1：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。  *2：SI 単位に換算したものである。  *3：記載の適正化を行う。既工事計画書には「回転数」と記載。</p>	名 称		ヌ(1)(i)-①	変 更 前 発電機*1	変 更 後	種 類	—		横軸円筒回転界磁形耐爆構造式 三相交流同期発電機	変更なし	容 量	kVA		1540000（水素圧 520kPa*2）	力 率	—		0.9（遅れ）	電 圧	kV		27	相	—		3	周 波 数	Hz		50	回 転 速 度*3	rpm		1500	結 線 法	—		三重星形	冷 却 法	固 定 子	—	水直接及び水素間接冷却	回 転 子	—	水素直接冷却	<p>設置変更許可申請書(本文(五号))ヌ項において、設計及び工事の計画の内容は、以下のとおり満足している。</p>	
名 称		ヌ(1)(i)-①	変 更 前 発電機*1	変 更 後																																													
種 類	—		横軸円筒回転界磁形耐爆構造式 三相交流同期発電機	変更なし																																													
容 量	kVA		1540000（水素圧 520kPa*2）																																														
力 率	—		0.9（遅れ）																																														
電 圧	kV		27																																														
相	—		3																																														
周 波 数	Hz		50																																														
回 転 速 度*3	rpm		1500																																														
結 線 法	—		三重星形																																														
冷 却 法	固 定 子	—	水直接及び水素間接冷却																																														
	回 転 子	—	水素直接冷却																																														
		<p>整合性</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・設計及び工事の計画の<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">ヌ(1)(i)-①</span>は、設置変更許可申請書（本文（五号））の<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">ヌ(1)(i)-①</span>と同義であり、整合している。</li> <li>・設置変更許可申請書（本文（五号））の<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">ヌ(1)(i)-②</span>は、設計及び工事の計画の「V-5 図面 1.4 単線結線図 第 1-4-1 図 交流全体単線結線図（その 1）」の記載と同義であり、整合している。</li> </ul>																																															

設置変更許可申請書（本文（五号））	設置変更許可申請書（添付書類八） 該当事項	設計及び工事の計画 該当事項	整合性	備考
<p>(ii) 外部電源系</p> <p><u>500kV 4回線（1号, 2号, 3号, 4号, 5号, 6号及び7号炉共用, 既設）</u> (又(1)(ii)-①)「非常用電源設備」と兼用)</p> <p><u>154kV 1回線（1号, 2号, 3号, 4号, 5号, 6号及び7号炉共用, 既設）</u> (又(1)(ii)-①)「非常用電源設備」と兼用)</p>	<p>第 10.3-1 表 送電線の主要機器仕様</p> <p>(1) <u>500kV 送電線（1号, 2号, 3号, 4号, 5号, 6号及び7号炉共用）</u> 兼用する設備は以下のとおり。 ・非常用電源設備（通常運転時等） a. 南新潟幹線 定格電圧 500kV 回線数 <u>2回線</u> b. 新新潟幹線 定格電圧 500kV 回線数 <u>2回線</u></p> <p>(2) <u>154kV 送電線（1号, 2号, 3号, 4号, 5号, 6号及び7号炉共用）</u> 兼用する設備は以下のとおり。 ・非常用電源設備（通常運転時等） a. 荒浜線（東北電力株式会社） 定格電圧 154kV 回線数 <u>1回線</u></p>	<p>【常用電源設備】 （基本設計方針） 第 2 章 個別項目 1. 保安電源設備 1.2 電線路の独立性及び物理的分離 又(1)(ii)-①a 発電用原子炉施設は、重要安全施設がその機能を維持するために必要となる電力を当該重要安全施設に供給するため、電力系統に連系した設計とする。 設計基準対象施設は、送受電可能な回線として <u>500kV 送電線（東京電力パワーグリッド株式会社新新潟幹線及び東京電力パワーグリッド株式会社南新潟幹線）2ルート4回線（「1, 2, 3, 4, 5, 6, 7号機共用, 1号機に設置」（以下同じ。））及び受電専用の回線として 154kV 送電線（東北電力ネットワーク株式会社荒浜線）1ルート1回線（「1, 2, 3, 4, 5, 6, 7号機共用, 1号機に設置」（以下同じ。））の合計3ルート5回線にて、電力系統に接続する設計とする。</u></p> <p>&lt;中略&gt;</p> <p>【非常用電源設備】 （基本設計方針） 第 2 章 個別項目 2. 交流電源設備 2.1 非常用ディーゼル発電設備 又(1)(ii)-①b 発電用原子炉施設は、重要安全施設がその機能を維持するために必要となる電力を当該重要安全施設に供給するため、電力系統に連系した設計とする。 &lt;中略&gt;</p>	<p>設置変更許可申請書（本文（五号））の又(1)(ii)-①は、電力系統に連系した送電線について、常用電源設備と非常用電源設備で同じ設備を表しており、設計及び工事の計画においては、常用電源設備と非常用電源設備の基本設計方針の又(1)(ii)-①a及び又(1)(ii)-①bにそれぞれ記載しており、整合している。</p>	

設置変更許可申請書（本文（五号））	設置変更許可申請書（添付書類八） 該当事項	設計及び工事の計画 該当事項	整合性	備考
<p>〔又(1)(ii)-②〕主発電機、外部電源系、非常用所内電源系、その他の関連する電気系統の機器の短絡若しくは地絡又は母線の低電圧若しくは過電流に対し、検知できる設計とする。</p>	<p>10.3 常用電源設備 10.3.2 設計方針 10.3.2.1 外部電源系 &lt;中略&gt;</p> <p>また、発電機、外部電源系、非常用所内電源系、その他の関連する電気系統の機器の短絡若しくは地絡又は母線の低電圧若しくは過電流、変圧器1次側における1相開放故障等を検知できる設計とし、検知した場合には、遮断器により故障箇所を隔離することにより、故障による影響を局所化できるとともに、他の安全機能への影響を限定できる構成とする。</p>	<p>【常用電源設備】 （基本設計方針） 第2章 個別項目 1. 保安電源設備 1.1 発電所構内における電気系統の信頼性確保 1.1.1 機器の損壊、故障その他の異常の検知と拡大防止</p> <p>安全施設へ電力を供給する保安電源設備は、〔又(1)(ii)-②〕電線路、発電用原子炉施設において常時使用される発電機、外部電源系及び非常用電源設備から安全施設への電力の供給が停止することがないように、発電機、送電線、変圧器、母線等に保護継電器を設置し、機器の損壊、故障その他の異常を検知するとともに、異常を検知した場合は、ガス絶縁開閉装置あるいはメタルクラッド開閉装置等の遮断器が動作することにより、その拡大を防止する設計とする。</p> <p>&lt;中略&gt;</p>	<p>設計及び工事の計画の〔又(1)(ii)-②〕は、設置変更許可申請書(本文(五号))の〔又(1)(ii)-②〕と同義であり、整合している。</p>	



設置変更許可申請書（本文（五号））	設置変更許可申請書（添付書類八） 該当事項	設計及び工事の計画 該当事項	整合性	備考																																																																																																																											
(iii) 変圧器 a. <u>主変圧器</u> 台数 <u>1</u> 容量 <u>約 1,450,000kVA</u> 電圧 <u>26.325kV/又(1)(iii)a.-①525kV (1次/2次)</u>	第 10.3-4 表 変圧器の主要機器仕様 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">名称</th> <th colspan="2">※</th> <th rowspan="2">所内変圧器</th> <th colspan="2">※※</th> <th colspan="2">※※</th> </tr> <tr> <th>主変圧器</th> <th>起動変圧器</th> <th>起動用開閉所変圧器※※</th> <th>予備電源変圧器</th> <th colspan="2">工所用変圧器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>容量</td> <td>約 1,450,000kVA</td> <td>約 70,000kVA</td> <td>約 50,000kVA</td> <td>約 120,000kVA</td> <td>約 170,000kVA</td> <td>約 60,000kVA</td> <td>約 10,000kVA 約 20,000kVA</td> </tr> <tr> <td>電圧</td> <td>26.325kV/525kV</td> <td>66kV/6.9kV</td> <td>26.325kV/6.9kV</td> <td>525kV/66kV</td> <td>525kV/66kV</td> <td>147kV/66kV</td> <td>66kV/6.9kV 66kV/6.9kV</td> </tr> <tr> <td>相数</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>周波数</td> <td>50Hz</td> <td>50Hz</td> <td>50Hz</td> <td>50Hz</td> <td>50Hz</td> <td>50Hz</td> <td>50Hz</td> </tr> <tr> <td>台数</td> <td><u>1</u> (既設)</td> <td><u>2</u> (既設)</td> <td><u>2</u> (既設)</td> <td><u>1</u> (既設)</td> <td><u>2</u> (既設)</td> <td><u>1</u> (既設)</td> <td><u>1</u></td> </tr> </tbody> </table> <p>※ <u>6号及び7号炉共用</u>                      ※※ <u>1号, 2号, 3号, 4号, 5号, 6号及び7号炉共用</u></p>	名称	※		所内変圧器	※※		※※		主変圧器	起動変圧器	起動用開閉所変圧器※※	予備電源変圧器	工所用変圧器		容量	約 1,450,000kVA	約 70,000kVA	約 50,000kVA	約 120,000kVA	約 170,000kVA	約 60,000kVA	約 10,000kVA 約 20,000kVA	電圧	26.325kV/525kV	66kV/6.9kV	26.325kV/6.9kV	525kV/66kV	525kV/66kV	147kV/66kV	66kV/6.9kV 66kV/6.9kV	相数	3	3	3	3	3	3	3	周波数	50Hz	50Hz	50Hz	50Hz	50Hz	50Hz	50Hz	台数	<u>1</u> (既設)	<u>2</u> (既設)	<u>2</u> (既設)	<u>1</u> (既設)	<u>2</u> (既設)	<u>1</u> (既設)	<u>1</u>	【常用電源設備】 (要目表) 2 変圧器に係る次の事項 (1) 変圧器の種類、容量、電圧（一次、二次及び三次の別に記載し、電圧調整装置を有するもの場合は、電圧調整範囲及びタップ数を付記すること。）、相、周波数、結線法、冷却法、個数及び取付箇所並びに電気事業の用に供するものにあつては、常用及び予備の別 a. 主変圧器	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">名称</td> <td colspan="2">主変圧器*1</td> </tr> <tr> <td>種類</td> <td>—</td> <td colspan="2">屋外用三相二巻線無圧密封式</td> </tr> <tr> <td>容量</td> <td>kVA</td> <td colspan="2">1450000</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">電圧</td> <td>一次 kV</td> <td colspan="2">26.325</td> </tr> <tr> <td>二次 kV</td> <td colspan="2">550.0/537.5/525.0/512.5 (4タップ)*1</td> </tr> <tr> <td>三次 kV</td> <td colspan="2">—*2</td> </tr> <tr> <td>相</td> <td>—</td> <td colspan="2">3</td> </tr> <tr> <td>周波数</td> <td>Hz</td> <td colspan="2">50</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">結線法</td> <td>一次</td> <td colspan="2">三角形</td> </tr> <tr> <td>二次</td> <td colspan="2">星形</td> </tr> <tr> <td>三次</td> <td colspan="2">—*2</td> </tr> <tr> <td>冷却法</td> <td>—</td> <td colspan="2">送油風冷式</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">個数</td> <td>常用</td> <td colspan="2">1</td> </tr> <tr> <td>予備</td> <td colspan="2">なし</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">取付箇所</td> <td>系統名</td> <td colspan="2">主変圧器*1</td> </tr> <tr> <td>設置床</td> <td colspan="2">屋外 T. M. S. L. 12200mm</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の区画番号</td> <td colspan="2">—</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の配慮が必要な高さ</td> <td colspan="2">—</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記*1：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。                      *2：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。</p>			変更前	変更後	名称		主変圧器*1		種類	—	屋外用三相二巻線無圧密封式		容量	kVA	1450000		電圧	一次 kV	26.325		二次 kV	550.0/537.5/525.0/512.5 (4タップ)*1		三次 kV	—*2		相	—	3		周波数	Hz	50		結線法	一次	三角形		二次	星形		三次	—*2		冷却法	—	送油風冷式		個数	常用	1		予備	なし		取付箇所	系統名	主変圧器*1		設置床	屋外 T. M. S. L. 12200mm		溢水防護上の区画番号	—		溢水防護上の配慮が必要な高さ	—		整合性 ・設計及び工事の計画の <u>又(1)(iii)a.-①</u> は、設置変更許可申請書（本文（五号））の <u>又(1)(iii)a.-①</u> の電圧調整範囲（タップにより、二次電圧を変更可能）を記載しており、整合している。	
名称	※		所内変圧器	※※		※※																																																																																																																									
	主変圧器	起動変圧器		起動用開閉所変圧器※※	予備電源変圧器	工所用変圧器																																																																																																																									
容量	約 1,450,000kVA	約 70,000kVA	約 50,000kVA	約 120,000kVA	約 170,000kVA	約 60,000kVA	約 10,000kVA 約 20,000kVA																																																																																																																								
電圧	26.325kV/525kV	66kV/6.9kV	26.325kV/6.9kV	525kV/66kV	525kV/66kV	147kV/66kV	66kV/6.9kV 66kV/6.9kV																																																																																																																								
相数	3	3	3	3	3	3	3																																																																																																																								
周波数	50Hz	50Hz	50Hz	50Hz	50Hz	50Hz	50Hz																																																																																																																								
台数	<u>1</u> (既設)	<u>2</u> (既設)	<u>2</u> (既設)	<u>1</u> (既設)	<u>2</u> (既設)	<u>1</u> (既設)	<u>1</u>																																																																																																																								
		変更前	変更後																																																																																																																												
名称		主変圧器*1																																																																																																																													
種類	—	屋外用三相二巻線無圧密封式																																																																																																																													
容量	kVA	1450000																																																																																																																													
電圧	一次 kV	26.325																																																																																																																													
	二次 kV	550.0/537.5/525.0/512.5 (4タップ)*1																																																																																																																													
	三次 kV	—*2																																																																																																																													
相	—	3																																																																																																																													
周波数	Hz	50																																																																																																																													
結線法	一次	三角形																																																																																																																													
	二次	星形																																																																																																																													
	三次	—*2																																																																																																																													
冷却法	—	送油風冷式																																																																																																																													
個数	常用	1																																																																																																																													
	予備	なし																																																																																																																													
取付箇所	系統名	主変圧器*1																																																																																																																													
	設置床	屋外 T. M. S. L. 12200mm																																																																																																																													
	溢水防護上の区画番号	—																																																																																																																													
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—																																																																																																																													

設置変更許可申請書（本文（五号））	設置変更許可申請書（添付書類八） 該当事項	設計及び工事の計画 該当事項	整合性	備考																																																																																																																																
<p>b. <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">又(1)(iii)b.-①</span>起動用開閉所変圧器（1号, 2号, 3号, 4号, 5号, 6号及び7号炉共用, 既設）</p> <p>台数 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">又(1)(iii)b.-②</span>3</p> <p>容量 約120,000kVA（1台）, 約170,000kVA（2台）</p> <p>電圧 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">又(1)(iii)b.-③</span>525kV/66kV（1次/2次）</p>		<p>b. 1号高起動変圧器（1号機設備, 1, 2, 3, 4, 5, 6, 7号機共用）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td colspan="2">名 称</td> <td>変更前 1号高起動変圧器 (1号機設備, 1, 2, 3, 4, 5, 6, 7号機 共用)*1</td> <td><span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">又(1)(iii)b.-①a</span></td> </tr> <tr> <td>種 類</td> <td>—</td> <td>屋外用三相二巻線無圧密封式</td> <td></td> </tr> <tr> <td>容 量</td> <td>kVA</td> <td>120000</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">電 圧</td> <td>一 次</td> <td>kV</td> <td>550.0/537.5/525.0/512.5 (4タップ)*1</td> </tr> <tr> <td>二 次</td> <td>kV</td> <td>66</td> </tr> <tr> <td>三 次</td> <td>kV</td> <td>—*2</td> </tr> <tr> <td>相</td> <td>—</td> <td>3</td> <td></td> </tr> <tr> <td>周 波 数</td> <td>Hz</td> <td>50</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">結 線 法</td> <td>一 次</td> <td>—</td> <td>星形</td> </tr> <tr> <td>二 次</td> <td>—</td> <td>星形</td> </tr> <tr> <td>三 次</td> <td>—</td> <td>三角形(安定巻線)*1</td> </tr> <tr> <td>冷 却 法</td> <td>—</td> <td>送油風冷式</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">個 数</td> <td>常 用</td> <td>—</td> <td>1 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">又(1)(iii)b.-②a</span></td> </tr> <tr> <td>予 備</td> <td>—</td> <td>なし</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">取 付 箇 所</td> <td>系 統 名</td> <td>1号高起動変圧器*1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>設 置 床</td> <td>500kV 超高压開閉所 T. M. S. L. 13200mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ</td> <td>—</td> <td></td> </tr> </table> <p style="font-size: small;">注記*1：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。 *2：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。</p> <p>c. 2号高起動変圧器（5号機設備, 1, 2, 3, 4, 5, 6, 7号機共用）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td colspan="2">名 称</td> <td>変更前 2号高起動変圧器 (5号機設備, 1, 2, 3, 4, 5, 6, 7号機 共用)*1</td> <td><span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">又(1)(iii)b.-①b</span></td> </tr> <tr> <td>種 類</td> <td>—</td> <td>屋外用三相二巻線無圧密封式</td> <td></td> </tr> <tr> <td>容 量</td> <td>kVA</td> <td>170000</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">電 圧</td> <td>一 次</td> <td>kV</td> <td>550.0/537.5/525.0/512.5 (4タップ)*1</td> </tr> <tr> <td>二 次</td> <td>kV</td> <td>66.0</td> </tr> <tr> <td>三 次</td> <td>kV</td> <td>—*2</td> </tr> <tr> <td>相</td> <td>—</td> <td>3</td> <td></td> </tr> <tr> <td>周 波 数</td> <td>Hz</td> <td>50</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">結 線 法</td> <td>一 次</td> <td>—</td> <td>星形</td> </tr> <tr> <td>二 次</td> <td>—</td> <td>星形</td> </tr> <tr> <td>三 次</td> <td>—</td> <td>三角形(安定巻線)*3</td> </tr> <tr> <td>冷 却 法</td> <td>—</td> <td>送油風冷式</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">個 数</td> <td>常 用</td> <td>—</td> <td>1 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">又(1)(iii)b.-②b</span></td> </tr> <tr> <td>予 備</td> <td>—</td> <td>なし</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">取 付 箇 所</td> <td>系 統 名</td> <td>2号高起動変圧器*1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>設 置 床</td> <td>500kV 超高压開閉所 T. M. S. L. 13200mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ</td> <td>—</td> <td></td> </tr> </table> <p style="font-size: small;">注記*1：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。 *2：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。 *3：記載の適正化を行う。既工事計画書には「(安定巻線) 三角形」と記載。</p>	名 称		変更前 1号高起動変圧器 (1号機設備, 1, 2, 3, 4, 5, 6, 7号機 共用)*1	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">又(1)(iii)b.-①a</span>	種 類	—	屋外用三相二巻線無圧密封式		容 量	kVA	120000		電 圧	一 次	kV	550.0/537.5/525.0/512.5 (4タップ)*1	二 次	kV	66	三 次	kV	—*2	相	—	3		周 波 数	Hz	50		結 線 法	一 次	—	星形	二 次	—	星形	三 次	—	三角形(安定巻線)*1	冷 却 法	—	送油風冷式		個 数	常 用	—	1 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">又(1)(iii)b.-②a</span>	予 備	—	なし	取 付 箇 所	系 統 名	1号高起動変圧器*1		設 置 床	500kV 超高压開閉所 T. M. S. L. 13200mm		溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		名 称		変更前 2号高起動変圧器 (5号機設備, 1, 2, 3, 4, 5, 6, 7号機 共用)*1	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">又(1)(iii)b.-①b</span>	種 類	—	屋外用三相二巻線無圧密封式		容 量	kVA	170000		電 圧	一 次	kV	550.0/537.5/525.0/512.5 (4タップ)*1	二 次	kV	66.0	三 次	kV	—*2	相	—	3		周 波 数	Hz	50		結 線 法	一 次	—	星形	二 次	—	星形	三 次	—	三角形(安定巻線)*3	冷 却 法	—	送油風冷式		個 数	常 用	—	1 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">又(1)(iii)b.-②b</span>	予 備	—	なし	取 付 箇 所	系 統 名	2号高起動変圧器*1		設 置 床	500kV 超高压開閉所 T. M. S. L. 13200mm		溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		<p>整合性</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・設計及び工事の計画の<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">又(1)(iii)b.-①a</span>～<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">又(1)(iii)b.-①c</span>は、設置変更許可申請書（本文（五号））の<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">又(1)(iii)b.-①</span>と同義であり、整合している。</li> <li>・設置変更許可申請書（本文（五号））の<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">又(1)(iii)b.-②</span>は、起動用開閉所変圧器をまとめて記載しているが、設計及び工事の計画の<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">又(1)(iii)b.-②a</span>～<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">又(1)(iii)b.-②c</span>では、「1号高起動用変圧器」、「2号高起動用変圧器」及び「3号高起動用変圧器」に別々に記載しており、整合している。</li> <li>・設計及び工事の計画の<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">又(1)(iii)b.-③a</span>～<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">又(1)(iii)b.-③c</span>は、設置変更許可申請書（本文（五号））の<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">又(1)(iii)b.-③</span>の電圧調整範囲（タップにより、一次電圧を変更可能）を記載しており、整合している。</li> </ul>	
名 称		変更前 1号高起動変圧器 (1号機設備, 1, 2, 3, 4, 5, 6, 7号機 共用)*1	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">又(1)(iii)b.-①a</span>																																																																																																																																	
種 類	—	屋外用三相二巻線無圧密封式																																																																																																																																		
容 量	kVA	120000																																																																																																																																		
電 圧	一 次	kV	550.0/537.5/525.0/512.5 (4タップ)*1																																																																																																																																	
	二 次	kV	66																																																																																																																																	
	三 次	kV	—*2																																																																																																																																	
相	—	3																																																																																																																																		
周 波 数	Hz	50																																																																																																																																		
結 線 法	一 次	—	星形																																																																																																																																	
	二 次	—	星形																																																																																																																																	
	三 次	—	三角形(安定巻線)*1																																																																																																																																	
冷 却 法	—	送油風冷式																																																																																																																																		
個 数	常 用	—	1 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">又(1)(iii)b.-②a</span>																																																																																																																																	
	予 備	—	なし																																																																																																																																	
取 付 箇 所	系 統 名	1号高起動変圧器*1																																																																																																																																		
	設 置 床	500kV 超高压開閉所 T. M. S. L. 13200mm																																																																																																																																		
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—																																																																																																																																		
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—																																																																																																																																		
名 称		変更前 2号高起動変圧器 (5号機設備, 1, 2, 3, 4, 5, 6, 7号機 共用)*1	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">又(1)(iii)b.-①b</span>																																																																																																																																	
種 類	—	屋外用三相二巻線無圧密封式																																																																																																																																		
容 量	kVA	170000																																																																																																																																		
電 圧	一 次	kV	550.0/537.5/525.0/512.5 (4タップ)*1																																																																																																																																	
	二 次	kV	66.0																																																																																																																																	
	三 次	kV	—*2																																																																																																																																	
相	—	3																																																																																																																																		
周 波 数	Hz	50																																																																																																																																		
結 線 法	一 次	—	星形																																																																																																																																	
	二 次	—	星形																																																																																																																																	
	三 次	—	三角形(安定巻線)*3																																																																																																																																	
冷 却 法	—	送油風冷式																																																																																																																																		
個 数	常 用	—	1 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">又(1)(iii)b.-②b</span>																																																																																																																																	
	予 備	—	なし																																																																																																																																	
取 付 箇 所	系 統 名	2号高起動変圧器*1																																																																																																																																		
	設 置 床	500kV 超高压開閉所 T. M. S. L. 13200mm																																																																																																																																		
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—																																																																																																																																		
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—																																																																																																																																		

設置変更許可申請書（本文（五号））	設置変更許可申請書（添付書類八） 該当事項	設計及び工事の計画 該当事項	整合性	備考																																																														
<p>c. 所内変圧器 台数 2 容量 約 50,000kVA 電圧 26.325kV/6.9kV (1次/2次)</p> <p>d. 起動変圧器 (6号及び7号炉共用) 台数 2 容量 約 70,000kVA 電圧 66kV/6.9kV (1次/2次)</p> <p>e. 予備電源変圧器 (1号, 2号, 3号, 4号, 5号, 6号及び7号炉共用, 既設) 台数 1 容量 約 60,000kVA 電圧 147kV/66kV (1次/2次)</p> <p>f. 工所用変圧器 (6号及び7号炉共用) 台数 2 容量 約 10,000kVA, 約 20,000kVA 電圧 66kV/6.9kV (1次/2次)</p>		<p>d. 3号高起動変圧器 (4号機設備, 1, 2, 3, 4, 5, 6, 7号機共用)</p> <table border="1" data-bbox="1626 300 2522 1039"> <tr> <td colspan="2">名称</td> <td>変更前 3号高起動変圧器 (4号機設備, 1, 2, 3, 4, 5, 6, 7号機 共用) *1</td> <td>又(1)(iii)b.-①c</td> </tr> <tr> <td>種類</td> <td>類</td> <td>屋外用三相二巻線無圧密封式</td> <td></td> </tr> <tr> <td>容量</td> <td>kVA</td> <td>170000</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">電圧</td> <td>一次</td> <td>550.0/537.5/525.0/512.5 (4タップ) *1</td> <td>又(1)(iii)b.-③c</td> </tr> <tr> <td>二次</td> <td>66.0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>三次</td> <td>—*2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>相</td> <td>—</td> <td>3</td> <td></td> </tr> <tr> <td>周波数</td> <td>Hz</td> <td>50</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">結線法</td> <td>一次</td> <td>星形</td> <td rowspan="3">変更なし</td> </tr> <tr> <td>二次</td> <td>星形</td> </tr> <tr> <td>三次</td> <td>三角形 (安定巻線)</td> </tr> <tr> <td>冷却法</td> <td>—</td> <td>送油風冷式</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">個数</td> <td>常用</td> <td>1</td> <td>又(1)(iii)b.-②c</td> </tr> <tr> <td>予備</td> <td>なし</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">取付箇所</td> <td>系統名</td> <td>3号高起動変圧器*1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>設置床</td> <td>500kV 超高压開閉所 T. M. S. L. 13200mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の 区画番号</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の 配慮が必要な高さ</td> <td>—</td> <td></td> </tr> </table> <p>注記*1 : 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。 *2 : 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。</p>	名称		変更前 3号高起動変圧器 (4号機設備, 1, 2, 3, 4, 5, 6, 7号機 共用) *1	又(1)(iii)b.-①c	種類	類	屋外用三相二巻線無圧密封式		容量	kVA	170000		電圧	一次	550.0/537.5/525.0/512.5 (4タップ) *1	又(1)(iii)b.-③c	二次	66.0		三次	—*2		相	—	3		周波数	Hz	50		結線法	一次	星形	変更なし	二次	星形	三次	三角形 (安定巻線)	冷却法	—	送油風冷式		個数	常用	1	又(1)(iii)b.-②c	予備	なし		取付箇所	系統名	3号高起動変圧器*1		設置床	500kV 超高压開閉所 T. M. S. L. 13200mm		溢水防護上の 区画番号	—		溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—		<p>設置変更許可申請書(本文(五号))の「所内変圧器」, 「起動変圧器」, 「予備電源変圧器」, 「工所用変圧器」は、設置許可のみの要求事項であり、本設工認の対象外である。</p>	
名称		変更前 3号高起動変圧器 (4号機設備, 1, 2, 3, 4, 5, 6, 7号機 共用) *1	又(1)(iii)b.-①c																																																															
種類	類	屋外用三相二巻線無圧密封式																																																																
容量	kVA	170000																																																																
電圧	一次	550.0/537.5/525.0/512.5 (4タップ) *1	又(1)(iii)b.-③c																																																															
	二次	66.0																																																																
	三次	—*2																																																																
相	—	3																																																																
周波数	Hz	50																																																																
結線法	一次	星形	変更なし																																																															
	二次	星形																																																																
	三次	三角形 (安定巻線)																																																																
冷却法	—	送油風冷式																																																																
個数	常用	1	又(1)(iii)b.-②c																																																															
	予備	なし																																																																
取付箇所	系統名	3号高起動変圧器*1																																																																
	設置床	500kV 超高压開閉所 T. M. S. L. 13200mm																																																																
	溢水防護上の 区画番号	—																																																																
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—																																																																

設置変更許可申請書（本文（五号））	設置変更許可申請書（添付書類八） 該当事項	設計及び工事の計画 該当事項	整合性	備考
<p>(2) 非常用電源設備の構造</p> <p>(i) 外部電源系</p> <p><u>500kV 4回線（1号, 2号, 3号, 4号, 5号, 6号及び7号炉共用, 既設）</u> 又(2)(i)-①（「<u>常用電源設備</u>」と兼用）</p> <p><u>154kV 1回線（1号, 2号, 3号, 4号, 5号, 6号及び7号炉共用, 既設）</u> 又(2)(i)-①（「<u>常用電源設備</u>」と兼用）</p>	<p>第 10.3-1 表 送電線の主要機器仕様</p> <p>(1) <u>500kV 送電線（1号, 2号, 3号, 4号, 5号, 6号及び7号炉共用）</u>            兼用する設備は以下のとおり。            ・ <u>非常用電源設備（通常運転時等）</u>            a. 南新潟幹線            定格電圧 500kV            回線数 <u>2回線</u>            b. 新新潟幹線            定格電圧 500kV            回線数 <u>2回線</u></p> <p>(2) <u>154kV 送電線（1号, 2号, 3号, 4号, 5号, 6号及び7号炉共用）</u>            兼用する設備は以下のとおり。            ・ <u>非常用電源設備（通常運転時等）</u>            a. 荒浜線（東北電力株式会社）            定格電圧 154kV            回線数 <u>1回線</u></p>	<p>【<u>常用電源設備</u>】            （基本設計方針）            第 2 章 個別項目            1. 保安電源設備            1.2 電線路の独立性及び物理的分離            又(2)(i)-①a 発電用原子炉施設は、重要安全施設がその機能を維持するために必要となる電力を当該重要安全施設に供給するため、電力系統に連系した設計とする。            設計基準対象施設は、送受電可能な回線として <u>500kV 送電線（東京電力パワーグリッド株式会社新新潟幹線及び東京電力パワーグリッド株式会社南新潟幹線）2ルート4回線（「1, 2, 3, 4, 5, 6, 7号機共用, 1号機に設置」（以下同じ。））及び受電専用の回線として 154kV 送電線（東北電力ネットワーク株式会社荒浜線）1ルート 1回線（「1, 2, 3, 4, 5, 6, 7号機共用, 1号機に設置」（以下同じ。））の合計3ルート5回線にて、電力系統に接続する設計とする。</u></p> <p>&lt;中略&gt;</p> <p>【<u>非常用電源設備</u>】            （基本設計方針）            第 2 章 個別項目            2. 交流電源設備            2.1 非常用ディーゼル発電設備            又(2)(i)-①b 発電用原子炉施設は、重要安全施設がその機能を維持するために必要となる電力を当該重要安全施設に供給するため、電力系統に連系した設計とする。            &lt;中略&gt;</p>	<p>設置変更許可申請書（本文（五号））の 又(2)(i)-① は、電力系統に連系した送電線について、常用電源設備と非常用電源設備で同じ設備を表しており、設計及び工事の計画においては、常用電源設備と非常用電源設備の基本設計方針 又(2)(i)-①a 及び 又(2)(i)-①b にそれぞれ記載しており、整合している。</p>	

設置変更許可申請書（本文（五号））	設置変更許可申請書（添付書類八） 該当事項	設計及び工事の計画 該当事項	整合性	備考																																																																																																																																																									
<p>(ii) 非常用ディーゼル発電機</p> <p>a. <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">又(2)(ii)a.-①</span>非常用ディーゼル発電機 台数 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">3</span> 出力 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">又(2)(ii)a.-②</span>約5,000kW(1台当たり) 起動時間 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">又(2)(ii)a.-③</span>約13秒</p>	<p>10.1 非常用電源設備</p> <p>10.1.1 通常運転時等</p> <p>10.1.1.4 主要設備</p> <p>10.1.1.4.3 非常用ディーゼル発電機</p> <p>非常用ディーゼル発電機は、外部電源が喪失した場合には発電用原子炉を安全に停止するために必要な電力を供給し、また、外部電源が喪失し同時に冷却材喪失事故が発生した場合には工学的安全施設作動のための電力を供給する。</p> <p>非常用ディーゼル発電機は多重性を考慮し、3台を備え、各々非常用高圧母線に接続する。各非常用ディーゼル発電設備は、配電盤、制御盤ともそれぞれ独立した部屋に設置する。</p> <p>&lt;中略&gt;</p> <p>第10.1-5表 非常用ディーゼル発電機の主要機器仕様</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th colspan="2">非常用ディーゼル発電機</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">エンジン</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">台数</td> <td style="text-align: center;"><span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">3</span></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">出力</td> <td style="text-align: center;">約5,000kW/台(連続)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">起動時間</td> <td style="text-align: center;"><span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">約13秒</span></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">使用燃料</td> <td style="text-align: center;">軽油</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">発電機</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">台数</td> <td style="text-align: center;"><span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">3</span></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">種類</td> <td style="text-align: center;">横軸回転界磁3相同期発電機</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">容量</td> <td style="text-align: center;"><span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">約6.250kVA/台</span></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">力率</td> <td style="text-align: center;">0.8</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">電圧</td> <td style="text-align: center;">6.9kV</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">周波数</td> <td style="text-align: center;">50Hz</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">軽油タンク</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">基数</td> <td style="text-align: center;">2</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">容量</td> <td style="text-align: center;">約550kL/基</td> </tr> </tbody> </table>	非常用ディーゼル発電機		エンジン		台数	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">3</span>	出力	約5,000kW/台(連続)	起動時間	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">約13秒</span>	使用燃料	軽油	発電機		台数	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">3</span>	種類	横軸回転界磁3相同期発電機	容量	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">約6.250kVA/台</span>	力率	0.8	電圧	6.9kV	周波数	50Hz	軽油タンク		基数	2	容量	約550kL/基	<p><b>【非常用電源設備】</b> (要目表)</p> <p>2 非常用発電装置に係る次の事項</p> <p>2 非常用発電装置に係る次の事項</p> <p>2.1 非常用ディーゼル発電設備</p> <p>(2) 内燃機関に係る次の事項</p> <p>イ 機関の名称、種類、出力、回転速度、燃料の種類及び使用量、個数並びに取付箇所並びに過給機の種類、出口の圧力、回転速度、個数及び取付箇所（常設及び可搬型の別に記載すること。）</p> <p>・常設</p> <p>a. ディーゼル機関</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th colspan="3">変更前</th> <th colspan="3">変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">名称</td> <td colspan="3">ディーゼル機関 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">又(2)(ii)a.-①</span></td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="writing-mode: vertical-rl; transform: rotate(180deg);">機関</td> <td>種類</td> <td colspan="3">4サイクルたて形 <input type="checkbox"/> 気筒ディーゼル機関</td> <td colspan="3" rowspan="4" style="text-align: center; vertical-align: middle;">変更なし</td> </tr> <tr> <td>出力</td> <td colspan="3">5295 *1. *2</td> </tr> <tr> <td>回転速度*3</td> <td colspan="3">1000</td> </tr> <tr> <td>燃種類</td> <td colspan="3">軽油</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="writing-mode: vertical-rl; transform: rotate(180deg);">燃料</td> <td>使用量</td> <td colspan="3"><span style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> </span></td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td>個数</td> <td colspan="3"><span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">3</span></td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="writing-mode: vertical-rl; transform: rotate(180deg);">取付箇所</td> <td>系統名</td> <td>ディーゼル機関A 非常用ディーゼル発電設備 7A</td> <td>ディーゼル機関B 非常用ディーゼル発電設備 7B</td> <td>ディーゼル機関C 非常用ディーゼル発電設備 7C</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td>設置床</td> <td>原子炉建屋 T. M. S. L. 12300mm</td> <td>原子炉建屋 T. M. S. L. 12300mm</td> <td>原子炉建屋 T. M. S. L. 12300mm</td> <td colspan="3"></td> </tr> </tbody> </table> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th colspan="3">変更前</th> <th colspan="3">変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2" style="writing-mode: vertical-rl; transform: rotate(180deg);">機関</td> <td>取付箇所</td> <td>溢水防護上の区画番号</td> <td colspan="3">—</td> <td>R-1F-3</td> <td>R-1F-6</td> <td>R-1F-5</td> </tr> <tr> <td></td> <td>溢水防護上の配慮が必要な高さ</td> <td colspan="3">—</td> <td>EL0.35m以上</td> <td>EL0.33m以上</td> <td>EL0.34m以上</td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="writing-mode: vertical-rl; transform: rotate(180deg);">過給機</td> <td>種類</td> <td colspan="6">排気タービン式</td> </tr> <tr> <td>出口の圧力</td> <td>kPa</td> <td colspan="3"><span style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> </span> *1 (最大連続回転時)</td> <td colspan="2" rowspan="4" style="text-align: center; vertical-align: middle;">変更なし</td> </tr> <tr> <td>回転速度*3</td> <td>rpm</td> <td colspan="3"><span style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> </span> (最大連続回転数)</td> </tr> <tr> <td>個数</td> <td>—</td> <td colspan="3">6 (ディーゼル機関1個につき2) *5</td> </tr> <tr> <td>取付箇所</td> <td>—</td> <td colspan="3">ディーゼル機関と同じ</td> </tr> </tbody> </table>			変更前			変更後			名称		ディーゼル機関 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">又(2)(ii)a.-①</span>						機関	種類	4サイクルたて形 <input type="checkbox"/> 気筒ディーゼル機関			変更なし			出力	5295 *1. *2			回転速度*3	1000			燃種類	軽油			燃料	使用量	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> </span>						個数	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">3</span>						取付箇所	系統名	ディーゼル機関A 非常用ディーゼル発電設備 7A	ディーゼル機関B 非常用ディーゼル発電設備 7B	ディーゼル機関C 非常用ディーゼル発電設備 7C				設置床	原子炉建屋 T. M. S. L. 12300mm	原子炉建屋 T. M. S. L. 12300mm	原子炉建屋 T. M. S. L. 12300mm						変更前			変更後			機関	取付箇所	溢水防護上の区画番号	—			R-1F-3	R-1F-6	R-1F-5		溢水防護上の配慮が必要な高さ	—			EL0.35m以上	EL0.33m以上	EL0.34m以上	過給機	種類	排気タービン式						出口の圧力	kPa	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> </span> *1 (最大連続回転時)			変更なし		回転速度*3	rpm	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> </span> (最大連続回転数)			個数	—	6 (ディーゼル機関1個につき2) *5			取付箇所	—	ディーゼル機関と同じ				
非常用ディーゼル発電機																																																																																																																																																													
エンジン																																																																																																																																																													
台数	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">3</span>																																																																																																																																																												
出力	約5,000kW/台(連続)																																																																																																																																																												
起動時間	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">約13秒</span>																																																																																																																																																												
使用燃料	軽油																																																																																																																																																												
発電機																																																																																																																																																													
台数	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">3</span>																																																																																																																																																												
種類	横軸回転界磁3相同期発電機																																																																																																																																																												
容量	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">約6.250kVA/台</span>																																																																																																																																																												
力率	0.8																																																																																																																																																												
電圧	6.9kV																																																																																																																																																												
周波数	50Hz																																																																																																																																																												
軽油タンク																																																																																																																																																													
基数	2																																																																																																																																																												
容量	約550kL/基																																																																																																																																																												
		変更前			変更後																																																																																																																																																								
名称		ディーゼル機関 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">又(2)(ii)a.-①</span>																																																																																																																																																											
機関	種類	4サイクルたて形 <input type="checkbox"/> 気筒ディーゼル機関			変更なし																																																																																																																																																								
	出力	5295 *1. *2																																																																																																																																																											
	回転速度*3	1000																																																																																																																																																											
	燃種類	軽油																																																																																																																																																											
燃料	使用量	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> </span>																																																																																																																																																											
	個数	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">3</span>																																																																																																																																																											
取付箇所	系統名	ディーゼル機関A 非常用ディーゼル発電設備 7A	ディーゼル機関B 非常用ディーゼル発電設備 7B	ディーゼル機関C 非常用ディーゼル発電設備 7C																																																																																																																																																									
	設置床	原子炉建屋 T. M. S. L. 12300mm	原子炉建屋 T. M. S. L. 12300mm	原子炉建屋 T. M. S. L. 12300mm																																																																																																																																																									
		変更前			変更後																																																																																																																																																								
機関	取付箇所	溢水防護上の区画番号	—			R-1F-3	R-1F-6	R-1F-5																																																																																																																																																					
		溢水防護上の配慮が必要な高さ	—			EL0.35m以上	EL0.33m以上	EL0.34m以上																																																																																																																																																					
過給機	種類	排気タービン式																																																																																																																																																											
	出口の圧力	kPa	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> </span> *1 (最大連続回転時)			変更なし																																																																																																																																																							
	回転速度*3	rpm	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> </span> (最大連続回転数)																																																																																																																																																										
	個数	—	6 (ディーゼル機関1個につき2) *5																																																																																																																																																										
取付箇所	—	ディーゼル機関と同じ																																																																																																																																																											



設置変更許可申請書（本文（五号））	設置変更許可申請書（添付書類八） 該当事項	設計及び工事の計画 該当事項	整合性	備考																																																																																																																																																																													
		<p>(5) 発電機に係る次の事項 イ 発電機の名称、種類、容量、主要寸法、力率、電圧、相、周波数、回転速度、結線法、冷却方法、個数及び取付箇所（常設及び可搬型の別に記載すること。）</p> <p>・常設</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th colspan="3">変更前</th> <th colspan="3">変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>名</td> <td>称</td> <td colspan="3">発電機</td> <td colspan="3">又(2)(ii)a.-①b</td> </tr> <tr> <td>種</td> <td>類</td> <td colspan="3">同期発電機</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td>容</td> <td>量</td> <td>kVA/個</td> <td colspan="2">6250</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">主 要 寸 法</td> <td>た</td> <td>て</td> <td>mm</td> <td colspan="2">4365<sup>*1, *2</sup></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>横</td> <td></td> <td>mm</td> <td colspan="2">4260<sup>*1, *2</sup></td> <td colspan="2">又(2)(ii)a.-②</td> </tr> <tr> <td>高</td> <td>さ</td> <td>mm</td> <td colspan="2">2451<sup>*1, *2</sup></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>力</td> <td>率</td> <td>—</td> <td colspan="2">0.8</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td>電</td> <td>圧</td> <td>V</td> <td colspan="2">6900</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td>相</td> <td></td> <td>—</td> <td colspan="2">3</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td>周</td> <td>波</td> <td>数</td> <td>Hz</td> <td colspan="2">50</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>回</td> <td>転</td> <td>速</td> <td>度<sup>*3</sup></td> <td colspan="2">rpm</td> <td colspan="2">1000</td> </tr> <tr> <td>結</td> <td>線</td> <td>法</td> <td>—</td> <td colspan="2">星形</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>冷</td> <td>却</td> <td>方</td> <td>法<sup>*4</sup></td> <td colspan="2">—</td> <td colspan="2">空気冷却</td> </tr> <tr> <td>個</td> <td>数</td> <td>—</td> <td colspan="2">3 (ディーゼル機関1個につき1)<sup>*5</sup></td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">取 付 箇 所</td> <td>系</td> <td>統</td> <td>名</td> <td>発電機 7A<sup>*1</sup> 非常用ディーゼル 発電設備 7A</td> <td>発電機 7B<sup>*1</sup> 非常用ディーゼル 発電設備 7B</td> <td>発電機 7C<sup>*1</sup> 非常用ディーゼル 発電設備 7C</td> <td></td> </tr> <tr> <td>設</td> <td>置</td> <td>床</td> <td>原子炉建屋<sup>*1</sup> T. M. S. L. 12300mm</td> <td>原子炉建屋<sup>*1</sup> T. M. S. L. 12300mm</td> <td>原子炉建屋<sup>*1</sup> T. M. S. L. 12300mm</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th colspan="3">変更前</th> <th colspan="3">変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>取</td> <td>付</td> <td>溢</td> <td>水</td> <td>防</td> <td>護</td> <td>上</td> <td>の</td> </tr> <tr> <td>区</td> <td>画</td> <td>番</td> <td>号</td> <td colspan="3">—</td> <td>R-1F-3</td> </tr> <tr> <td>配</td> <td>慮</td> <td>が</td> <td>必</td> <td>要</td> <td>な</td> <td>高</td> <td>さ</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="3">—</td> <td>EL0.35m 以上</td> <td>EL0.33m 以上</td> <td>EL0.34m 以上</td> </tr> </tbody> </table>			変更前			変更後			名	称	発電機			又(2)(ii)a.-①b			種	類	同期発電機						容	量	kVA/個	6250					主 要 寸 法	た	て	mm	4365 <sup>*1, *2</sup>				横		mm	4260 <sup>*1, *2</sup>		又(2)(ii)a.-②		高	さ	mm	2451 <sup>*1, *2</sup>				力	率	—	0.8					電	圧	V	6900					相		—	3					周	波	数	Hz	50				回	転	速	度 <sup>*3</sup>	rpm		1000		結	線	法	—	星形				冷	却	方	法 <sup>*4</sup>	—		空気冷却		個	数	—	3 (ディーゼル機関1個につき1) <sup>*5</sup>					取 付 箇 所	系	統	名	発電機 7A <sup>*1</sup> 非常用ディーゼル 発電設備 7A	発電機 7B <sup>*1</sup> 非常用ディーゼル 発電設備 7B	発電機 7C <sup>*1</sup> 非常用ディーゼル 発電設備 7C		設	置	床	原子炉建屋 <sup>*1</sup> T. M. S. L. 12300mm	原子炉建屋 <sup>*1</sup> T. M. S. L. 12300mm	原子炉建屋 <sup>*1</sup> T. M. S. L. 12300mm				変更前			変更後			取	付	溢	水	防	護	上	の	区	画	番	号	—			R-1F-3	配	慮	が	必	要	な	高	さ			—			EL0.35m 以上	EL0.33m 以上	EL0.34m 以上	変更なし	
		変更前			変更後																																																																																																																																																																												
名	称	発電機			又(2)(ii)a.-①b																																																																																																																																																																												
種	類	同期発電機																																																																																																																																																																															
容	量	kVA/個	6250																																																																																																																																																																														
主 要 寸 法	た	て	mm	4365 <sup>*1, *2</sup>																																																																																																																																																																													
	横		mm	4260 <sup>*1, *2</sup>		又(2)(ii)a.-②																																																																																																																																																																											
	高	さ	mm	2451 <sup>*1, *2</sup>																																																																																																																																																																													
力	率	—	0.8																																																																																																																																																																														
電	圧	V	6900																																																																																																																																																																														
相		—	3																																																																																																																																																																														
周	波	数	Hz	50																																																																																																																																																																													
回	転	速	度 <sup>*3</sup>	rpm		1000																																																																																																																																																																											
結	線	法	—	星形																																																																																																																																																																													
冷	却	方	法 <sup>*4</sup>	—		空気冷却																																																																																																																																																																											
個	数	—	3 (ディーゼル機関1個につき1) <sup>*5</sup>																																																																																																																																																																														
取 付 箇 所	系	統	名	発電機 7A <sup>*1</sup> 非常用ディーゼル 発電設備 7A	発電機 7B <sup>*1</sup> 非常用ディーゼル 発電設備 7B	発電機 7C <sup>*1</sup> 非常用ディーゼル 発電設備 7C																																																																																																																																																																											
	設	置	床	原子炉建屋 <sup>*1</sup> T. M. S. L. 12300mm	原子炉建屋 <sup>*1</sup> T. M. S. L. 12300mm	原子炉建屋 <sup>*1</sup> T. M. S. L. 12300mm																																																																																																																																																																											
		変更前			変更後																																																																																																																																																																												
取	付	溢	水	防	護	上	の																																																																																																																																																																										
区	画	番	号	—			R-1F-3																																																																																																																																																																										
配	慮	が	必	要	な	高	さ																																																																																																																																																																										
		—			EL0.35m 以上	EL0.33m 以上	EL0.34m 以上																																																																																																																																																																										
		<p>整合性</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>設計及び工事の計画の又(2)(ii)a.-①a)及び又(2)(ii)a.-①b)は、設置変更許可申請書（本文（五号））の又(2)(ii)a.-①と同義であり、整合している。</li> <li>又(2)(ii)a.-② : 6250kVA×0.8（力率）=5000kW</li> </ul>																																																																																																																																																																															
		<p>【非常用電源設備】 （基本設計方針） 第2章 個別項目 2. 交流電源設備 2.1 非常用ディーゼル発電設備 &lt;中略&gt; 非常用ディーゼル発電設備は、非常用高圧母線低電圧信号又は非常用炉心冷却設備作動信号で起動し、設置（変更）許可を受けた原子炉冷却材喪失事故における工学的安全施設の設備の作動開始時間を満足する時間で</p>																																																																																																																																																																															

設置変更許可申請書（本文（五号））	設置変更許可申請書（添付書類八） 該当事項	設計及び工事の計画 該当事項	整合性	備考
	<p>10.1.2 重大事故等時</p> <p>10.1.2.1 非常用交流電源設備</p> <p>10.1.2.1.1 概要</p> <p>非常用交流電源設備は、想定される重大事故等時において、重大事故等対処設備（設計基準拡張）として使用する。</p> <p>非常用交流電源設備は、重大事故等時に ATWS 緩和設備（代替制御棒挿入機能）、ATWS 緩和設備（代替冷却材再循環ポンプ・トリップ機能）、ほう酸水注入系、高圧炉心注水系、代替自動減圧ロジック（代替自動減圧機能）、低圧代替注水系（常設）、低圧代替注水系（可搬型）、残留熱除去系（低圧注水モード）、残留熱除去系（原子炉停止時冷却モード）、原子炉補機冷却系、代替格納容器スプレイ冷却系（常設）、代替格納容器スプレイ冷却系（可搬型）、残留熱除去系（格納容器スプレイ冷却モード）、残留熱除去系（サプレッション・チェンバ・プール水冷却モード）、計装設備及び非常用ガス処理系へ電力を供給できる設計とする。</p> <p>10.1.2.1.2 設計方針</p> <p>非常用交流電源設備は、「1.1.7 重大事故等対処設備に関する基本方針」のうち、多様性、位置的分散を除く設計方針を適用して設計を行う。</p>	<p>あるヌ(2)(ii)a.-③13.秒以内に電圧を確立した後は、各非常用高圧母線に接続し、負荷に給電する設計とする。</p> <p>&lt;中略&gt;</p> <p>非常用ディーゼル発電設備は、想定される重大事故等時において、重大事故等対処設備（設計基準拡張）として使用できる設計とする。</p> <p>非常用ディーゼル発電設備は、設計基準事故対処設備であるとともに、重大事故等時においても使用するため、重大事故等対処設備としての基本方針に示す設計方針を適用する。ただし、多様性及び独立性並びに位置的分散を考慮すべき対象の設計基準事故対処設備はないことから、重大事故等対処設備の基本方針のうち「5.1.2 多様性、位置的分散等」に示す設計方針は適用しない。</p> <p>非常用ディーゼル発電設備は重大事故等時に、ATWS 緩和設備（代替制御棒挿入機能）、ATWS 緩和設備（代替冷却材再循環ポンプ・トリップ機能）、ほう酸水注入系、高圧炉心注水系、代替自動減圧ロジック（代替自動減圧機能）、低圧代替注水系（常設）、低圧代替注水系（可搬型）、残留熱除去系（低圧注水モード）、残留熱除去系（原子炉停止時冷却モード）、原子炉補機冷却水系、原子炉補機冷却海水系、代替格納容器スプレイ冷却系（常設）、代替格納容器スプレイ冷却系（可搬型）、残留熱除去系（格納容器スプレイ冷却モード）、残留熱除去系（サプレッションチェンバプール水冷却モード）、計装設備及び非常用ガス処理系へ電力を供給できる設計とする。</p>	<p>設計及び工事の計画のヌ(2)(ii)a.-③は、設置変更許可申請書（本文（五号））のヌ(2)(ii)a.-③を詳細設計した結果であり、整合している。</p>	

設置変更許可申請書（本文（五号））	設置変更許可申請書（添付書類八） 該当事項	設計及び工事の計画 該当事項	整合性	備考
<p>又(2)(ii)a.-④非常用ディーゼル発電機は、7日間の外部電源喪失を仮定しても、連続運転により必要とする電力を供給できるよう、7日間分の容量以上の燃料を又(2)(ii)a.-⑤軽油タンクに貯蔵する設計とする。</p>	<p>10.1.1 通常運転時等            10.1.1.2 設計方針            10.1.1.2.1 非常用所内電源系            &lt;中略&gt;            また、7日間の外部電源喪失を仮定しても、連続運転により必要とする電力を供給できるよう、7日間分の容量以上の燃料を軽油タンクに貯蔵する設計とする。            &lt;中略&gt;</p>	<p>4. 燃料設備            4.1 非常用ディーゼル発電設備の燃料補給設備              又(2)(ii)a.-④非常用ディーゼル発電設備は、7日間の外部電源喪失を仮定しても、連続運転により必要とする電力を供給できるよう、7日間分の容量以上の燃料を又(2)(ii)a.-⑤7号機の軽油タンクに貯蔵する設計とする。</p>	<p>設計及び工事の計画の又(2)(ii)a.-④は、設置変更許可申請書（本文（五号））の又(2)(ii)a.-④を全て含んでおり、整合している。              設計及び工事の計画の又(2)(ii)a.-⑤は、設置変更許可申請書（本文（五号））の又(2)(ii)a.-⑤と同義であり、整合している。</p>	



設置変更許可申請書（本文（五号））	設置変更許可申請書（添付書類八） 該当事項	設計及び工事の計画 該当事項	整合性	備考																																																																																																																									
<p>b. <u>軽油タンク</u></p> <p>基数 <u>2</u></p> <p>容量 <u>又(2)(ii)b.-①約550kL (1基当たり)</u></p>	<p>第 10.1-5 表 非常用ディーゼル発電機の主要機器仕様</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2" style="text-align: center;">非常用ディーゼル発電機</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">エンジン</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">台 数</td> <td style="text-align: center;">3</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">出 力</td> <td style="text-align: center;">約 5,000kW/台 (連続)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">起動時間</td> <td style="text-align: center;">約 13 秒</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">使用燃料</td> <td style="text-align: center;">軽油</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">発電機</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">台 数</td> <td style="text-align: center;">3</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">種 類</td> <td style="text-align: center;">横軸回転界磁 3 同期発電機</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">容 量</td> <td style="text-align: center;">約 6,250kVA/台</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">力 率</td> <td style="text-align: center;">0.8</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">電 圧</td> <td style="text-align: center;">6.9kV</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">周 波 数</td> <td style="text-align: center;">50Hz</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;"><u>軽油タンク</u></td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">基 数</td> <td style="text-align: center;"><u>2</u></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">容 量</td> <td style="text-align: center;"><u>約 550kL/基</u></td> </tr> </tbody> </table>	非常用ディーゼル発電機		エンジン		台 数	3	出 力	約 5,000kW/台 (連続)	起動時間	約 13 秒	使用燃料	軽油	発電機		台 数	3	種 類	横軸回転界磁 3 同期発電機	容 量	約 6,250kVA/台	力 率	0.8	電 圧	6.9kV	周 波 数	50Hz	<u>軽油タンク</u>		基 数	<u>2</u>	容 量	<u>約 550kL/基</u>	<p>【非常用電源設備】</p> <p>(要目表)</p> <p>2 非常用発電装置に係る次の事項</p> <p style="margin-left: 20px;">ロ 容器の名称、種類、容量、最高使用圧力、最高使用温度、主要寸法、材料、個数及び取付箇所（常設及び可搬型の別に記載すること。）</p> <p>・常設</p> <p>a. 軽油タンク（重大事故等時のみ 6,7 号機共用）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th style="text-align: center;">変 更 前</th> <th style="text-align: center;">変 更 後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">名 称</td> <td></td> <td style="text-align: center;">*1 軽油タンク (重大事故等時のみ 6,7 号機共用)</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td></td> <td style="text-align: center;">(A) (B)</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">種 類</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td style="text-align: center;">たて置円筒形</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">容 量</td> <td style="text-align: center;">kL/個</td> <td style="text-align: center;">□以上(565*2) 又(2)(ii)b.-①</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">最 高 使 用 圧 力</td> <td style="text-align: center;">MPa</td> <td style="text-align: center;">静水頭</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">最 高 使 用 温 度</td> <td style="text-align: center;">℃</td> <td style="text-align: center;">66</td> </tr> <tr> <td rowspan="10" style="text-align: center; vertical-align: middle;">主 要 寸 法</td> <td style="text-align: center;">胴 内 径</td> <td style="text-align: center;">mm</td> <td style="text-align: center;">9800*2</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">側 板 厚 さ</td> <td style="text-align: center;">mm</td> <td style="text-align: center;">□□*2)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">底 板 厚 さ</td> <td style="text-align: center;">mm</td> <td style="text-align: center;">□□*2)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">屋 根 板 厚 さ</td> <td style="text-align: center;">mm</td> <td style="text-align: center;">□(□*2)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">管 台 外 径 (液 出 口)</td> <td style="text-align: center;">mm</td> <td style="text-align: center;">76.3*2</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">管 台 厚 さ (液 出 口)</td> <td style="text-align: center;">mm</td> <td style="text-align: center;">□(7*2) □(□*2)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">側 マンホール 外 径</td> <td style="text-align: center;">mm</td> <td style="text-align: center;">712*2 711.2*2</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">側 マンホール 厚 さ</td> <td style="text-align: center;">mm</td> <td style="text-align: center;">□(□*2)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">側 マンホール ふた 厚 さ</td> <td style="text-align: center;">mm</td> <td style="text-align: center;">40*2 □(□*2)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">高 さ</td> <td style="text-align: center;">mm</td> <td style="text-align: center;">9500*2</td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center; vertical-align: middle;">材 料</td> <td style="text-align: center;">側 板</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td style="text-align: center;">□</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">底 板</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td style="text-align: center;">□</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">屋 根 板</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td style="text-align: center;">□</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">マンホールふた</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td style="text-align: center;">□</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">個 数</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td style="text-align: center;">2*3</td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center; vertical-align: middle;">取 付 箇 所</td> <td style="text-align: center;">系 統 名</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td style="text-align: center;">軽油タンク A 軽油タンク B 非常用ディーゼル 非常用ディーゼル 発電設備 7A, 7C 発電設備 7B</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">設 置 床</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td style="text-align: center;">屋外 T. M. S. L. 12000mm</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td style="text-align: center;">—</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td style="text-align: center;">—</td> </tr> </tbody> </table>			変 更 前	変 更 後	名 称			*1 軽油タンク (重大事故等時のみ 6,7 号機共用)				(A) (B)	種 類		—	たて置円筒形	容 量		kL/個	□以上(565*2) 又(2)(ii)b.-①	最 高 使 用 圧 力		MPa	静水頭	最 高 使 用 温 度		℃	66	主 要 寸 法	胴 内 径	mm	9800*2	側 板 厚 さ	mm	□□*2)	底 板 厚 さ	mm	□□*2)	屋 根 板 厚 さ	mm	□(□*2)	管 台 外 径 (液 出 口)	mm	76.3*2	管 台 厚 さ (液 出 口)	mm	□(7*2) □(□*2)	側 マンホール 外 径	mm	712*2 711.2*2	側 マンホール 厚 さ	mm	□(□*2)	側 マンホール ふた 厚 さ	mm	40*2 □(□*2)	高 さ	mm	9500*2	材 料	側 板	—	□	底 板	—	□	屋 根 板	—	□	マンホールふた	—	□	個 数		—	2*3	取 付 箇 所	系 統 名	—	軽油タンク A 軽油タンク B 非常用ディーゼル 非常用ディーゼル 発電設備 7A, 7C 発電設備 7B	設 置 床	—	屋外 T. M. S. L. 12000mm	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—	—	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—	—		
非常用ディーゼル発電機																																																																																																																													
エンジン																																																																																																																													
台 数	3																																																																																																																												
出 力	約 5,000kW/台 (連続)																																																																																																																												
起動時間	約 13 秒																																																																																																																												
使用燃料	軽油																																																																																																																												
発電機																																																																																																																													
台 数	3																																																																																																																												
種 類	横軸回転界磁 3 同期発電機																																																																																																																												
容 量	約 6,250kVA/台																																																																																																																												
力 率	0.8																																																																																																																												
電 圧	6.9kV																																																																																																																												
周 波 数	50Hz																																																																																																																												
<u>軽油タンク</u>																																																																																																																													
基 数	<u>2</u>																																																																																																																												
容 量	<u>約 550kL/基</u>																																																																																																																												
		変 更 前	変 更 後																																																																																																																										
名 称			*1 軽油タンク (重大事故等時のみ 6,7 号機共用)																																																																																																																										
			(A) (B)																																																																																																																										
種 類		—	たて置円筒形																																																																																																																										
容 量		kL/個	□以上(565*2) 又(2)(ii)b.-①																																																																																																																										
最 高 使 用 圧 力		MPa	静水頭																																																																																																																										
最 高 使 用 温 度		℃	66																																																																																																																										
主 要 寸 法	胴 内 径	mm	9800*2																																																																																																																										
	側 板 厚 さ	mm	□□*2)																																																																																																																										
	底 板 厚 さ	mm	□□*2)																																																																																																																										
	屋 根 板 厚 さ	mm	□(□*2)																																																																																																																										
	管 台 外 径 (液 出 口)	mm	76.3*2																																																																																																																										
	管 台 厚 さ (液 出 口)	mm	□(7*2) □(□*2)																																																																																																																										
	側 マンホール 外 径	mm	712*2 711.2*2																																																																																																																										
	側 マンホール 厚 さ	mm	□(□*2)																																																																																																																										
	側 マンホール ふた 厚 さ	mm	40*2 □(□*2)																																																																																																																										
	高 さ	mm	9500*2																																																																																																																										
材 料	側 板	—	□																																																																																																																										
	底 板	—	□																																																																																																																										
	屋 根 板	—	□																																																																																																																										
	マンホールふた	—	□																																																																																																																										
個 数		—	2*3																																																																																																																										
取 付 箇 所	系 統 名	—	軽油タンク A 軽油タンク B 非常用ディーゼル 非常用ディーゼル 発電設備 7A, 7C 発電設備 7B																																																																																																																										
	設 置 床	—	屋外 T. M. S. L. 12000mm																																																																																																																										
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—	—																																																																																																																										
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—	—																																																																																																																										

設置変更許可申請書（本文（五号））	設置変更許可申請書（添付書類八） 該当事項	設計及び工事の計画 該当事項	整合性	備考
		<p>注記*1：非常用電源設備のうち非常用発電装置のうち代替交流電源設備、緊急時対策所代替電源設備及び監視測定設備用電源設備並びに補機駆動用燃料設備のうち燃料設備と兼用。</p> <p>*2：公称値を示す。</p> <p>*3：非常用電源設備のうち非常用発電装置のうち代替交流電源設備、緊急時対策所代替電源設備及び監視測定設備用電源設備並びに補機駆動用燃料設備のうち燃料設備として使用する場合は、軽油タンク（6号機設備、重大事故等時のみ6,7号機共用）を含めて個数1(予備3)とする。</p>	<p>設計及び工事の計画の又(2)  (ii)b.-①は、設置変更許可申請書（本文（五号））の又(2)  (ii)b.-①を詳細に記載しており、整合している。</p>	

設置変更許可申請書（本文（五号））	設置変更許可申請書（添付書類八） 該当事項	設計及び工事の計画 該当事項	整合性	備考																																																																																																																																						
<p>(iii) 蓄電池</p> <p>a. <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">又(2)(iii)a.-①</span>蓄電池（非常用）</p> <p>型式 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">又(2)(iii)a.-②</span>鉛蓄電池</p> <p>組数 <u>4</u></p> <p>容量 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">又(2)(iii)a.-③</span>約10,000Ah（1組）</p> <p style="margin-left: 20px;">約3,000Ah（2組）</p> <p style="margin-left: 20px;">約2,200Ah（1組）</p>	<p>第 10.1-3 表 直流電源の主要機器仕様</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>直流125V蓄電池</th> <th>直流250V蓄電池</th> <th>直流125V常用系蓄電池</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>蓄電池</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>組数</td> <td>4</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>電圧</td> <td>125V</td> <td>250V</td> <td>125V</td> </tr> <tr> <td>容量</td> <td>約10,000Ah（1組） 約3,000Ah（2組） 約2,200Ah（1組）</td> <td>約3,000Ah</td> <td>約300Ah</td> </tr> <tr> <td>充電器</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>台数</td> <td>5（予備2台）</td> <td>1（予備1台）</td> <td>1（予備1台）</td> </tr> <tr> <td>充電方式</td> <td>浮動（常時）</td> <td>浮動（常時）</td> <td>浮動（常時）</td> </tr> </tbody> </table>		直流125V蓄電池	直流250V蓄電池	直流125V常用系蓄電池	蓄電池				組数	4	1	1	電圧	125V	250V	125V	容量	約10,000Ah（1組） 約3,000Ah（2組） 約2,200Ah（1組）	約3,000Ah	約300Ah	充電器				台数	5（予備2台）	1（予備1台）	1（予備1台）	充電方式	浮動（常時）	浮動（常時）	浮動（常時）	<p>3 その他の電源装置に係る次の事項</p> <p>(2) 電力貯蔵装置の名称、種類、容量、電圧、主要寸法、個数及び取付箇所（常設及び可搬型の別に記載すること。）</p> <p>・常設</p> <p>a. 直流125V蓄電池</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">種類</th> <th rowspan="2">名称</th> <th colspan="2">変更前*1</th> <th colspan="2">変更後</th> </tr> <tr> <th colspan="2">直流125V蓄電池</th> <th colspan="2">変更なし</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">種</td> <td rowspan="4">類</td> <td rowspan="4">—</td> <td>7A</td> <td>制御弁式 据置鉛蓄電池</td> <td>変更なし</td> </tr> <tr> <td>7A-2*2</td> <td>密閉形クラッド式 据置鉛蓄電池</td> <td>変更なし</td> </tr> <tr> <td>7B</td> <td>密閉形クラッド式 据置鉛蓄電池</td> <td rowspan="3">変更なし</td> </tr> <tr> <td>7C</td> <td>密閉形クラッド式 据置鉛蓄電池</td> </tr> <tr> <td>7D</td> <td>密閉形クラッド式 据置鉛蓄電池</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">容</td> <td rowspan="4">量</td> <td rowspan="4">Ah/組*3,*4</td> <td>7A</td> <td>6000（10時間率）</td> <td>変更なし</td> </tr> <tr> <td>7A-2*2</td> <td>4000（10時間率）</td> <td>変更なし</td> </tr> <tr> <td>7B</td> <td>3000（10時間率）</td> <td rowspan="3">変更なし</td> </tr> <tr> <td>7C</td> <td>3000（10時間率）</td> </tr> <tr> <td>7D</td> <td>2200（10時間率）</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">電</td> <td rowspan="4">圧</td> <td rowspan="4">V</td> <td colspan="2">125</td> <td>変更なし</td> </tr> <tr> <td>7A</td> <td><input type="checkbox"/> *5, *6, *7</td> <td>変更なし</td> </tr> <tr> <td>7A-2*2</td> <td><input type="checkbox"/> (×8) *5, *8 <input type="checkbox"/> (×14) *5, *9</td> <td>変更なし</td> </tr> <tr> <td>7B</td> <td><input type="checkbox"/> (×8) *5, *10 <input type="checkbox"/> (×14) *5, *11</td> <td rowspan="3">変更なし</td> </tr> <tr> <td>7C</td> <td><input type="checkbox"/> (×8) *5, *10 <input type="checkbox"/> (×14) *5, *11</td> </tr> <tr> <td>7D</td> <td><input type="checkbox"/> (×4) *5, *12 <input type="checkbox"/> (×2) *5, *13</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">主</td> <td rowspan="4">要</td> <td rowspan="4">寸</td> <td rowspan="4">法</td> <td rowspan="4">横</td> <td rowspan="4">mm</td> <td>7A</td> <td><input type="checkbox"/> (×12) *5, *6 <input type="checkbox"/> (×4) *5, *7</td> <td>変更なし</td> </tr> <tr> <td>7A-2*2</td> <td><input type="checkbox"/> *5,*8,*9</td> <td>変更なし</td> </tr> <tr> <td>7B</td> <td><input type="checkbox"/> *5, *10, *11</td> <td rowspan="3">変更なし</td> </tr> <tr> <td>7C</td> <td><input type="checkbox"/> *5, *10, *11</td> </tr> <tr> <td>7D</td> <td><input type="checkbox"/> *5, *12, *13</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">高</td> <td rowspan="4">さ</td> <td rowspan="4">mm</td> <td>7A</td> <td><input type="checkbox"/> *5, *6, *7</td> <td>変更なし</td> </tr> <tr> <td>7A-2*2</td> <td><input type="checkbox"/> *5, *8, *9</td> <td>変更なし</td> </tr> <tr> <td>7B</td> <td><input type="checkbox"/> *5, *10, *11</td> <td rowspan="3">変更なし</td> </tr> <tr> <td>7C</td> <td><input type="checkbox"/> *5, *10, *11</td> </tr> <tr> <td>7D</td> <td><input type="checkbox"/> *5, *12, *13</td> </tr> <tr> <td>個</td> <td>数</td> <td>組*4,*14</td> <td colspan="2">4</td> <td>変更なし</td> </tr> </tbody> </table>	種類	名称	変更前*1		変更後		直流125V蓄電池		変更なし		種	類	—	7A	制御弁式 据置鉛蓄電池	変更なし	7A-2*2	密閉形クラッド式 据置鉛蓄電池	変更なし	7B	密閉形クラッド式 据置鉛蓄電池	変更なし	7C	密閉形クラッド式 据置鉛蓄電池	7D	密閉形クラッド式 据置鉛蓄電池	容	量	Ah/組*3,*4	7A	6000（10時間率）	変更なし	7A-2*2	4000（10時間率）	変更なし	7B	3000（10時間率）	変更なし	7C	3000（10時間率）	7D	2200（10時間率）	電	圧	V	125		変更なし	7A	<input type="checkbox"/> *5, *6, *7	変更なし	7A-2*2	<input type="checkbox"/> (×8) *5, *8 <input type="checkbox"/> (×14) *5, *9	変更なし	7B	<input type="checkbox"/> (×8) *5, *10 <input type="checkbox"/> (×14) *5, *11	変更なし	7C	<input type="checkbox"/> (×8) *5, *10 <input type="checkbox"/> (×14) *5, *11	7D	<input type="checkbox"/> (×4) *5, *12 <input type="checkbox"/> (×2) *5, *13	主	要	寸	法	横	mm	7A	<input type="checkbox"/> (×12) *5, *6 <input type="checkbox"/> (×4) *5, *7	変更なし	7A-2*2	<input type="checkbox"/> *5,*8,*9	変更なし	7B	<input type="checkbox"/> *5, *10, *11	変更なし	7C	<input type="checkbox"/> *5, *10, *11	7D	<input type="checkbox"/> *5, *12, *13	高	さ	mm	7A	<input type="checkbox"/> *5, *6, *7	変更なし	7A-2*2	<input type="checkbox"/> *5, *8, *9	変更なし	7B	<input type="checkbox"/> *5, *10, *11	変更なし	7C	<input type="checkbox"/> *5, *10, *11	7D	<input type="checkbox"/> *5, *12, *13	個	数	組*4,*14	4		変更なし	<p>整合性</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>設計及び工事の計画の<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">又(2)(iii)a.-①</span>は、設置変更許可申請書（本文（五号））の<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">又(2)(iii)a.-①</span>を具体的に記載しており、整合している。</li> <li>設計及び工事の計画の<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">又(2)(iii)a.-②</span>は、設置変更許可申請書（本文（五号））の<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">又(2)(iii)a.-②</span>を具体的に記載しており、整合している。</li> <li>設置変更許可申請書（本文（五号））の<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">又(2)(iii)a.-③</span>は、1組の蓄電池の容量をまとめて記載しているが、設計及び工事の計画の<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">又(2)(iii)a.-③a</span>及び<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">又(2)(iii)a.-③b</span>では、「直流125V蓄電池7A」及び「直流125V蓄電池7A-2」の容量を別々に記載しており合わせると10000Ah（1組）となることから整合している。</li> </ul>	
	直流125V蓄電池	直流250V蓄電池	直流125V常用系蓄電池																																																																																																																																							
蓄電池																																																																																																																																										
組数	4	1	1																																																																																																																																							
電圧	125V	250V	125V																																																																																																																																							
容量	約10,000Ah（1組） 約3,000Ah（2組） 約2,200Ah（1組）	約3,000Ah	約300Ah																																																																																																																																							
充電器																																																																																																																																										
台数	5（予備2台）	1（予備1台）	1（予備1台）																																																																																																																																							
充電方式	浮動（常時）	浮動（常時）	浮動（常時）																																																																																																																																							
種類	名称	変更前*1		変更後																																																																																																																																						
		直流125V蓄電池		変更なし																																																																																																																																						
種	類	—	7A	制御弁式 据置鉛蓄電池	変更なし																																																																																																																																					
			7A-2*2	密閉形クラッド式 据置鉛蓄電池	変更なし																																																																																																																																					
			7B	密閉形クラッド式 据置鉛蓄電池	変更なし																																																																																																																																					
			7C	密閉形クラッド式 据置鉛蓄電池																																																																																																																																						
7D	密閉形クラッド式 据置鉛蓄電池																																																																																																																																									
容	量	Ah/組*3,*4	7A	6000（10時間率）	変更なし																																																																																																																																					
			7A-2*2	4000（10時間率）	変更なし																																																																																																																																					
			7B	3000（10時間率）	変更なし																																																																																																																																					
			7C	3000（10時間率）																																																																																																																																						
7D	2200（10時間率）																																																																																																																																									
電	圧	V	125		変更なし																																																																																																																																					
			7A	<input type="checkbox"/> *5, *6, *7	変更なし																																																																																																																																					
			7A-2*2	<input type="checkbox"/> (×8) *5, *8 <input type="checkbox"/> (×14) *5, *9	変更なし																																																																																																																																					
			7B	<input type="checkbox"/> (×8) *5, *10 <input type="checkbox"/> (×14) *5, *11	変更なし																																																																																																																																					
7C	<input type="checkbox"/> (×8) *5, *10 <input type="checkbox"/> (×14) *5, *11																																																																																																																																									
7D	<input type="checkbox"/> (×4) *5, *12 <input type="checkbox"/> (×2) *5, *13																																																																																																																																									
主	要	寸	法	横	mm	7A	<input type="checkbox"/> (×12) *5, *6 <input type="checkbox"/> (×4) *5, *7	変更なし																																																																																																																																		
						7A-2*2	<input type="checkbox"/> *5,*8,*9	変更なし																																																																																																																																		
						7B	<input type="checkbox"/> *5, *10, *11	変更なし																																																																																																																																		
						7C	<input type="checkbox"/> *5, *10, *11																																																																																																																																			
7D	<input type="checkbox"/> *5, *12, *13																																																																																																																																									
高	さ	mm	7A	<input type="checkbox"/> *5, *6, *7	変更なし																																																																																																																																					
			7A-2*2	<input type="checkbox"/> *5, *8, *9	変更なし																																																																																																																																					
			7B	<input type="checkbox"/> *5, *10, *11	変更なし																																																																																																																																					
			7C	<input type="checkbox"/> *5, *10, *11																																																																																																																																						
7D	<input type="checkbox"/> *5, *12, *13																																																																																																																																									
個	数	組*4,*14	4		変更なし																																																																																																																																					

設置変更許可申請書（本文（五号））	設置変更許可申請書（添付書類八） 該当事項	設計及び工事の計画 該当事項		整合性		備考				
		取付箇所	系 統 名	変 更 前		変 更 後				
				7A	直流 125V 蓄電池 7A 直流 125V 電源設備 7A	変更なし				
					—	7A-2*2	直流 125 蓄電池 7A-2 直流 125 電源設備 7A			
				7B	直流 125V 蓄電池 7B 直流 125V 電源設備 7B	変更なし				
				7C	直流 125V 蓄電池 7C 直流 125V 電源設備 7C					
				7D	直流 125V 蓄電池 7D 直流 125V 電源設備 7D					
				設 置 床	—	7A	コントロール建屋 T. M. S. L. 200mm	変更なし		
							—	7A-2*2	コントロール建屋 T. M. S. L. 6500mm	
						7B	コントロール建屋 T. M. S. L. 6500mm	変更なし		
						7C	コントロール建屋 T. M. S. L. 6500mm			
						7D	コントロール建屋 T. M. S. L. 6500mm			
				溢水防護上の 区画番号	—			7A	C-MB2-3	
								7A-2	C-B1-5	
								7B	C-B1-3	
						7C	C-B1-2			
						7D	C-B1-4			
		取付箇所	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	—	7A	EL0. 13m 以上			
						7A-2	EL0. 00m 以上			
						7B	EL0. 00m 以上			
						7C	EL0. 00m 以上			
				7D	EL0. 00m 以上					
<p>注記*1：記載内容は、既工事計画認可申請書（平成 25 年 3 月 29 日付け総官発 24 第 382 号工事計画認可申請書、平成 25 年 6 月 28 日付け原管 B 取第 130329003 号 20130401 商第 25 号にて認可）による。なお、本工事計画は、認可された工事計画に対して、基本設計方針の変更を行うことに伴い申請するものである。</p> <p>*2：本設備は既存の設備である。</p> <p>*3：記載の適正化を行う。既工事計画書には「Ah/個」と</p> <p>*4：蓄電池 7A 及び蓄電池 7A-2 を合わせて 1 組とする。</p>										

又(2)(iii)a.-③b

設置変更許可申請書（本文（五号））	設置変更許可申請書（添付書類八） 該当事項	設計及び工事の計画 該当事項	整合性	備考
<p>(iv) 代替電源設備</p> <p><u>設計基準事故対処設備の電源が喪失したことにより重大事故等が発生した場合において炉心の著しい損傷，原子炉格納容器の破損，使用済燃料プール内の燃料体等の著しい損傷及び運転停止中原子炉内燃料体の著しい損傷を防止するため，<span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">又(2)(iv)-①</span>必要な電力を確保するために必要な重大事故等対処設備を設置及び保管する。</u></p> <p><u>代替電源設備のうち，重大事故等の対応に必要な電力を確保するための設備として，常設代替交流電源設備，可搬型代替交流電源設備，号炉間電力融通電気設備，所内蓄電式直流電源設備（常設代替直流電源設備を含む），可搬型直流電源設備及び代替所内電気設備を設ける。</u></p>	<p>10.1 非常用電源設備 10.1.2 重大事故等時 10.1.2.2 非常用直流電源設備 10.1.2.2.1 概要</p> <p>非常用直流電源設備は，想定される重大事故等時において，重大事故等対処設備（設計基準拡張）として使用する。</p> <p>非常用直流電源設備は，全交流動力電源喪失から12時間，蓄電池（非常用）から電力を供給できる設計とする。</p> <p>10.1.2.2.2 設計方針</p> <p>非常用直流電源設備は，「1.1.7 重大事故等対処設備に関する基本方針」のうち，多様性，位置的分散を除く設計方針を適用して設計を行う。</p> <p>10.2 代替電源設備 10.2.1 概要</p> <p><u>設計基準事故対処設備の電源が喪失したことにより重大事故等が発生した場合において炉心の著しい損傷，原子炉格納容器の破損，使用済燃料プール内の燃料体等の著しい損傷及び運転停止中原子炉内燃料体の著しい損傷を防止するため，必要な電力を確保するために必要な重大事故等対処設備を設置及び保管する。</u></p> <p>&lt;中略&gt;</p> <p>10.2.2 設計方針</p> <p><u>代替電源設備のうち，重大事故等の対応に必要な電力を確保するための設備として，常設代替交流電源設備，可搬型代替交流電源設備，号炉間電力融通電気設備，所内蓄電式直流電源設備（常設代替直流電源設備を含む），可搬型直流電源設備及び代替所内電気設備を設ける。</u></p>	<p><b>【非常用電源設備】</b> (基本設計方針)</p> <p>第2章 個別項目</p> <p>3. 直流電源設備及び計測制御用電源設備</p> <p>3.1 常設直流電源設備</p> <p>&lt;中略&gt;</p> <p>非常用直流電源設備の直流125V蓄電池，直流125V充電器（125V, 700A及び125V, 400Aのものを5個），直流125V主母線盤（125V, 1600Aのものを4個），125V同時投入防止用切替盤（125V, 800Aのものを1個）は，想定される重大事故等時において，重大事故等対処設備（設計基準拡張）として使用できる設計とする。</p> <p>非常用直流電源設備は，設計基準事故対処設備であるとともに，重大事故等時においても使用するため，重大事故等対処設備としての基本方針に示す設計方針を適用する。ただし，多様性及び独立性並びに位置的分散を考慮すべき対象の設計基準事故対処設備はないことから，重大事故等対処設備の基本方針のうち「5.1.2 多様性，位置的分散等」に示す設計方針は適用しない。</p> <p>&lt;中略&gt;</p> <p>2. 交流電源設備</p> <p>2.2 常設代替交流電源設備</p> <p><u>設計基準事故対処設備の電源が喪失したことにより重大事故等が発生した場合において，炉心の著しい損傷，原子炉格納容器の破損，使用済燃料貯蔵プール内の燃料体等の著しい損傷及び運転停止中原子炉内燃料体の著しい損傷を防止するために<span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">又(2)(iv)-①a</span>必要な交流負荷へ電力を供給する重大事故等対処設備として常設代替交流電源設備を設ける設計とする。</u></p> <p>&lt;中略&gt;</p> <p>2.3 可搬型代替交流電源設備</p> <p><span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">又(2)(iv)-①b</span>設計基準事故対処設備の交流電源が</p>	<p>設計及び工事の計画の<span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">又(2)</span> <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">(iv)-①a</span>～<span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">又(2)(iv)-①f</span> は，設置変更許可申請書（本文（五号））の<span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">又(2)(iv)-①</span>と同義であり，整合している。</p>	

設置変更許可申請書（本文（五号））	設置変更許可申請書（添付書類八） 該当事項	設計及び工事の計画 該当事項	整合性	備考
		<p>喪失（全交流動力電源喪失）した場合に、重大事故等の対応に必要な発電用原子炉等を冷却するための設備である復水移送ポンプ、プラント監視機能を維持する設備等に電力を供給する重大事故等対処設備として、<u>可搬型代替交流電源設備を使用できる設計とする。</u></p> <p>&lt;中略&gt;</p> <p>1. 非常用電源設備の電源系統</p> <p>1.3 号炉間電力融通系統</p> <p><u>又(2)(iv)-①c</u> 設計基準事故対処設備の交流電源が喪失（全交流動力電源喪失）した場合の重大事故等対処設備として、<u>号炉間電力融通電気設備を使用できる設計とする。</u></p> <p>&lt;中略&gt;</p> <p>3. 直流電源設備及び計測制御用電源設備</p> <p>3.1 常設直流電源設備</p> <p>&lt;中略&gt;</p> <p><u>又(2)(iv)-①d</u> 設計基準事故対処設備の交流電源が喪失（全交流動力電源喪失）した場合に、重大事故等の対応に必要な設備に直流電力を供給する重大事故等対処設備として、<u>所内蓄電式直流電源設備及び常設代替直流電源設備を使用できる設計とする。</u></p> <p>&lt;中略&gt;</p> <p>3.2 可搬型直流電源設備</p> <p><u>又(2)(iv)-①e</u> 設計基準事故対処設備の交流電源及び直流電源が喪失した場合に、重大事故等の対応に必要な設備に直流電力を供給する重大事故等対処設備として、<u>可搬型直流電源設備を使用できる設計とする。</u></p> <p>&lt;中略&gt;</p> <p>1. 非常用電源設備の電源系統</p> <p>1.2 所内電気系統</p> <p>&lt;中略&gt;</p> <p><u>又(2)(iv)-①f</u> これとは別に設計基準事故対処設備の非常用所内電気設備が機能喪失した場合の重大事故等対処設備として、<u>代替所内電気設備を使用できる設計とする。</u></p> <p>&lt;中略&gt;</p>		



設置変更許可申請書（本文（五号））	設置変更許可申請書（添付書類八） 該当事項	設計及び工事の計画 該当事項	整合性	備考
<p>また、重大事故等時に<sup>②</sup>又(2)(iv)-<sup>②</sup>a 重大事故等対処設備の補機駆動用の<sup>③</sup>又(2)(iv)-<sup>③</sup>軽油<sup>②</sup>又(2)(iv)-<sup>②</sup>b を補給するための設備として、燃料補給設備を設ける。</p> <p>a. 代替交流電源設備による給電            (a) 常設代替交流電源設備による給電  <u>設計基準事故対処設備の<sup>①</sup>又(2)(iv)a.(a)-<sup>①</sup>交流電源が喪失(全交流動力電源喪失)した場合の重大事故等対処設備として、常設代替交流電源設備を使用する。</u>  <u>常設代替交流電源設備は、第一ガスタービン発電機、第一ガスタービン発電機用燃料タンク、第一ガスタービン発電機用燃料移送ポンプ、軽油タンク、タンクローリ(16kL)、電路、計測制御装置等で構成し、第一ガスタービン発電機を中央制御室での操作にて速やかに起動し、<sup>②</sup>又(2)(iv)a.(a)-<sup>②</sup>非常用高圧母線C系及び非常用高圧母線D系、又はAM用MCCへ接続することで電力を供給できる設計とする。</u></p>	<p>また、重大事故等時に重大事故等対処設備の補機駆動用の軽油を補給するための設備として、燃料補給設備を設ける。</p> <p>(1) 代替交流電源設備による給電            a. 常設代替交流電源設備による給電  <u>設計基準事故対処設備の交流電源が喪失(全交流動力電源喪失)した場合の重大事故等対処設備として、常設代替交流電源設備を使用する。</u>  <u>常設代替交流電源設備は、第一ガスタービン発電機、第一ガスタービン発電機用燃料タンク、第一ガスタービン発電機用燃料移送ポンプ、軽油タンク、タンクローリ(16kL)、電路、計測制御装置等で構成し、第一ガスタービン発電機を中央制御室での操作にて速やかに起動し、非常用高圧母線C系及び非常用高圧母線D系、又はAM用MCCへ接続することで電力を供給できる設計とする。</u></p>	<p>4. 燃料設備            4.3 その他発電装置の燃料補給設備  <u>重大事故等時に<sup>②</sup>又(2)(iv)-<sup>②</sup>a 非常用電源設備の<sup>③</sup>又(2)(iv)-<sup>③</sup>燃料<sup>②</sup>又(2)(iv)-<sup>②</sup>b を貯蔵及び補給する設備として、軽油タンク、タンクローリ(4kL)及びホースを使用できる設計とする。</u>            &lt;中略&gt;</p> <p>2. 交流電源設備            2.2 常設代替交流電源設備  <u>設計基準事故対処設備の<sup>①</sup>又(2)(iv)a.(a)-<sup>①</sup>電源が喪失したことにより重大事故等が発生した場合において、炉心の著しい損傷、原子炉格納容器の破損、使用済燃料貯蔵プール内の燃料体等の著しい損傷及び運転停止中原子炉内燃料体の著しい損傷を防止するために必要な交流負荷へ電力を供給する重大事故等対処設備として常設代替交流電源設備を設ける設計とする。</u>  <u>常設代替交流電源設備は、第一ガスタービン発電機(「6,7号機共用」(以下同じ。))、第一ガスタービン発電機用燃料タンク(「6,7号機共用」(以下同じ。))、第一ガスタービン発電機用燃料移送ポンプ(「6,7号機共用」(以下同じ。))、軽油タンク(「重大事故等時のみ6,7号機共用」,「6号機設備、重大事故等時のみ6,7号機共用」(以下同じ。))、タンクローリ(16kL)(「6,7号機共用」(以下同じ。))、電路、計測制御装置等で構成し、設計基準事故対処設備の交流電源が喪失(全交流動力電源喪失)した場合に、重大事故等に対処するために第一ガスタービン発電機を中央制御室での操作にて速やかに起動し、代替所内電気設備を介して<sup>②</sup>又(2)(iv)a.(a)-<sup>②</sup>メタルクラッド開閉装置7C及びメタルクラッド開閉装置</u></p>	<p>設計及び工事の計画の<sup>②</sup>又(2)(iv)-<sup>②</sup>a 及び<sup>②</sup>又(2)(iv)-<sup>②</sup>b は、設置変更許可申請書(本文(五号))の<sup>②</sup>又(2)(iv)-<sup>②</sup>a 及び<sup>②</sup>又(2)(iv)-<sup>②</sup>b を具体的に記載しており、整合している。</p> <p>設計及び工事の計画の<sup>②</sup>又(2)(iv)-<sup>③</sup>は、設置変更許可申請書(本文(五号))の<sup>②</sup>又(2)(iv)-<sup>③</sup>と同義であり、整合している。</p> <p>設計及び工事の計画の<sup>②</sup>又(2)(iv)a.(a)-<sup>①</sup>は、設置変更許可申請書(本文(五号))の<sup>②</sup>又(2)(iv)a.(a)-<sup>①</sup>と同義であり、整合している。</p> <p>設計及び工事の計画の<sup>②</sup>又(2)(iv)a.(a)-<sup>②</sup>は、設置変更許可申請書(本文(五号))の<sup>②</sup>又(2)(iv)a.(a)-<sup>②</sup>と同義であり、整合している。</p>	

設置変更許可申請書（本文（五号））	設置変更許可申請書（添付書類八） 該当事項	設計及び工事の計画 該当事項	整合性	備考
<p>第一ガスタービン発電機 <u>ヌ(2)(iv)a.(a)-③</u> の燃料は、<u>第一ガスタービン発電機用燃料タンクより第一ガスタービン発電機用燃料移送ポンプを用いて補給できる設計とする。</u></p> <p>また、<u>第一ガスタービン発電機用燃料タンクの燃料は、軽油タンクよりタンクローリ（16kL）を用いて補給できる設計とする。</u></p> <p>常設代替交流電源設備は、<u>ヌ(2)(iv)a.(a)-④</u> 非常用交流電源設備に対して、<u>独立性を有し、位置的分散を図る設計とする。</u></p> <p>(b) 可搬型代替交流電源設備による給電</p> <p><u>設計基準事故対処設備の交流電源が喪失（全交流動力電源喪失）した場合の重大事故等対処設備として、可搬型代替交流電源設備を使用する。</u></p>	<p>第一ガスタービン発電機の燃料は、<u>第一ガスタービン発電機用燃料タンクより第一ガスタービン発電機用燃料移送ポンプを用いて補給できる設計とする。</u></p> <p>また、<u>第一ガスタービン発電機用燃料タンクの燃料は、軽油タンクよりタンクローリ（16kL）を用いて補給できる設計とする。</u></p> <p>常設代替交流電源設備は、<u>非常用交流電源設備に対して、独立性を有し、位置的分散を図る設計とする。</u></p> <p>&lt;中略&gt;</p> <p>b. 可搬型代替交流電源設備による給電</p> <p><u>設計基準事故対処設備の交流電源が喪失（全交流動力電源喪失）した場合の重大事故等対処設備として、可搬型代替交流電源設備を使用する。</u></p>	<p><u>7D、又はAM用MCCへ接続することで電力を供給できる設計とする。</u></p> <p>&lt;中略&gt;</p> <p>4. 燃料設備</p> <p>4.2 常設代替交流電源設備の燃料補給設備</p> <p><u>第一ガスタービン発電機は、第一ガスタービン発電機用燃料タンク <u>ヌ(2)(iv)a.(a)-③</u> から第一ガスタービン発電機用燃料移送ポンプを用いて燃料を補給できる設計とする。</u></p> <p><u>また、第一ガスタービン発電機用燃料タンクは、軽油タンクからタンクローリ（16kL）を用いて燃料を補給できる設計とする。</u></p> <p>軽油タンクからタンクローリ（16kL）への軽油の補給は、ホースを用いる設計とする。</p> <p>2. 交流電源設備</p> <p>2.2 常設代替交流電源設備</p> <p>&lt;中略&gt;</p> <p><u>常設代替交流電源設備の第一ガスタービン発電機、タンクローリ（16kL）、第一ガスタービン発電機用燃料タンク及び第一ガスタービン発電機用燃料移送ポンプは、原子炉建屋から離れた屋外に設置又は保管することで、<u>ヌ(2)(iv)a.(a)-④</u> 原子炉建屋内の非常用ディーゼル発電機及び燃料ディタンク並びに原子炉建屋近傍の燃料移送ポンプと共通要因によって同時に機能を損なわないよう、<u>位置的分散を図る設計とする。</u></u></p> <p><u>常設代替交流電源設備は、第一ガスタービン発電機から非常用高圧母線までの系統において、独立した電路で系統構成することにより、<u>非常用ディーゼル発電機から非常用高圧母線までの系統に対して、独立性を有する設計とする。</u></u></p> <p>これらの多様性及び位置的分散並びに電路の独立性によって、<u>常設代替交流電源設備は非常用ディーゼル発電設備に対して独立性を有する設計とする。</u></p> <p>2.3 可搬型代替交流電源設備</p> <p><u>設計基準事故対処設備の交流電源が喪失（全交流動力電源喪失）した場合に、重大事故等の対応に必要な発電用原子炉等を冷却するための設備である復水移送ポン</u></p>	<p>設計及び工事の計画の <u>ヌ(2)(iv)a.(a)-③</u> は、設置変更許可申請書（本文（五号））の <u>ヌ(2)(iv)a.(a)-③</u> と同義であり、整合している。</p> <p>設計及び工事の計画の <u>ヌ(2)(iv)a.(a)-④</u> は、設置変更許可申請書（本文（五号））の <u>ヌ(2)(iv)a.(a)-④</u> を具体的に記載しており、整合している。</p>	



設置変更許可申請書（本文（五号））	設置変更許可申請書（添付書類八） 該当事項	設計及び工事の計画 該当事項	整合性	備考
<p><u>可搬型代替交流電源設備は、電源車、軽油タンク、タンクローリ（4kL）、電路、計測制御装置等で構成し、電源車を</u> <span style="border: 1px solid black;">又(2)(iv)a.(b)-①</span> <u>非常用高压母線 C 系及び非常用高压母線 D 系、又は AM 用 MCC へ接続することで電力を供給できる設計とする。</u></p> <p><u>電源車</u> <span style="border: 1px solid black;">又(2)(iv)a.(b)-②</span> <u>の燃料は、軽油タンクよりタンクローリ（4kL）を用いて補給できる設計とする。</u></p> <p><u>可搬型代替交流電源設備は、</u> <span style="border: 1px solid black;">又(2)(iv)a.(b)-③</span> <u>非常用交流電源設備に対して、独立性を有し、位置的分散を図る設計とする。</u></p>	<p><u>可搬型代替交流電源設備は、電源車、軽油タンク、タンクローリ（4kL）、電路、計測制御装置等で構成し、電源車を非常用高压母線 C 系及び非常用高压母線 D 系、又は AM 用 MCC へ接続することで電力を供給できる設計とする。</u></p> <p><u>電源車の燃料は、軽油タンクよりタンクローリ（4kL）を用いて補給できる設計とする。</u></p> <p><u>可搬型代替交流電源設備は、非常用交流電源設備に対して、独立性を有し、位置的分散を図る設計とする。</u></p> <p>&lt;中略&gt;</p>	<p>ブ、プラント監視機能を維持する設備等に電力を供給する <u>重大事故等対処設備として、可搬型代替交流電源設備を使用できる設計とする。</u></p> <p><u>可搬型代替交流電源設備は、電源車（「6,7号機共用」（以下同じ。）、軽油タンク、タンクローリ（4kL）（「6,7号機共用」（以下同じ。）、電路、計測制御装置等で構成し、電源車を、非常用所内電気設備又は代替所内電気設備を経由して</u> <span style="border: 1px solid black;">又(2)(iv)a.(b)-①</span> <u>メタルクラッド開閉装置 7C 及びメタルクラッド開閉装置 7D、若しくは AM 用 MCC へ接続し、又は直接、熱交換器ユニットへ接続することで電力を供給できる設計とする。</u></p> <p>4. 燃料設備</p> <p>4.3 その他発電装置の燃料補給設備</p> <p>&lt;中略&gt;</p> <p><u>電源車、モニタリングポスト用発電機及び5号機原子炉建屋内緊急時対策所用可搬型電源設備は、軽油タンク</u> <span style="border: 1px solid black;">又(2)(iv)a.(b)-②</span> <u>からタンクローリ（4kL）を用いて燃料を補給できる設計とする。</u></p> <p>&lt;中略&gt;</p> <p>2. 交流電源設備</p> <p>2.3 可搬型代替交流電源設備</p> <p>&lt;中略&gt;</p> <p><u>可搬型代替交流電源設備の電源車及びタンクローリ（4kL）は、屋外の原子炉建屋から離れた場所に保管することで、</u> <span style="border: 1px solid black;">又(2)(iv)a.(b)-③</span> <u>原子炉建屋内の非常用ディーゼル発電機及び燃料ディタンク並びに原子炉建屋近傍の燃料移送ポンプと共通要因によって同時に機能を損なわないよう、位置的分散を図る設計とする。また、可搬型代替交流電源設備の電源車及びタンクローリ（4kL）は、屋外のタービン建屋近傍の第一ガスタービン発電機、第一ガスタービン発電機用燃料タンク及び第一ガスタービン発電機用燃料移送ポンプから離れた場所に保管することで、共通要因によって同時に機能を損なわないよう、位置的分散を図る設計とする。</u></p> <p><u>可搬型代替交流電源設備は、電源車から非常用高压母線までの系統において、独立した電路で系統構成することにより、非常用ディーゼル発電機から非常用高压母線</u></p>	<p>設計及び工事の計画の <span style="border: 1px solid black;">又(2)(iv)a.(b)-①</span> は、設置変更許可申請書（本文（五号））の <span style="border: 1px solid black;">又(2)(iv)a.(b)-①</span> と同義であり、整合している。</p> <p>設計及び工事の計画の <span style="border: 1px solid black;">又(2)(iv)a.(b)-②</span> は、設置変更許可申請書（本文（五号））の <span style="border: 1px solid black;">又(2)(iv)a.(b)-②</span> と同義であり、整合している。</p> <p>設計及び工事の計画の <span style="border: 1px solid black;">又(2)(iv)a.(b)-③</span> は、設置変更許可申請書（本文（五号））の <span style="border: 1px solid black;">又(2)(iv)a.(b)-③</span> を具体的に記載しており、整合している。</p>	

設置変更許可申請書（本文（五号））	設置変更許可申請書（添付書類八） 該当事項	設計及び工事の計画 該当事項	整合性	備考
<p>(c) 号炉間電力融通電気設備による給電</p> <p><u>設計基準事故対処設備の交流電源が喪失（全交流動力電源喪失）した場合の重大事故等対処設備として、号炉間電力融通電気設備を使用する。</u></p> <p><u>号炉間電力融通電気設備は、号炉間電力融通ケーブル（常設）、号炉間電力融通ケーブル（可搬型）、又(2)(iv)a.(c)-①計測制御装置等で構成し、号炉間電力融通ケーブル（常設）をあらかじめ敷設し、6号及び7号炉の緊急用電源切替箱断路器に手動で接続することで、又(2)(iv)a.(c)-②他号炉の電源設備から又(2)(iv)a.(c)-③非常用高圧母線C系及び非常用高圧母線D系に電力を供給できる設計とする。また、号炉間電力融通ケーブル（常設）が使用できない場合に、予備ケーブルとして号炉間電力融通ケーブル（可搬型）を6号及び7号炉の緊急用電源切替箱断路器に手動で接続することで、又(2)(iv)a.(c)-②他号炉の電源設備から又(2)(iv)a.(c)-③非常用高圧母線C系及び非常用高圧母線D系に電力を供給できる設計とする。</u></p> <p>b. 代替直流電源設備による給電</p> <p>(a) 所内蓄電式直流電源設備及び常設代替直流電源設備による給電</p> <p><u>設計基準事故対処設備の交流電源が喪失（全交流動力電源喪失）した場合の重大事故等対処設備として、所内蓄電式直流電源設備及び常設代替直流電源設備を使用する。</u></p>	<p>c. 号炉間電力融通電気設備による給電</p> <p><u>設計基準事故対処設備の交流電源が喪失（全交流動力電源喪失）した場合の重大事故等対処設備として、号炉間電力融通電気設備を使用する。</u></p> <p><u>号炉間電力融通電気設備は、号炉間電力融通ケーブル（常設）、号炉間電力融通ケーブル（可搬型）、計測制御装置等で構成し、号炉間電力融通ケーブル（常設）をあらかじめ敷設し、6号及び7号炉の緊急用電源切替箱断路器に手動で接続することで、他号炉の電源設備から非常用高圧母線C系及び非常用高圧母線D系に電力を供給できる設計とする。また、号炉間電力融通ケーブル（常設）が使用できない場合に、予備ケーブルとして号炉間電力融通ケーブル（可搬型）を6号及び7号炉の緊急用電源切替箱断路器に手動で接続することで、他号炉の電源設備から非常用高圧母線C系及び非常用高圧母線D系に電力を供給できる設計とする。</u></p> <p>&lt;中略&gt;</p> <p>(2) 代替直流電源設備による給電</p> <p>a. 所内蓄電式直流電源設備及び常設代替直流電源設備による給電</p> <p><u>設計基準事故対処設備の交流電源が喪失（全交流動力電源喪失）した場合の重大事故等対処設備として、所内蓄電式直流電源設備及び常設代替直流電源設備を使用する。</u></p>	<p><u>までの系統に対して、独立性を有する設計とする。</u></p> <p>これらの多様性及び位置的分散並びに電路の独立性によって、<u>可搬型代替交流電源設備は非常用ディーゼル発電設備に対して独立性を有する設計とする。</u></p> <p>&lt;中略&gt;</p> <p>1. 非常用電源設備の電源系統</p> <p>1.3 号炉間電力融通系統</p> <p><u>設計基準事故対処設備の交流電源が喪失（全交流動力電源喪失）した場合の重大事故等対処設備として、号炉間電力融通電気設備を使用できる設計とする。</u></p> <p><u>号炉間電力融通電気設備は、号炉間電力融通ケーブル（常設）（「6,7号機共用、6号機及び7号機の間におわり設置」（以下同じ。））（6900V、258.3Aのものを1相分1本の3相分3本を1セット）、号炉間電力融通ケーブル（可搬型）（「6,7号機共用、7号機に保管」（以下同じ。））（6900V、258.3Aのものを1相分1本の3相分3本を1セット）、又(2)(iv)a.(c)-①計測制御装置で構成し、号炉間電力融通ケーブル（常設）をあらかじめ敷設し、6号機及び7号機の緊急用電源切替箱断路器に手動で接続することで、又(2)(iv)a.(c)-②6号機の電源設備から又(2)(iv)a.(c)-③メタルクラッド開閉装置7C及びメタルクラッド開閉装置7Dに電力を融通できる設計とする。また、号炉間電力融通ケーブル（常設）が使用できない場合に、予備ケーブルとして号炉間電力融通ケーブル（可搬型）を6号機及び7号機の緊急用電源切替箱断路器に手動で接続することで、又(2)(iv)a.(c)-②6号機の電源設備から又(2)(iv)a.(c)-③メタルクラッド開閉装置7C及びメタルクラッド開閉装置7Dに電力を融通できる設計とする。</u></p> <p>&lt;中略&gt;</p> <p>3. 直流電源設備及び計測制御用電源設備</p> <p>3.1 常設直流電源設備</p> <p>&lt;中略&gt;</p> <p><u>設計基準事故対処設備の交流電源が喪失（全交流動力電源喪失）した場合に、重大事故等の対応に必要な設備に直流電力を供給する重大事故等対処設備として、所内蓄電式直流電源設備及び常設代替直流電源設備を使用</u></p>	<p>設計及び工事の計画の又(2)(iv)a.(c)-①は、設置変更許可申請書（本文（五号））の又(2)(iv)a.(c)-①を詳細設計した結果であり、整合している。</p> <p>設計及び工事の計画の又(2)(iv)a.(c)-②は、設置変更許可申請書（本文（五号））の又(2)(iv)a.(c)-②と同義であり、整合している。</p> <p>設計及び工事の計画の又(2)(iv)a.(c)-③は、設置変更許可申請書（本文（五号））の又(2)(iv)a.(c)-③と同義であり、整合している。</p>	

設置変更許可申請書（本文（五号））	設置変更許可申請書（添付書類八） 該当事項	設計及び工事の計画 該当事項	整合性	備考
<p>所内蓄電式直流電源設備は、<u>又(2)(iv)b.(a)-①</u>直流125V蓄電池A、直流125V蓄電池A-2、AM用直流125V蓄電池、直流125V充電器A、直流125V充電器A-2、AM用直流125V充電器、電路、計測制御装置等で構成し、全交流動力電源喪失から8時間後に、不要な負荷の切り離しを行い、全交流動力電源喪失から24時間にわたり、直流125V蓄電池A、直流125V蓄電池A-2及びAM用直流125V蓄電池から電力を供給できる設計とする。また、交流電源復旧後に、交流電源を直流125V充電器A、直流125V充電器A-2又はAM用直流125V充電器を経由し直流母線へ接続することで電力を供給できる設計とする。</p> <p>常設代替直流電源設備は、AM用直流125V蓄電池、AM用直流125V充電器、電路、計測制御装置<u>又(2)(iv)b.(a)-②</u>等で構成し、全交流動力電源喪失から24時間にわたり、AM用直流125V蓄電池から電力を供給できる設計とする。また、交流電源復旧後に、交流電源をAM用直流125V充電器を経由し直流母線へ接続することで電力を供給できる設計とする。</p> <p>(b) 可搬型直流電源設備による給電 設計基準事故対処設備の交流電源及び直流電源が喪失した場合の重大事故等対処設備として、可搬型直流電源設備を使用する。 可搬型直流電源設備は、電源車、AM用直流125V充電器、軽油タンク、タンクローリ(4kL)、電路、計測制御装置<u>又(2)(iv)b.(b)-①</u>等で構成し、電源車を代替所内電気設備及びAM用直流125V充電器を経由し直流母線へ接続</p>	<p>所内蓄電式直流電源設備は、<u>直流125V蓄電池A、直流125V蓄電池A-2、AM用直流125V蓄電池、直流125V充電器A、直流125V充電器A-2、AM用直流125V充電器、電路、計測制御装置等で構成し、全交流動力電源喪失から8時間後に、不要な負荷の切り離しを行い、全交流動力電源喪失から24時間にわたり、直流125V蓄電池A、直流125V蓄電池A-2及びAM用直流125V蓄電池から電力を供給できる設計とする。また、交流電源復旧後に、交流電源を直流125V充電器A、直流125V充電器A-2又はAM用直流125V充電器を経由し直流母線へ接続することで電力を供給できる設計とする。</u></p> <p>常設代替直流電源設備は、AM用直流125V蓄電池、AM用直流125V充電器、電路、計測制御装置等で構成し、全交流動力電源喪失から24時間にわたり、AM用直流125V蓄電池から電力を供給できる設計とする。また、交流電源復旧後に、交流電源をAM用直流125V充電器を経由し直流母線へ接続することで電力を供給できる設計とする。</p> <p>&lt;中略&gt;</p> <p>b. 可搬型直流電源設備による給電 設計基準事故対処設備の交流電源及び直流電源が喪失した場合の重大事故等対処設備として、可搬型直流電源設備を使用する。 可搬型直流電源設備は、電源車、AM用直流125V充電器、軽油タンク、タンクローリ(4kL)、電路、計測制御装置等で構成し、電源車を代替所内電気設備及びAM用直流125V充電器を経由し直流母線へ接続することで電力を供給</p>	<p>できる設計とする。</p> <p>所内蓄電式直流電源設備は、<u>又(2)(iv)b.(a)-①</u>直流125V蓄電池7A、直流125V蓄電池7A-2、AM用直流125V蓄電池、直流125V充電器7A、直流125V充電器7A-2、AM用直流125V充電器、直流125V主母線盤7A、125V同時投入防止用切替盤、直流125V HPAC MCC (125V、600Aのものを1個)、電路、計測制御装置等で構成し、直流125V蓄電池7A、直流125V蓄電池7A-2及びAM用直流125V蓄電池は、直流母線へ電力を供給できる設計とする。</p> <p>所内蓄電式直流電源設備の直流125V蓄電池7A、直流125V蓄電池7A-2及びAM用直流125V蓄電池は、全交流動力電源喪失から8時間後に不要な負荷の切り離しを行うことで、全交流動力電源喪失から24時間にわたり、<u>直流125V蓄電池7A、直流125V蓄電池7A-2及びAM用直流125V蓄電池から電力を供給できる設計とする。</u></p> <p>また、交流電源復旧後に、交流電源を直流125V充電器7A、直流125V充電器7A-2又はAM用直流125V充電器を経由し直流母線へ接続することで電力を供給できる設計とする。</p> <p>常設代替直流電源設備は、AM用直流125V蓄電池、AM用直流125V充電器、<u>又(2)(iv)b.(a)-②</u>直流125V HPAC MCC、電路、計測制御装置等で構成し、全交流動力電源喪失から24時間にわたり、AM用直流125V蓄電池から直流母線へ接続することで電力を供給できる設計とする。また、交流電源復旧後に、交流電源をAM用直流125V充電器を経由し直流母線へ接続することで電力を供給できる設計とする。</p> <p>&lt;中略&gt;</p> <p>3.2 可搬型直流電源設備 設計基準事故対処設備の交流電源及び直流電源が喪失した場合に、重大事故等の対応に必要な設備に直流電力を供給する<u>重大事故等対処設備として可搬型直流電源設備を使用できる設計とする。</u> 可搬型直流電源設備は、電源車、AM用直流125V充電器、<u>又(2)(iv)b.(b)-①</u>直流125V HPAC MCC、軽油タンク、タンクローリ(4kL)、電路、計測制御装置等で構成</p>	<p>設計及び工事の計画の<u>又(2)(iv)b.(a)-①</u>は、設置変更許可申請書（本文（五号））の<u>又(2)(iv)b.(a)-①</u>を具体的に記載しており、整合している。</p> <p>設計及び工事の計画の<u>又(2)(iv)b.(a)-②</u>は、設置変更許可申請書（本文（五号））の<u>又(2)(iv)b.(a)-②</u>を具体的に記載しており、整合している。</p> <p>設計及び工事の計画の<u>又(2)(iv)b.(b)-①</u>は、設置変更許</p>	

設置変更許可申請書（本文（五号））	設置変更許可申請書（添付書類八） 該当事項	設計及び工事の計画 該当事項	整合性	備考
<p><u>することで電力を供給できる設計とする。</u></p> <p><u>電源車</u>又(2)(iv)b.(b)-②の燃料は、軽油タンクよりタンクローリ（4kL）を用いて補給できる設計とする。</p> <p><u>可搬型直流電源設備は、電源車の運転を継続することで、設計基準事故対処設備の交流電源及び直流電源の喪失から24時間にわたり必要な負荷に電力の供給を行うことができる設計とする。</u></p> <p><u>可搬型直流電源設備は、</u>又(2)(iv)b.(b)-③<u>非常用直流電源設備に対して、独立性を有し、位置的分散を図る設計とする。</u></p>	<p><u>給できる設計とする。</u></p> <p><u>電源車の燃料は、軽油タンクよりタンクローリ（4kL）を用いて補給できる設計とする。</u></p> <p><u>可搬型直流電源設備は、電源車の運転を継続することで、設計基準事故対処設備の交流電源及び直流電源の喪失から24時間にわたり必要な負荷に電力の供給を行うことができる設計とする。</u></p> <p><u>可搬型直流電源設備は、非常用直流電源設備に対して、</u>独立性を有し、位置的分散を図る設計とする。 &lt;中略&gt;</p>	<p><u>し、電源車を代替所内電気設備及びAM用直流125V充電器を経由し直流母線へ接続することで電力を供給できる設計とする。</u></p> <p>&lt;中略&gt;</p> <p>4. 燃料設備</p> <p>4.3 その他発電装置の燃料補給設備</p> <p>&lt;中略&gt;</p> <p><u>電源車</u>、モニタリングポスト用発電機及び5号機原子炉建屋内緊急時対策所用可搬型電源設備は、<u>軽油タンク</u>又(2)(iv)b.(b)-②からタンクローリ（4kL）を用いて燃料を補給できる設計とする。</p> <p>&lt;中略&gt;</p> <p>3. 直流電源設備及び計測制御用電源設備</p> <p>3.2 可搬型直流電源設備</p> <p>&lt;中略&gt;</p> <p><u>可搬型直流電源設備は、電源車の運転を継続することで、設計基準事故対処設備の交流電源及び直流電源の喪失から24時間にわたり必要な負荷に電力の供給を行うことができる設計とする。</u></p> <p>&lt;中略&gt;</p> <p><u>可搬型直流電源設備の電源車</u>、AM用直流125V充電器及びタンクローリ（4kL）は、<u>屋外の原子炉建屋から離れた場所及び原子炉建屋内に設置又は保管することで、</u>又(2)(iv)b.(b)-③<u>原子炉建屋内の非常用ディーゼル発電機及び燃料ディタンク、原子炉建屋近傍の燃料移送ポンプ並びにコントロール建屋内の充電器と共通要因によって同時に機能を損なわないよう、位置的分散を図る設計とする。</u></p> <p><u>可搬型直流電源設備は、電源車から直流母線までの系統において、独立した電路で系統構成することにより、非常用ディーゼル発電機から直流母線までの系統に対して、独立性を有する設計とする。</u></p> <p>これらの多様性及び位置的分散並びに電路の独立性によって、<u>可搬型直流電源設備は非常用直流電源設備に対して独立性を有する設計とする。</u></p> <p>&lt;中略&gt;</p>	<p>可申請書（本文（五号））の<u>又(2)(iv)b.(b)-①</u>を具体的に記載しており、整合している。</p> <p>設計及び工事の計画の<u>又(2)(iv)b.(b)-②</u>は、設置変更許可申請書（本文（五号））の<u>又(2)(iv)b.(b)-②</u>と同義であり、整合している。</p> <p>設計及び工事の計画の<u>又(2)(iv)b.(b)-③</u>は、設置変更許可申請書（本文（五号））の<u>又(2)(iv)b.(b)-③</u>を具体的に記載しており、整合している。</p>	

設置変更許可申請書（本文（五号））	設置変更許可申請書（添付書類八） 該当事項	設計及び工事の計画 該当事項	整合性	備考
<p>c. 代替所内電気設備による給電</p> <p><u>設計基準事故対処設備の非常用所内電気設備が機能喪失した場合の重大事故等対処設備として、代替所内電気設備を使用する。</u></p> <p><u>代替所内電気設備は、緊急用断路器、緊急用電源切替箱、緊急用電源切替箱接続装置、AM用動力変圧器、AM用MCC、AM用切替盤、AM用操作盤、<span style="border: 1px solid black;">又(2)(iv)c.-①</span>非常用高圧母線C系及び非常用高圧母線D系、計測制御装置<span style="border: 1px solid black;">又(2)(iv)c.-②</span>等で構成し、常設代替交流電源設備又は可搬型代替交流電源設備の電路として使用し電力を供給できる設計とする。</u></p> <p><u>代替所内電気設備は、共通要因で<span style="border: 1px solid black;">又(2)(iv)c.-③</span>設計基準事故対処設備である非常用所内電気設備と同時に機能を<span style="border: 1px solid black;">又(2)(iv)c.-④</span>喪失しない設計とする。</u></p> <p><u>また、代替所内電気設備及び非常用所内電気設備は、少なくとも1系統は機能の維持及び人の接近性を図る設計とする。</u></p>	<p>(3) 代替所内電気設備による給電</p> <p><u>設計基準事故対処設備の非常用所内電気設備が機能喪失した場合の重大事故等対処設備として、代替所内電気設備を使用する。</u></p> <p><u>代替所内電気設備は、緊急用断路器、緊急用電源切替箱、緊急用電源切替箱接続装置、AM用動力変圧器、AM用MCC、AM用切替盤、AM用操作盤、非常用高圧母線C系及び非常用高圧母線D系、計測制御装置等で構成し、常設代替交流電源設備又は可搬型代替交流電源設備の電路として使用し電力を供給できる設計とする。</u></p> <p><u>代替所内電気設備は、共通要因で設計基準事故対処設備である非常用所内電気設備と同時に機能を喪失しない設計とする。</u></p> <p><u>また、代替所内電気設備及び非常用所内電気設備は、少なくとも1系統は機能の維持及び人の接近性を図る設計とする。</u></p> <p>&lt;中略&gt;</p>	<p>1. 非常用電源設備の電源系統</p> <p>1.2 所内電気系統</p> <p>非常用所内電気設備は、3系統の非常用母線等（メタルクラッド開閉装置（6900V, 1200A のものを3個）、パワーセンタ（480V, 4000A 及び 480V, 3000A のものを6個）、モータコントロールセンタ（480V, 400A, 480V, 600A 及び 480V, 800A のものを18個）、動力変圧器（3330kVA, 6900/480V 及び 2000kVA, 6900/480V のものを6個）により構成することにより、共通要因で機能を失うことなく、少なくとも1系統は電力供給機能の維持及び人の接近性の確保を図る設計とする。</p> <p>これとは別に、設計基準事故対処設備の非常用所内電気設備が機能喪失した場合の重大事故等対処設備として、代替所内電気設備を使用できる設計とする。</p> <p><u>代替所内電気設備は、緊急用断路器（「6,7号機共用」（以下同じ。）（6900V, 600A のものを2個）、緊急用電源切替箱断路器（6900V, 600A のものを1個）、緊急用電源切替箱接続装置（6900V, 1200A のものを2個）、AM用動力変圧器（800kVA, 6900/480V のものを1個）、AM用MCC（480V, 400A 及び 480V, 800A のものを4個）、AM用切替盤（480V, 50A のものを2個）、AM用操作盤、<span style="border: 1px solid black;">又(2)(iv)c.-①</span>メタルクラッド開閉装置7C及びメタルクラッド開閉装置7D、<span style="border: 1px solid black;">又(2)(iv)c.-②</span>電路、計測制御装置で構成し、常設代替交流電源設備、可搬型代替交流電源設備又は可搬型直流電源設備の電路として使用し電力を供給できる設計とする。</u></p> <p><u>また、代替所内電気設備及び非常用所内電気設備は、少なくとも1系統は機能の維持及び人の接近性の確保を図る設計とする。</u></p> <p><u>代替所内電気設備の緊急用断路器、緊急用電源切替箱断路器、緊急用電源切替箱接続装置、AM用動力変圧器、AM用MCC及びAM用操作盤は、<span style="border: 1px solid black;">又(2)(iv)c.-③</span>非常用所内電気設備と異なる区画に設置することで、共通要因<span style="border: 1px solid black;">又(2)(iv)c.-④</span>によって同時に機能を損なわないように位置的分散を図る設計とする。</u></p> <p>&lt;中略&gt;</p>	<p>設計及び工事の計画の<span style="border: 1px solid black;">又(2)</span> <span style="border: 1px solid black;">(iv)c.-①</span>は、設置変更許可申請書（本文（五号））の<span style="border: 1px solid black;">又(2)</span> <span style="border: 1px solid black;">(iv)c.-①</span>と同義であり、整合している。</p> <p>設計及び工事の計画の<span style="border: 1px solid black;">又(2)</span> <span style="border: 1px solid black;">(iv)c.-②</span>は、設置変更許可申請書（本文（五号））の<span style="border: 1px solid black;">又(2)</span> <span style="border: 1px solid black;">(iv)c.-②</span>を具体的に記載しており、整合している。</p> <p>設計及び工事の計画の<span style="border: 1px solid black;">又(2)</span> <span style="border: 1px solid black;">(iv)c.-③</span>は、設置変更許可申請書（本文（五号））の<span style="border: 1px solid black;">又(2)</span> <span style="border: 1px solid black;">(iv)c.-③</span>と同義であり、整合している。</p> <p>設計及び工事の計画の<span style="border: 1px solid black;">又(2)</span> <span style="border: 1px solid black;">(iv)c.-④</span>は、設置変更許可申請書（本文（五号））の<span style="border: 1px solid black;">又(2)</span></p>	

設置変更許可申請書（本文（五号））	設置変更許可申請書（添付書類八） 該当事項	設計及び工事の計画 該当事項	整合性	備考
<p>d. 燃料補給設備による給油</p> <p><u>重大事故等時に<del>又(2)(iv)d.-①</del>補機駆動用の軽油を補給する設備として、軽油タンク、タンクローリ（4kL）及びホースを使用する。</u></p> <p><u>可搬型代替注水ポンプ（A-1級）、可搬型代替注水ポンプ（A-2級）、大容量送水車（熱交換器ユニット用）、大容量送水車（原子炉建屋放水設備用）、大容量送水車（海水取水用）、モニタリング・ポスト用発電機及び5号炉原子炉建屋内緊急時対策所用可搬型電源設備は、軽油タンクからタンクローリ（4kL）を用いて燃料を補給できる設計とする。</u></p>	<p>(4) 燃料補給設備による給油</p> <p><u>重大事故等時に補機駆動用の軽油を補給する設備として、軽油タンク、タンクローリ（4kL）及びホースを使用する。</u></p> <p><u>可搬型代替注水ポンプ（A-1級）、可搬型代替注水ポンプ（A-2級）、大容量送水車（熱交換器ユニット用）、大容量送水車（原子炉建屋放水設備用）、大容量送水車（海水取水用）、モニタリング・ポスト用発電機及び5号炉原子炉建屋内緊急時対策所用可搬型電源設備は、軽油タンクからタンクローリ（4kL）を用いて燃料を補給できる設計とする。</u></p>	<p>4. 燃料設備</p> <p>4.3 その他発電装置の燃料補給設備</p> <p><u>重大事故等時に<del>又(2)(iv)d.-①a</del>非常用電源設備の燃料を貯蔵及び補給する設備として、軽油タンク、タンクローリ（4kL）及びホースを使用できる設計とする。</u></p> <p><u>電源車、モニタリングポスト用発電機及び5号機原子炉建屋内緊急時対策所用可搬型電源設備は、軽油タンクからタンクローリ（4kL）を用いて燃料を補給できる設計とする。</u></p> <p>&lt;中略&gt;</p> <p><b>【補機駆動用燃料設備】</b> （基本設計方針）</p> <p>第2章 個別項目</p> <p>1. 補機駆動用燃料設備</p> <p>&lt;中略&gt;</p> <p><u>軽油タンク（「重大事故等時のみ6,7号機共用」、「6号機設備、重大事故等時のみ6,7号機共用」（以下同じ。）は、<del>又(2)(iv)d.-①b</del>可搬型代替注水ポンプ（A-1級）、可搬型代替注水ポンプ（A-2級）、大容量送水車（熱交換器ユニット用）、大容量送水車（原子炉建屋放水設備用）及び大容量送水車（海水取水用）の燃料を貯蔵できる設計とする。</u></p> <p><u>可搬型代替注水ポンプ（A-1級）、可搬型代替注水ポンプ（A-2級）、大容量送水車（熱交換器ユニット用）、大容量送水車（原子炉建屋放水設備用）及び大容量送水車（海水取水用）は、軽油タンクからタンクローリ（4kL）（6,7号機共用）及びホースを用いて燃料を補給できる設計とする。</u></p>	<p><del>(iv)c.-④</del>を具体的に記載しており、整合している。</p> <p>設計及び工事の計画の<del>又(2)(iv)d.-①a</del>及び<del>又(2)(iv)d.-①b</del>は、設置変更許可申請書（本文（五号））の<del>又(2)(iv)d.-①</del>を具体的に記載しており、整合している。</p>	

設置変更許可申請書（本文（五号））	設置変更許可申請書（添付書類八） 該当事項	設計及び工事の計画 該当事項	整合性	備考
<p><u>軽油タンクからタンクローリ（4kL）への軽油の補給は、ホースを用いる設計とする。</u></p> <p><u>常設代替交流電源設備は、<span style="border: 1px solid black;">又(2)(iv)-④</span>非常用交流電源設備と共通要因によって同時に機能を損なわないよう、第一ガスタービン発電機をガスタービンにより駆動することで、ディーゼルエンジンにより駆動する非常用ディーゼル発電機を用いる非常用交流電源設備に対して多様性を有する設計とする。</u></p> <p><u>常設代替交流電源設備の第一ガスタービン発電機、タンクローリ（16kL）、第一ガスタービン発電機用燃料タンク及び第一ガスタービン発電機用燃料移送ポンプは、原子炉建屋から離れた屋外に設置又は保管することで、原子炉建屋内の非常用ディーゼル発電機並びに燃料ディタンク及び原子炉建屋近傍の燃料移送ポンプと共通要因によって同時に機能を損なわないよう、位置的分散を図る設計とする。</u></p> <p><u>常設代替交流電源設備は、第一ガスタービン発電機から非常用高圧母線までの系統において、独立した電路で系統構成することにより、非常用ディーゼル発電機から非常用高圧母線までの系統に対して、独立性を有する設計とする。</u></p> <p><u>これらの多様性及び位置的分散並びに電路の独立性によって、常設代替交流電源設備は非常用交流電源設備に対して独立性を有する設計とする。</u></p> <p><u>可搬型代替交流電源設備は、<span style="border: 1px solid black;">又(2)(iv)-⑤</span>非常用交流</u></p>	<p><u>軽油タンクからタンクローリ（4kL）への軽油の補給は、ホースを用いる設計とする。</u></p> <p>&lt;中略&gt;</p> <p>10.2.2.1 多様性及び独立性、位置的分散</p> <p>&lt;中略&gt;</p> <p><u>常設代替交流電源設備は、非常用交流電源設備と共通要因によって同時に機能を損なわないよう、第一ガスタービン発電機をガスタービンにより駆動することで、ディーゼルエンジンにより駆動する非常用ディーゼル発電機を用いる非常用交流電源設備に対して多様性を有する設計とする。</u></p> <p><u>常設代替交流電源設備の第一ガスタービン発電機、タンクローリ（16kL）、第一ガスタービン発電機用燃料タンク及び第一ガスタービン発電機用燃料移送ポンプは、原子炉建屋から離れた屋外に設置又は保管することで、原子炉建屋内の非常用ディーゼル発電機並びに燃料ディタンク及び原子炉建屋近傍の燃料移送ポンプと共通要因によって同時に機能を損なわないよう、位置的分散を図る設計とする。</u></p> <p><u>常設代替交流電源設備は、第一ガスタービン発電機から非常用高圧母線までの系統において、独立した電路で系統構成することにより、非常用ディーゼル発電機から非常用高圧母線までの系統に対して、独立性を有する設計とする。</u></p> <p><u>これらの多様性及び位置的分散並びに電路の独立性によって、常設代替交流電源設備は非常用交流電源設備に対して独立性を有する設計とする。</u></p> <p><u>可搬型代替交流電源設備は、非常用交流電源設備と共</u></p>	<p><b>【非常用電源設備】</b> （基本設計方針）</p> <p>第2章 個別項目</p> <p>4. 燃料設備</p> <p>4.3 その他発電装置の燃料補給設備</p> <p>&lt;中略&gt;</p> <p><u>軽油タンクからタンクローリ（4kL）への軽油の補給は、ホースを用いる設計とする。</u></p> <p>&lt;中略&gt;</p> <p>2. 交流電源設備</p> <p>2.2 常設代替交流電源設備</p> <p>&lt;中略&gt;</p> <p><u>常設代替交流電源設備は、<span style="border: 1px solid black;">又(2)(iv)-④</span>非常用ディーゼル発電設備と共通要因によって同時に機能を損なわないよう、第一ガスタービン発電機をガスタービンにより駆動することで、ディーゼルエンジンにより駆動する非常用ディーゼル発電機を用いる非常用ディーゼル発電設備に対して多様性を有する設計とする。</u></p> <p><u>常設代替交流電源設備の第一ガスタービン発電機、タンクローリ（16kL）、第一ガスタービン発電機用燃料タンク及び第一ガスタービン発電機用燃料移送ポンプは、原子炉建屋から離れた屋外に設置又は保管することで、原子炉建屋内の非常用ディーゼル発電機及び燃料ディタンク並びに原子炉建屋近傍の燃料移送ポンプと共通要因によって同時に機能を損なわないよう、位置的分散を図る設計とする。</u></p> <p><u>常設代替交流電源設備は、第一ガスタービン発電機から非常用高圧母線までの系統において、独立した電路で系統構成することにより、非常用ディーゼル発電機から非常用高圧母線までの系統に対して、独立性を有する設計とする。</u></p> <p><u>これらの多様性及び位置的分散並びに電路の独立性によって、常設代替交流電源設備は非常用ディーゼル発電設備に対して独立性を有する設計とする。</u></p> <p>2.3 可搬型代替交流電源設備</p> <p>&lt;中略&gt;</p> <p><u>可搬型代替交流電源設備は、<span style="border: 1px solid black;">又(2)(iv)-⑤</span>非常用ディ</u></p>	<p>設計及び工事の計画の<span style="border: 1px solid black;">又(2)(iv)-④</span>は、設置変更許可申請書(本文(五号))の<span style="border: 1px solid black;">又(2)(iv)-④</span>と同義であり、整合している。</p> <p>設計及び工事の計画の<span style="border: 1px solid black;">又(2)</span></p>	

設置変更許可申請書（本文（五号））	設置変更許可申請書（添付書類八） 該当事項	設計及び工事の計画 該当事項	整合性	備考
<p><u>電源設備と共通要因によって同時に機能を損なわないよう、電源車の冷却方式を空冷とすることで、冷却方式が水冷である非常用ディーゼル発電機を用いる非常用交流電源設備に対して多様性を有する設計とする。また、可搬型代替交流電源設備は、常設代替交流電源設備と共通要因によって同時に機能を損なわないよう、電源車をディーゼルエンジンにより駆動することで、ガスタービンにより駆動する第一ガスタービン発電機を用いる常設代替交流電源設備に対して多様性を有する設計とする。</u></p> <p><u>可搬型代替交流電源設備の電源車及びタンクローリ（4kL）は、屋外の原子炉建屋から離れた場所に保管することで、原子炉建屋内の非常用ディーゼル発電機並びに燃料ディタンク及び原子炉建屋近傍の燃料移送ポンプと共通要因によって同時に機能を損なわないよう、位置的分散を図る設計とする。また、可搬型代替交流電源設備の電源車及びタンクローリ（4kL）は、屋外のタービン建屋近傍の第一ガスタービン発電機、第一ガスタービン発電機用燃料タンク及び第一ガスタービン発電機用燃料移送ポンプから離れた場所に保管することで、共通要因によって同時に機能を損なわないよう、位置的分散を図る設計とする。</u></p> <p><u>可搬型代替交流電源設備は、電源車から非常用高压母線までの系統において、独立した電路で系統構成することにより、非常用ディーゼル発電機から非常用高压母線までの系統に対して、独立性を有する設計とする。</u></p> <p><u>これらの多様性及び位置的分散並びに電路の独立性によって、可搬型代替交流電源設備は非常用交流電源設備に対して独立性を有する設計とする。</u></p> <p><u>可搬型代替交流電源設備の電源車の接続箇所は、共通要因によって接続できなくなることを防止するため、位置的分散を図った複数箇所に設置する設計とする。</u></p> <p><u>号炉間電力融通電気設備の号炉間電力融通ケーブル（常設）は、コントロール建屋内に設置することで、原子</u></p>	<p><u>通要因によって同時に機能を損なわないよう、電源車の冷却方式を空冷とすることで、冷却方式が水冷である非常用ディーゼル発電機を用いる非常用交流電源設備に対して多様性を有する設計とする。また、可搬型代替交流電源設備は、常設代替交流電源設備と共通要因によって同時に機能を損なわないよう、電源車をディーゼルエンジンにより駆動することで、ガスタービンにより駆動する第一ガスタービン発電機を用いる常設代替交流電源設備に対して多様性を有する設計とする。</u></p> <p><u>可搬型代替交流電源設備の電源車及びタンクローリ（4kL）は、屋外の原子炉建屋から離れた場所に保管することで、原子炉建屋内の非常用ディーゼル発電機並びに燃料ディタンク及び原子炉建屋近傍の燃料移送ポンプと共通要因によって同時に機能を損なわないよう、位置的分散を図る設計とする。また、可搬型代替交流電源設備の電源車及びタンクローリ（4kL）は、屋外のタービン建屋近傍の第一ガスタービン発電機、第一ガスタービン発電機用燃料タンク及び第一ガスタービン発電機用燃料移送ポンプから離れた場所に保管することで、共通要因によって同時に機能を損なわないよう、位置的分散を図る設計とする。</u></p> <p><u>可搬型代替交流電源設備は、電源車から非常用高压母線までの系統において、独立した電路で系統構成することにより、非常用ディーゼル発電機から非常用高压母線までの系統に対して、独立性を有する設計とする。</u></p> <p><u>これらの多様性及び位置的分散並びに電路の独立性によって、可搬型代替交流電源設備は非常用交流電源設備に対して独立性を有する設計とする。</u></p> <p><u>可搬型代替交流電源設備の電源車の接続箇所は、共通要因によって接続できなくなることを防止するため、位置的分散を図った複数箇所に設置する設計とする。</u></p> <p><u>号炉間電力融通電気設備の号炉間電力融通ケーブル（常設）は、コントロール建屋内に設置することで、原子</u></p>	<p><u>ディーゼル発電設備と共通要因によって同時に機能を損なわないよう、電源車の冷却方式を空冷とすることで、冷却方式が水冷である非常用ディーゼル発電機を用いる非常用ディーゼル発電設備に対して多様性を有する設計とする。また、可搬型代替交流電源設備は、常設代替交流電源設備と共通要因によって同時に機能を損なわないよう、電源車をディーゼルエンジンにより駆動することで、ガスタービンにより駆動する第一ガスタービン発電機を用いる常設代替交流電源設備に対して多様性を有する設計とする。</u></p> <p><u>可搬型代替交流電源設備の電源車及びタンクローリ（4kL）は、屋外の原子炉建屋から離れた場所に保管することで、原子炉建屋内の非常用ディーゼル発電機及び燃料ディタンク並びに原子炉建屋近傍の燃料移送ポンプと共通要因によって同時に機能を損なわないよう、位置的分散を図る設計とする。また、可搬型代替交流電源設備の電源車及びタンクローリ（4kL）は、屋外のタービン建屋近傍の第一ガスタービン発電機、第一ガスタービン発電機用燃料タンク及び第一ガスタービン発電機用燃料移送ポンプから離れた場所に保管することで、共通要因によって同時に機能を損なわないよう、位置的分散を図る設計とする。</u></p> <p><u>可搬型代替交流電源設備は、電源車から非常用高压母線までの系統において、独立した電路で系統構成することにより、非常用ディーゼル発電機から非常用高压母線までの系統に対して、独立性を有する設計とする。</u></p> <p><u>これらの多様性及び位置的分散並びに電路の独立性によって、可搬型代替交流電源設備は非常用ディーゼル発電設備に対して独立性を有する設計とする。</u></p> <p><u>可搬型代替交流電源設備の電源車の接続箇所は、共通要因によって接続できなくなることを防止するため、位置的分散を図った複数箇所に設置する設計とする。</u></p> <p>1. 非常用電源設備の電源系統 1.3 号炉間電力融通系統 &lt;中略&gt;</p> <p><u>号炉間電力融通電気設備の号炉間電力融通ケーブル（常設）は、コントロール建屋内に設置することで、原</u></p>	<p>(iv)-⑤は、設置変更許可申請書(本文(五号))の又(2)(iv)-⑤と同義であり、整合している。</p>	



設置変更許可申請書（本文（五号））	設置変更許可申請書（添付書類八） 該当事項	設計及び工事の計画 該当事項	整合性	備考
<p><u>炉建屋内の非常用ディーゼル発電機と共通要因によって同時に機能を損なわないよう位置的分散を図る設計とする。</u></p> <p><u>号炉間電力融通電気設備の号炉間電力融通ケーブル（可搬型）は、原子炉建屋及びコントロール建屋から離れた屋外に保管することで、原子炉建屋内の非常用ディーゼル発電機及びコントロール建屋内の号炉間電力融通ケーブル（常設）と共通要因によって同時に機能を損なわないよう、位置的分散を図る設計とする。</u></p> <p><u>所内蓄電式直流電源設備は、コントロール建屋内の非常用直流電源設備 4 系統のうち 3 系統と異なる区画及び原子炉建屋内に設置することで、非常用直流電源設備と共通要因によって同時に機能を損なわないよう位置的分散を図る設計とする。</u></p> <p><u>所内蓄電式直流電源設備は、蓄電池及び充電器から直流母線までの系統において、独立した電路で系統構成することにより、非常用直流電源設備 4 系統のうち 3 系統の蓄電池及び充電器から直流母線までの系統に対して、独立性を有する設計とする。</u></p> <p><u>これらの位置的分散及び電路の独立性によって、所内蓄電式直流電源設備は非常用直流電源設備 4 系統のうち 3 系統に対して独立性を有する設計とする。</u></p> <p><u>常設代替直流電源設備は、原子炉建屋内に設置することで、コントロール建屋内の非常用直流電源設備と共通要因によって同時に機能を損なわないよう位置的分散を図る設計とする。</u></p> <p><u>常設代替直流電源設備は、蓄電池及び充電器から直流母線までの系統において、独立した電路で系統構成することにより、非常用直流電源設備の電池及び充電器から直流母線までの系統に対して、独立性を有する設計とする。</u></p> <p><u>これらの位置的分散及び電路の独立性によって、常設代替直流電源設備は非常用直流電源設備に対して独立性</u></p>	<p><u>炉建屋内の非常用ディーゼル発電機と共通要因によって同時に機能を損なわないよう位置的分散を図る設計とする。</u></p> <p><u>号炉間電力融通電気設備の号炉間電力融通ケーブル（可搬型）は、原子炉建屋及びコントロール建屋から離れた屋外に保管することで、原子炉建屋内の非常用ディーゼル発電機及びコントロール建屋内の号炉間電力融通ケーブル（常設）と共通要因によって同時に機能を損なわないよう、位置的分散を図る設計とする。</u></p> <p><u>所内蓄電式直流電源設備は、コントロール建屋内の非常用直流電源設備 4 系統のうち 3 系統と異なる区画及び原子炉建屋内に設置することで、非常用直流電源設備と共通要因によって同時に機能を損なわないよう位置的分散を図る設計とする。</u></p> <p><u>所内蓄電式直流電源設備は、蓄電池及び充電器から直流母線までの系統において、独立した電路で系統構成することにより、非常用直流電源設備 4 系統のうち 3 系統の蓄電池及び充電器から直流母線までの系統に対して、独立性を有する設計とする。</u></p> <p><u>これらの位置的分散及び電路の独立性によって、所内蓄電式直流電源設備は非常用直流電源設備 4 系統のうち 3 系統に対して独立性を有する設計とする。</u></p> <p><u>常設代替直流電源設備は、原子炉建屋内に設置することで、コントロール建屋内の非常用直流電源設備と共通要因によって同時に機能を損なわないよう位置的分散を図る設計とする。</u></p> <p><u>常設代替直流電源設備は、蓄電池及び充電器から直流母線までの系統において、独立した電路で系統構成することにより、非常用直流電源設備の蓄電池及び充電器から直流母線までの系統に対して、独立性を有する設計とする。</u></p> <p><u>これらの位置的分散及び電路の独立性によって、常設代替直流電源設備は非常用直流電源設備に対して独立性</u></p>	<p><u>子炉建屋内の非常用ディーゼル発電設備のディーゼル機関及び発電機（以下、「非常用ディーゼル発電機」という。）と共通要因によって同時に機能を損なわないよう位置的分散を図る設計とする。</u></p> <p><u>号炉間電力融通電気設備の号炉間電力融通ケーブル（可搬型）は、原子炉建屋及びコントロール建屋から離れた屋外に保管することで、原子炉建屋内の非常用ディーゼル発電機及びコントロール建屋内の号炉間電力融通ケーブル（常設）と共通要因によって同時に機能を損なわないよう、位置的分散を図る設計とする。</u></p> <p>3. 直流電源設備及び計測制御用電源設備</p> <p>3.1 常設直流電源設備</p> <p>&lt;中略&gt;</p> <p><u>所内蓄電式直流電源設備は、コントロール建屋内の非常用直流電源設備 4 系統のうち 3 系統と異なる区画及び原子炉建屋内に設置することで、非常用直流電源設備と共通要因によって同時に機能を損なわないよう、位置的分散を図る設計とする。</u></p> <p><u>所内蓄電式直流電源設備は、蓄電池及び充電器から直流母線までの系統において、独立した電路で系統構成することにより、非常用直流電源設備 4 系統のうち 3 系統の蓄電池及び充電器から直流母線までの系統に対して、独立性を有する設計とする。</u></p> <p><u>これらの位置的分散及び電路の独立性によって、所内蓄電式直流電源設備は非常用直流電源設備 4 系統のうち 3 系統に対して独立性を有する設計とする。</u></p> <p><u>常設代替直流電源設備は、原子炉建屋内に設置することで、コントロール建屋内の非常用直流電源設備と共通要因によって同時に機能を損なわないよう、位置的分散を図る設計とする。</u></p> <p><u>常設代替直流電源設備は、蓄電池及び充電器から直流母線までの系統において、独立した電路で系統構成することにより、非常用直流電源設備の蓄電池及び充電器から直流母線までの系統に対して、独立性を有する設計とする。</u></p> <p><u>これらの位置的分散及び電路の独立性によって、常設代替直流電源設備は非常用直流電源設備に対して独立</u></p>		

設置変更許可申請書（本文（五号））	設置変更許可申請書（添付書類八） 該当事項	設計及び工事の計画 該当事項	整合性	備考
<p><u>を有する設計とする。</u></p> <p><u>可搬型直流電源設備は、非常用直流電源設備と共通要因によって同時に機能を損なわないよう、電源車の冷却方式を空冷とすることで、冷却方式が水冷である非常用ディーゼル発電機から給電する非常用直流電源設備に対して多様性を有する設計とする。また、AM用直流125V充電器により交流電力を直流に変換できることで、<u>又(2)(iv)-⑥蓄電池（非常用）を用いる非常用直流電源設備に対して多様性を有する設計とする。</u></u></p> <p><u>可搬型直流電源設備の電源車、AM用直流125V充電器及びタンクローリ（4kL）は、屋外の原子炉建屋から離れた場所及び原子炉建屋内に設置又は保管することで、原子炉建屋内の非常用ディーゼル発電機並びに燃料ディタンク、原子炉建屋近傍の燃料移送ポンプ及びコントロール建屋内の充電器と共通要因によって同時に機能を損なわないよう、位置的分散を図る設計とする。</u></p> <p><u>可搬型直流電源設備は、電源車から直流母線までの系統において、独立した電路で系統構成することにより、非常用ディーゼル発電機から直流母線までの系統に対して、独立性を有する設計とする。</u></p> <p><u>これらの多様性及び位置的分散並びに電路の独立性によって、可搬型直流電源設備は非常用直流電源設備に対して独立性を有する設計とする。</u></p> <p><u>可搬型直流電源設備の電源車の接続箇所は、共通要因によって接続できなくなることを防止するため、位置的分散を図った複数箇所に設置する設計とする。</u></p> <p><u>代替所内電気設備の緊急用断路器、緊急用電源切替箱断路器、緊急用電源切替箱接続装置、AM用動力変圧器、AM用MCC及びAM用操作盤は、非常用所内電気設備と異なる区画に設置することで、非常用所内電気設備と共通要因によって同時に機能を損なわないよう位置的分散を</u></p>	<p><u>を有する設計とする。</u></p> <p><u>可搬型直流電源設備は、非常用直流電源設備と共通要因によって同時に機能を損なわないよう、電源車の冷却方式を空冷とすることで、冷却方式が水冷である非常用ディーゼル発電機から給電する非常用直流電源設備に対して多様性を有する設計とする。また、AM用直流125V充電器により交流電力を直流に変換できることで、蓄電池（非常用）を用いる非常用直流電源設備に対して多様性を有する設計とする。</u></p> <p><u>可搬型直流電源設備の電源車、AM用直流125V充電器及びタンクローリ（4kL）は、屋外の原子炉建屋から離れた場所及び原子炉建屋内に設置又は保管することで、原子炉建屋内の非常用ディーゼル発電機並びに燃料ディタンク、原子炉建屋近傍の燃料移送ポンプ及びコントロール建屋内の充電器と共通要因によって同時に機能を損なわないよう、位置的分散を図る設計とする。</u></p> <p><u>可搬型直流電源設備は、電源車から直流母線までの系統において、独立した電路で系統構成することにより、非常用ディーゼル発電機から直流母線までの系統に対して、独立性を有する設計とする。</u></p> <p><u>これらの多様性及び位置的分散並びに電路の独立性によって、可搬型直流電源設備は非常用直流電源設備に対して独立性を有する設計とする。</u></p> <p><u>可搬型直流電源設備の電源車の接続箇所は、共通要因によって接続できなくなることを防止するため、位置的分散を図った複数箇所に設置する設計とする。</u></p> <p><u>代替所内電気設備の緊急用断路器、緊急用電源切替箱断路器、緊急用電源切替箱接続装置、AM用動力変圧器、AM用MCC及びAM用操作盤は、非常用所内電気設備と異なる区画に設置することで、非常用所内電気設備と共通要因によって同時に機能を損なわないよう位置的分散を</u></p>	<p><u>性を有する設計とする。</u></p> <p>3.2 可搬型直流電源設備          &lt;中略&gt;</p> <p><u>可搬型直流電源設備は、非常用直流電源設備と共通要因によって同時に機能を損なわないよう、電源車の冷却方式を空冷とすることで、冷却方式が水冷である非常用ディーゼル発電機から給電する非常用直流電源設備に対して多様性を有する設計とする。また、AM用直流125V充電器により交流電力を直流に変換できることで、<u>又(2)(iv)-⑥直流125V蓄電池を用いる非常用直流電源設備に対して多様性を有する設計とする。</u></u></p> <p><u>可搬型直流電源設備の電源車、AM用直流125V充電器及びタンクローリ（4kL）は、屋外の原子炉建屋から離れた場所及び原子炉建屋内に設置又は保管することで、原子炉建屋内の非常用ディーゼル発電機及び燃料ディタンク、原子炉建屋近傍の燃料移送ポンプ並びにコントロール建屋内の充電器と共通要因によって同時に機能を損なわないよう、位置的分散を図る設計とする。</u></p> <p><u>可搬型直流電源設備は、電源車から直流母線までの系統において、独立した電路で系統構成することにより、非常用ディーゼル発電機から直流母線までの系統に対して、独立性を有する設計とする。</u></p> <p><u>これらの多様性及び位置的分散並びに電路の独立性によって、可搬型直流電源設備は非常用直流電源設備に対して独立性を有する設計とする。</u></p> <p><u>可搬型直流電源設備の電源車の接続箇所は、共通要因によって接続できなくなることを防止するため、位置的分散を図った複数箇所に設置する設計とする。</u></p> <p>1. 非常用電源設備の電源系統          1.2 所内電気系統          &lt;中略&gt;</p> <p><u>代替所内電気設備の緊急用断路器、緊急用電源切替箱断路器、緊急用電源切替箱接続装置、AM用動力変圧器、AM用MCC及びAM用操作盤は、非常用所内電気設備と異なる区画に設置することで、共通要因によって同時に機能を損なわないよう位置的分散を図る設計とする。</u></p>	<p>設計及び工事の計画の<u>又(2)(iv)-⑥</u>は、設置変更許可申請書(本文(五号))の<u>又(2)(iv)-⑥</u>と同義であり、整合している。</p>	

設置変更許可申請書（本文（五号））	設置変更許可申請書（添付書類八） 該当事項	設計及び工事の計画 該当事項	整合性	備考
<p><u>図る設計とする。</u></p> <p><u>代替所内電気設備は、独立した電路で系統構成することにより、非常用所内電気設備に対して、独立性を有する設計とする。</u></p> <p><u>これらの位置的分散及び電路の独立性によって、代替所内電気設備は非常用所内電気設備に対して独立性を有する設計とする。</u></p> <p><u>燃料補給設備のタンクローリ（4kL）は、原子炉建屋近傍の燃料移送ポンプから離れた屋外に分散して保管することで、燃料移送ポンプと共通要因によって同時に機能を損なわないよう位置的分散を図る設計とする。</u></p> <p><u>軽油タンクは、屋外に分散して設置することで、共通要因によって同時に機能を損なわないよう位置的分散を図る設計とする。</u></p>	<p><u>図る設計とする。</u></p> <p><u>代替所内電気設備は、独立した電路で系統構成することにより、非常用所内電気設備に対して、独立性を有する設計とする。</u></p> <p><u>これらの位置的分散及び電路の独立性によって、代替所内電気設備は非常用所内電気設備に対して独立性を有する設計とする。</u></p> <p><u>燃料補給設備のタンクローリ（4kL）は、原子炉建屋近傍の燃料移送ポンプから離れた屋外に分散して保管することで、燃料移送ポンプと共通要因によって同時に機能を損なわないよう位置的分散を図る設計とする。</u></p> <p><u>軽油タンクは、屋外に分散して設置することで、共通要因によって同時に機能を損なわないよう位置的分散を図る設計とする。</u></p>	<p><u>代替所内電気設備は、独立した電路で系統構成することにより、非常用所内電気設備に対して、独立性を有する設計とする。</u></p> <p><u>これらの位置的分散及び電路の独立性によって、代替所内電気設備は非常用所内電気設備に対して独立性を有する設計とする。</u></p> <p>重大事故等対処施設の動力回路に使用するケーブルは、負荷の容量に応じたケーブルを使用し、非常用電源系統へ接続するか、非常用電源系統と独立した代替所内電気系統へ接続する設計とする。</p> <p>4. 燃料設備</p> <p>4.3 その他発電装置の燃料補給設備</p> <p>&lt;中略&gt;</p> <p><u>燃料補給設備のタンクローリ（4kL）は、原子炉建屋近傍の燃料移送ポンプから離れた屋外に分散して保管することで、燃料移送ポンプと共通要因によって同時に機能を損なわないよう、位置的分散を図る設計とする。</u></p> <p><u>軽油タンクは、屋外に分散して設置することで、共通要因によって同時に機能を損なわないよう、位置的分散を図る設計とする。</u></p>		



設置変更許可申請書（本文（五号））	設置変更許可申請書（添付書類八） 該当事項	設計及び工事の計画 該当事項	整合性	備考																																																																							
		<p>(5) 発電機に係る次の事項                      イ 発電機の名称、種類、容量、主要寸法、力率、電圧、相、周波数、回転速度、結線法、冷却方法、個数及び取付箇所（常設及び可搬型の別に記載すること。）</p> <p>・常設                      a. 第一ガスタービン発電機（6,7号機共用）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th style="text-align: center;">変 更 前</th> <th style="text-align: center;">変 更 後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">名 称</td> <td style="text-align: center;">又(2)(iv)-⑦b</td> <td style="text-align: center;">第一ガスタービン発電機 (6,7号機共用)</td> </tr> <tr> <td>種 類</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td></td> <td style="text-align: center;">同期発電機</td> </tr> <tr> <td>容 量</td> <td style="text-align: center;">kVA/個</td> <td></td> <td style="text-align: center;">4500</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">主 要 寸 法</td> <td style="text-align: center;">た て</td> <td style="text-align: center;">mm</td> <td style="text-align: center;">□ *</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">横</td> <td style="text-align: center;">mm</td> <td style="text-align: center;">□ *</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">高 さ</td> <td style="text-align: center;">mm</td> <td style="text-align: center;">□ *</td> </tr> <tr> <td>力 率</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td></td> <td style="text-align: center;">0.8</td> </tr> <tr> <td>電 圧</td> <td style="text-align: center;">V</td> <td></td> <td style="text-align: center;">6900</td> </tr> <tr> <td>相</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td></td> <td style="text-align: center;">3</td> </tr> <tr> <td>周 波 数</td> <td style="text-align: center;">Hz</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td style="text-align: center;">50</td> </tr> <tr> <td>回 転 速 度</td> <td style="text-align: center;">min<sup>-1</sup></td> <td></td> <td style="text-align: center;">1500</td> </tr> <tr> <td>結 線 法</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td></td> <td style="text-align: center;">星形</td> </tr> <tr> <td>冷 却 方 法</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td></td> <td style="text-align: center;">自由通流</td> </tr> <tr> <td>個 数</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td></td> <td style="text-align: center;">2</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">取 付 箇 所</td> <td style="text-align: center;">系 統 名</td> <td></td> <td style="text-align: center;">第一ガスタービン発電設備</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">設 置 床</td> <td></td> <td style="text-align: center;">7号機タービン建屋南側の屋外 T.M.S.L.12200mm</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td style="text-align: center;">屋外</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ</td> <td></td> <td style="text-align: center;">0.13</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記*：公称値を示す。</p>			変 更 前	変 更 後	名 称		又(2)(iv)-⑦b	第一ガスタービン発電機 (6,7号機共用)	種 類	—		同期発電機	容 量	kVA/個		4500	主 要 寸 法	た て	mm	□ *	横	mm	□ *	高 さ	mm	□ *	力 率	—		0.8	電 圧	V		6900	相	—		3	周 波 数	Hz	—	50	回 転 速 度	min <sup>-1</sup>		1500	結 線 法	—		星形	冷 却 方 法	—		自由通流	個 数	—		2	取 付 箇 所	系 統 名		第一ガスタービン発電設備	設 置 床		7号機タービン建屋南側の屋外 T.M.S.L.12200mm	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—	屋外	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ		0.13		
		変 更 前	変 更 後																																																																								
名 称		又(2)(iv)-⑦b	第一ガスタービン発電機 (6,7号機共用)																																																																								
種 類	—		同期発電機																																																																								
容 量	kVA/個		4500																																																																								
主 要 寸 法	た て	mm	□ *																																																																								
	横	mm	□ *																																																																								
	高 さ	mm	□ *																																																																								
力 率	—		0.8																																																																								
電 圧	V		6900																																																																								
相	—		3																																																																								
周 波 数	Hz	—	50																																																																								
回 転 速 度	min <sup>-1</sup>		1500																																																																								
結 線 法	—		星形																																																																								
冷 却 方 法	—		自由通流																																																																								
個 数	—		2																																																																								
取 付 箇 所	系 統 名		第一ガスタービン発電設備																																																																								
	設 置 床		7号機タービン建屋南側の屋外 T.M.S.L.12200mm																																																																								
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—	屋外																																																																								
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ		0.13																																																																								
			<p>設計及び工事の計画の[又(2)]                      [(iv)-⑦a]及び[又(2)(iv)-⑦b]                      は、設置変更許可申請書（本                      文（五号））の[又(2)(iv)-⑦]と                      同義であり、整合している。</p>																																																																								

設置変更許可申請書（本文（五号））	設置変更許可申請書（添付書類八） 該当事項	設計及び工事の計画 該当事項	整合性	備考																																																																																		
<p>第一ガスタービン発電機用燃料タンク(6号及び7号炉共用)</p> <p>基数 <u>2</u></p> <p>容量 <u>約50kL/基</u></p>	<p>b. <u>第一ガスタービン発電機用燃料タンク(6号及び7号炉共用)</u></p> <p>基数 <u>2</u></p> <p>容量 <u>約50kL/基</u></p>	<p>ロ 容器の名称, 種類, 容量, 最高使用圧力, 最高使用温度, 主要寸法, 材料, 個数及び取付箇所 (常設及び可搬型の別に記載すること。)</p> <p>・常設</p> <p>a. <u>第一ガスタービン発電機用燃料タンク (6,7号機共用)</u></p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th style="text-align: center;">変更前</th> <th style="text-align: center;">変 更 後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">名 称</td> <td></td> <td style="text-align: center;"><u>第一ガスタービン発電機用燃料タンク</u> <u>(6,7号機共用)</u></td> </tr> <tr> <td>種 類</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td></td> <td style="text-align: center;">横置円筒形</td> </tr> <tr> <td>容 量</td> <td style="text-align: center;">kL/個</td> <td></td> <td style="text-align: center;">20 以上 <u>(50*1)</u></td> </tr> <tr> <td>最 高 使 用 圧 力*2</td> <td style="text-align: center;">MPa</td> <td></td> <td style="text-align: center;">静水頭</td> </tr> <tr> <td>最 高 使 用 温 度*2</td> <td style="text-align: center;">℃</td> <td></td> <td style="text-align: center;">66</td> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center;">主 要 寸 法</td> <td>胴 内 径</td> <td style="text-align: center;">mm</td> <td style="text-align: center;">3200*1</td> </tr> <tr> <td>胴 板 厚 さ</td> <td style="text-align: center;">mm</td> <td style="text-align: center;"><input type="text"/> (20*1)</td> </tr> <tr> <td>鏡 板 厚 さ</td> <td style="text-align: center;">mm</td> <td style="text-align: center;"><input type="text"/> (20*1)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">要 寸 法</td> <td>鏡板の形状に係る寸法</td> <td style="text-align: center;">mm</td> <td style="text-align: center;">3200*1 (鏡板の中央部における内面の半径)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">320*1 (すみの丸みの内半径)</td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center;">法</td> <td>管台外径 (注入口)</td> <td style="text-align: center;">mm</td> <td style="text-align: center;">60.5*1</td> </tr> <tr> <td>管台厚さ (注入口)</td> <td style="text-align: center;">mm</td> <td style="text-align: center;"><input type="text"/> (3.9*1)</td> </tr> <tr> <td>管台外径 (排油口)</td> <td style="text-align: center;">mm</td> <td style="text-align: center;">60.5*1</td> </tr> <tr> <td>管台厚さ (排油口)</td> <td style="text-align: center;">mm</td> <td style="text-align: center;"><input type="text"/> (3.9*1)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>全 長</td> <td style="text-align: center;">mm</td> <td style="text-align: center;">7710*1</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">材 料</td> <td>胴 板</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td style="text-align: center;">SM400B</td> </tr> <tr> <td>鏡 板</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td style="text-align: center;">SM400B</td> </tr> <tr> <td></td> <td>個 数</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td style="text-align: center;"><u>2</u></td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center;">取 付 箇 所</td> <td>系 統 名</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td style="text-align: center;">第一ガスタービン発電設備</td> </tr> <tr> <td>設 置 床</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td style="text-align: center;">屋外 T. M. S. L. 12200mm</td> </tr> <tr> <td>溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td style="text-align: center;">—</td> </tr> <tr> <td>溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td style="text-align: center;">—</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記*1 : 公称値を示す。 *2 : 重大事故等時における使用時の値。</p>			変更前	変 更 後	名 称			<u>第一ガスタービン発電機用燃料タンク</u> <u>(6,7号機共用)</u>	種 類	—		横置円筒形	容 量	kL/個		20 以上 <u>(50*1)</u>	最 高 使 用 圧 力*2	MPa		静水頭	最 高 使 用 温 度*2	℃		66	主 要 寸 法	胴 内 径	mm	3200*1	胴 板 厚 さ	mm	<input type="text"/> (20*1)	鏡 板 厚 さ	mm	<input type="text"/> (20*1)	要 寸 法	鏡板の形状に係る寸法	mm	3200*1 (鏡板の中央部における内面の半径)			320*1 (すみの丸みの内半径)	法	管台外径 (注入口)	mm	60.5*1	管台厚さ (注入口)	mm	<input type="text"/> (3.9*1)	管台外径 (排油口)	mm	60.5*1	管台厚さ (排油口)	mm	<input type="text"/> (3.9*1)		全 長	mm	7710*1	材 料	胴 板	—	SM400B	鏡 板	—	SM400B		個 数	—	<u>2</u>	取 付 箇 所	系 統 名	—	第一ガスタービン発電設備	設 置 床	—	屋外 T. M. S. L. 12200mm	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—	—	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—	—		
		変更前	変 更 後																																																																																			
名 称			<u>第一ガスタービン発電機用燃料タンク</u> <u>(6,7号機共用)</u>																																																																																			
種 類	—		横置円筒形																																																																																			
容 量	kL/個		20 以上 <u>(50*1)</u>																																																																																			
最 高 使 用 圧 力*2	MPa		静水頭																																																																																			
最 高 使 用 温 度*2	℃		66																																																																																			
主 要 寸 法	胴 内 径	mm	3200*1																																																																																			
	胴 板 厚 さ	mm	<input type="text"/> (20*1)																																																																																			
	鏡 板 厚 さ	mm	<input type="text"/> (20*1)																																																																																			
要 寸 法	鏡板の形状に係る寸法	mm	3200*1 (鏡板の中央部における内面の半径)																																																																																			
			320*1 (すみの丸みの内半径)																																																																																			
法	管台外径 (注入口)	mm	60.5*1																																																																																			
	管台厚さ (注入口)	mm	<input type="text"/> (3.9*1)																																																																																			
	管台外径 (排油口)	mm	60.5*1																																																																																			
	管台厚さ (排油口)	mm	<input type="text"/> (3.9*1)																																																																																			
	全 長	mm	7710*1																																																																																			
材 料	胴 板	—	SM400B																																																																																			
	鏡 板	—	SM400B																																																																																			
	個 数	—	<u>2</u>																																																																																			
取 付 箇 所	系 統 名	—	第一ガスタービン発電設備																																																																																			
	設 置 床	—	屋外 T. M. S. L. 12200mm																																																																																			
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—	—																																																																																			
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—	—																																																																																			



設置変更許可申請書（本文（五号））	設置変更許可申請書（添付書類八） 該当事項	設計及び工事の計画 該当事項	整合性	備考																																																																									
<p>第一ガスタービン発電機用燃料移送ポンプ(6号及び7号炉共用)</p> <p>台数 <u>2</u></p> <p>容量 <u>約 3m<sup>3</sup>/h/台</u></p>	<p>c. <u>第一ガスタービン発電機用燃料移送ポンプ(6号及び7号炉共用)</u></p> <p>台数 <u>2</u></p> <p>容量 <u>約 3m<sup>3</sup>/h/台</u></p>	<p>(4) 燃料設備に係る次の事項</p> <p>イ ポンプの名称、種類、容量、揚程又は吐出圧力、最高使用圧力、最高使用温度、主要寸法、材料、個数及び取付箇所並びに原動機の種類、出力、個数及び取付箇所（常設及び可搬型の別に記載すること。）</p> <p>・常設</p> <p>a. 第一ガスタービン発電機用燃料移送ポンプ（6,7号機共用）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th style="width: 10%;">変更前</th> <th style="width: 10%;">変 更 後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">名 称</td> <td></td> <td style="text-align: center;"><u>第一ガスタービン発電機用燃料移送ポンプ（6,7号機共用）</u></td> </tr> <tr> <td rowspan="10" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">ポ ン プ</td> <td>種 類</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td style="text-align: center;">スクリー式</td> </tr> <tr> <td>容 量</td> <td style="text-align: center;">m<sup>3</sup>/h/個</td> <td style="text-align: center;">3 以上 (3*<sup>1</sup>)</td> </tr> <tr> <td>揚 程</td> <td style="text-align: center;">m</td> <td style="text-align: center;">61.4 以上 (61.4*<sup>1</sup>)</td> </tr> <tr> <td>最高使用圧力*<sup>2</sup></td> <td style="text-align: center;">MPa</td> <td style="text-align: center;">0.95</td> </tr> <tr> <td>最高使用温度*<sup>2</sup></td> <td style="text-align: center;">℃</td> <td style="text-align: center;">66</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">主 要 寸 法</td> <td>吸 込 内 径</td> <td style="text-align: center;">mm</td> <td style="text-align: center;">65*<sup>1</sup></td> </tr> <tr> <td>吐 出 内 径</td> <td style="text-align: center;">mm</td> <td style="text-align: center;">50*<sup>1</sup></td> </tr> <tr> <td>た て</td> <td style="text-align: center;">mm</td> <td style="text-align: center;">275*<sup>1</sup></td> </tr> <tr> <td>横</td> <td style="text-align: center;">mm</td> <td style="text-align: center;">490*<sup>1</sup></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">材 料</td> <td>高 さ</td> <td style="text-align: center;">mm</td> <td style="text-align: center;">135*<sup>1</sup></td> </tr> <tr> <td>ケ ー シ ン グ</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td style="text-align: center;"><div style="border: 1px solid black; width: 20px; height: 10px; margin: 0 auto;"></div></td> </tr> <tr> <td>個 数</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td style="text-align: center;"><u>2</u></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">取 付 箇 所</td> <td>系 統 名</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td style="text-align: center;">第一ガスタービン発電設備</td> </tr> <tr> <td>設 置 床</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td style="text-align: center;">屋外 T. M. S. L. 12200mm</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の 区画番号</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td style="text-align: center;">屋外</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の 配慮が必要な 高 さ</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td style="text-align: center;">EL0. 33m 以上</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">原 動 機</td> <td>種 類</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td style="text-align: center;">誘導電動機</td> </tr> <tr> <td>出 力*<sup>2</sup></td> <td style="text-align: center;">kW/個</td> <td style="text-align: center;">1.5</td> </tr> <tr> <td>個 数</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td style="text-align: center;">2</td> </tr> <tr> <td>取 付 箇 所</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td style="text-align: center;">ポンプと同じ</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記*1：公称値を示す。</p> <p>*2：重大事故等時における使用時の値。</p>			変更前	変 更 後	名 称			<u>第一ガスタービン発電機用燃料移送ポンプ（6,7号機共用）</u>	ポ ン プ	種 類	—	スクリー式	容 量	m <sup>3</sup> /h/個	3 以上 (3* <sup>1</sup> )	揚 程	m	61.4 以上 (61.4* <sup>1</sup> )	最高使用圧力* <sup>2</sup>	MPa	0.95	最高使用温度* <sup>2</sup>	℃	66	主 要 寸 法	吸 込 内 径	mm	65* <sup>1</sup>	吐 出 内 径	mm	50* <sup>1</sup>	た て	mm	275* <sup>1</sup>	横	mm	490* <sup>1</sup>	材 料	高 さ	mm	135* <sup>1</sup>	ケ ー シ ン グ	—	<div style="border: 1px solid black; width: 20px; height: 10px; margin: 0 auto;"></div>	個 数	—	<u>2</u>	取 付 箇 所	系 統 名	—	第一ガスタービン発電設備	設 置 床	—	屋外 T. M. S. L. 12200mm	溢水防護上の 区画番号	—	屋外	溢水防護上の 配慮が必要な 高 さ	—	EL0. 33m 以上	原 動 機	種 類	—	誘導電動機	出 力* <sup>2</sup>	kW/個	1.5	個 数	—	2	取 付 箇 所	—	ポンプと同じ		
		変更前	変 更 後																																																																										
名 称			<u>第一ガスタービン発電機用燃料移送ポンプ（6,7号機共用）</u>																																																																										
ポ ン プ	種 類	—	スクリー式																																																																										
	容 量	m <sup>3</sup> /h/個	3 以上 (3* <sup>1</sup> )																																																																										
	揚 程	m	61.4 以上 (61.4* <sup>1</sup> )																																																																										
	最高使用圧力* <sup>2</sup>	MPa	0.95																																																																										
	最高使用温度* <sup>2</sup>	℃	66																																																																										
	主 要 寸 法	吸 込 内 径	mm	65* <sup>1</sup>																																																																									
		吐 出 内 径	mm	50* <sup>1</sup>																																																																									
		た て	mm	275* <sup>1</sup>																																																																									
		横	mm	490* <sup>1</sup>																																																																									
	材 料	高 さ	mm	135* <sup>1</sup>																																																																									
ケ ー シ ン グ		—	<div style="border: 1px solid black; width: 20px; height: 10px; margin: 0 auto;"></div>																																																																										
個 数	—	<u>2</u>																																																																											
取 付 箇 所	系 統 名	—	第一ガスタービン発電設備																																																																										
	設 置 床	—	屋外 T. M. S. L. 12200mm																																																																										
	溢水防護上の 区画番号	—	屋外																																																																										
	溢水防護上の 配慮が必要な 高 さ	—	EL0. 33m 以上																																																																										
原 動 機	種 類	—	誘導電動機																																																																										
	出 力* <sup>2</sup>	kW/個	1.5																																																																										
	個 数	—	2																																																																										
	取 付 箇 所	—	ポンプと同じ																																																																										

設置変更許可申請書（本文（五号））	設置変更許可申請書（添付書類八） 該当事項	設計及び工事の計画 該当事項	整合性	備考
<p>号炉間電力融通ケーブル（常設）（6号及び7号炉共用）</p> <p>個数 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">又(2)(iv)-⑧</span>1</p>	<p>(3) 号炉間電力融通電気設備</p> <p>a. <u>号炉間電力融通ケーブル（常設）（6号及び7号炉共用）</u></p> <p>個数 1</p>	<p>【非常用電源設備】 （基本設計方針）</p> <p>第2章 個別項目</p> <p>1. 非常用電源設備の電源系統</p> <p>1.3 号炉間電力融通系統</p> <p>&lt;中略&gt;</p> <p>号炉間電力融通電気設備は、<u>号炉間電力融通ケーブル（常設）</u>（「6,7号機共用，6号機及び7号機の間をわたり設置」（以下同じ。））（6900V，258.3Aのものを<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">又(2)(iv)-⑧</span>1相分1本の3相分3本を1セット），号炉間電力融通ケーブル（可搬型）（「6,7号機共用，7号機に保管」（以下同じ。））（6900V，258.3Aのものを1相分1本の3相分3本を1セット），計測制御装置で構成し，号炉間電力融通ケーブル（常設）をあらかじめ敷設し，6号機及び7号機の緊急用電源切替箱断路器に手動で接続することで，6号機の電源設備からメタルクラッド開閉装置7C及びメタルクラッド開閉装置7Dに電力を融通できる設計とする。また，号炉間電力融通ケーブル（常設）が使用できない場合に，予備ケーブルとして号炉間電力融通ケーブル（可搬型）を6号機及び7号機の緊急用電源切替箱断路器に手動で接続することで，6号機の電源設備からメタルクラッド開閉装置7C及びメタルクラッド開閉装置7Dに電力を融通できる設計とする。</p> <p>&lt;中略&gt;</p>	<p>設計及び工事の計画の<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">又(2)(iv)-⑧</span>は，設置変更許可申請書（本文（五号））の<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">又(2)(iv)-⑧</span>を詳細設計した結果であり，整合している。</p>	



設置変更許可申請書（本文（五号））	設置変更許可申請書（添付書類八） 該当事項	設計及び工事の計画 該当事項	整合性	備考																																																																																													
<p>又(2)(iv)-⑨a 直流 125V 蓄電池 A 及び直流 125V 蓄電池 A-2                      (又(2)(iv)-⑩ 又(2)(iii), a. と兼用)</p> <p>組数 又(2)(iv)-⑪ 1</p> <p>容量 約 10,000Ah                      (又(2)(iv)-⑨b 直流 125V 蓄電池 A : 約 6,000Ah                      又(2)(iv)-⑨c 直流 125V 蓄電池 A-2 : 約 4,000Ah)</p>	<p>(4) 所内蓄電式直流電源設備及び常設代替直流電源設備</p> <p>a. 直流 125V 蓄電池 A 及び直流 125V 蓄電池 A-2 兼用する設備は以下のとおり...</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・非常用電源設備...(通常運転時等)...</li> <li>・非常用電源設備...(重大事故等時)...</li> </ul> <p>組数 1                      電圧 125V                      容量 約 10,000Ah                      (直流 125V 蓄電池 A : 約 6,000Ah                      直流 125V 蓄電池 A-2 : 約 4,000Ah)</p>	<p>【非常用電源設備】                      (要目表)</p> <p>3 その他の電源装置に係る次の事項</p> <p>(2) 電力貯蔵装置の名称, 種類, 容量, 電圧, 主要寸法, 個数及び取付箇所 (常設及び可搬型の別に記載すること。)</p> <p>・常設                      a. 直流 125V 蓄電池</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2">名 称</th> <th colspan="2">変 更 前*1</th> <th colspan="2">変 更 後</th> </tr> <tr> <th>直流 125V 蓄電池</th> <th>又(2)(iv)-⑨a</th> <th>7A-2*2</th> <th>変更なし</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">種 類</td> <td rowspan="4">—</td> <td>7A</td> <td>制御弁式据置鉛蓄電池</td> <td colspan="2">変更なし</td> </tr> <tr> <td>7B</td> <td>密閉形クラッド式据置鉛蓄電池</td> <td colspan="2" rowspan="3">変更なし</td> </tr> <tr> <td>7C</td> <td>密閉形クラッド式据置鉛蓄電池</td> </tr> <tr> <td>7D</td> <td>密閉形クラッド式据置鉛蓄電池</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">容 量</td> <td rowspan="4">Ah/組*3,*4</td> <td>7A</td> <td>6000 (10 時間率)</td> <td>7A-2*2</td> <td>4000 (10 時間率)</td> </tr> <tr> <td>7B</td> <td>3000 (10 時間率)</td> <td colspan="2" rowspan="3">変更なし</td> </tr> <tr> <td>7C</td> <td>3000 (10 時間率)</td> </tr> <tr> <td>7D</td> <td>2200 (10 時間率)</td> </tr> <tr> <td>電 圧</td> <td>V</td> <td colspan="2">125</td> <td colspan="2">変更なし</td> </tr> <tr> <td rowspan="12">主 要 寸 法</td> <td rowspan="4">た て</td> <td rowspan="4">mm</td> <td>7A</td> <td>□ *5, *6, *7</td> <td>7A-2*2</td> <td>□ (×8) *5, *8 □ (×14) *5, *9</td> </tr> <tr> <td>7B</td> <td>□ (×8) *5, *10 □ (×14) *5, *11</td> <td colspan="2" rowspan="3">変更なし</td> </tr> <tr> <td>7C</td> <td>□ (×8) *5, *10 □ (×14) *5, *11</td> </tr> <tr> <td>7D</td> <td>□ (×4) *5, *12 □ (×2) *5, *13</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">横</td> <td rowspan="4">mm</td> <td>7A</td> <td>□ (×12) *5, *6 □ (×4) *5, *7</td> <td>7A-2*2</td> <td>□ *5, *8, *9</td> </tr> <tr> <td>7B</td> <td>□ *5, *10, *11</td> <td colspan="2" rowspan="3">変更なし</td> </tr> <tr> <td>7C</td> <td>□ *5, *10, *11</td> </tr> <tr> <td>7D</td> <td>□ *5, *12, *13</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">高 さ</td> <td rowspan="4">mm</td> <td>7A</td> <td>□ *5, *6, *7</td> <td>7A-2*2</td> <td>□ *5, *8, *9</td> </tr> <tr> <td>7B</td> <td>□ *5, *10, *11</td> <td colspan="2" rowspan="3">変更なし</td> </tr> <tr> <td>7C</td> <td>□ *5, *10, *11</td> </tr> <tr> <td>7D</td> <td>□ *5, *12, *13</td> </tr> <tr> <td>個 数</td> <td>組*4,*14</td> <td colspan="2">4</td> <td>又(2)(iv)-⑪a</td> <td>変更なし</td> </tr> </tbody> </table>	名 称		変 更 前*1		変 更 後		直流 125V 蓄電池	又(2)(iv)-⑨a	7A-2*2	変更なし	種 類	—	7A	制御弁式据置鉛蓄電池	変更なし		7B	密閉形クラッド式据置鉛蓄電池	変更なし		7C	密閉形クラッド式据置鉛蓄電池	7D	密閉形クラッド式据置鉛蓄電池	容 量	Ah/組*3,*4	7A	6000 (10 時間率)	7A-2*2	4000 (10 時間率)	7B	3000 (10 時間率)	変更なし		7C	3000 (10 時間率)	7D	2200 (10 時間率)	電 圧	V	125		変更なし		主 要 寸 法	た て	mm	7A	□ *5, *6, *7	7A-2*2	□ (×8) *5, *8 □ (×14) *5, *9	7B	□ (×8) *5, *10 □ (×14) *5, *11	変更なし		7C	□ (×8) *5, *10 □ (×14) *5, *11	7D	□ (×4) *5, *12 □ (×2) *5, *13	横	mm	7A	□ (×12) *5, *6 □ (×4) *5, *7	7A-2*2	□ *5, *8, *9	7B	□ *5, *10, *11	変更なし		7C	□ *5, *10, *11	7D	□ *5, *12, *13	高 さ	mm	7A	□ *5, *6, *7	7A-2*2	□ *5, *8, *9	7B	□ *5, *10, *11	変更なし		7C	□ *5, *10, *11	7D	□ *5, *12, *13	個 数	組*4,*14	4		又(2)(iv)-⑪a	変更なし		
名 称		変 更 前*1			変 更 後																																																																																												
		直流 125V 蓄電池	又(2)(iv)-⑨a	7A-2*2	変更なし																																																																																												
種 類	—	7A	制御弁式据置鉛蓄電池	変更なし																																																																																													
		7B	密閉形クラッド式据置鉛蓄電池	変更なし																																																																																													
		7C	密閉形クラッド式据置鉛蓄電池																																																																																														
		7D	密閉形クラッド式据置鉛蓄電池																																																																																														
容 量	Ah/組*3,*4	7A	6000 (10 時間率)	7A-2*2	4000 (10 時間率)																																																																																												
		7B	3000 (10 時間率)	変更なし																																																																																													
		7C	3000 (10 時間率)																																																																																														
		7D	2200 (10 時間率)																																																																																														
電 圧	V	125		変更なし																																																																																													
主 要 寸 法	た て	mm	7A	□ *5, *6, *7	7A-2*2	□ (×8) *5, *8 □ (×14) *5, *9																																																																																											
			7B	□ (×8) *5, *10 □ (×14) *5, *11	変更なし																																																																																												
			7C	□ (×8) *5, *10 □ (×14) *5, *11																																																																																													
			7D	□ (×4) *5, *12 □ (×2) *5, *13																																																																																													
	横	mm	7A	□ (×12) *5, *6 □ (×4) *5, *7	7A-2*2	□ *5, *8, *9																																																																																											
			7B	□ *5, *10, *11	変更なし																																																																																												
			7C	□ *5, *10, *11																																																																																													
			7D	□ *5, *12, *13																																																																																													
	高 さ	mm	7A	□ *5, *6, *7	7A-2*2	□ *5, *8, *9																																																																																											
			7B	□ *5, *10, *11	変更なし																																																																																												
			7C	□ *5, *10, *11																																																																																													
			7D	□ *5, *12, *13																																																																																													
個 数	組*4,*14	4		又(2)(iv)-⑪a	変更なし																																																																																												
<p>整合性</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・設計及び工事の計画の又(2)(iv)-⑨a～又(2)(iv)-⑨cは, 設置変更許可申請書(本文(五号))の又(2)(iv)-⑨a～又(2)(iv)-⑨cと同義であり, 整合している。</li> <li>・設計及び工事の計画の「直流 125V 蓄電池」は, 設置許可変更申請書(本文(五号))の又(2)(iv)-⑩を「その他発電用原子炉施設」のうち「非常用電源設備」に整理しており, 整合している。</li> <li>・設計及び工事の計画の又(2)(iv)-⑪a 及び又(2)(iv)-⑪b は, 設置変更許可申請書(本文(五号))の又(2)(iv)-⑪を全て含んでおり, 整合している。</li> </ul>																																																																																																	

設置変更許可申請書（本文（五号））	設置変更許可申請書（添付書類八） 該当事項	設計及び工事の計画 該当事項	整合性	備考																																																																			
		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th style="text-align: center;">変 更 前</th> <th style="text-align: center;">変 更 後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4" style="writing-mode: vertical-rl; text-align: center;">系 統 名</td> <td style="text-align: center;">7A</td> <td style="text-align: center;">*15 直流 125V 蓄電池 7A 直流 125V 電源設備 7A</td> <td style="text-align: center;">変更なし</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">—</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td style="text-align: center;">*15 7A-2*2 直流 125 蓄電池 7A-2 直流 125 電源設備 7A</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">7B</td> <td style="text-align: center;">*15 直流 125V 蓄電池 7B 直流 125V 電源設備 7B</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">変更なし</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">7C</td> <td style="text-align: center;">*15 直流 125V 蓄電池 7C 直流 125V 電源設備 7C</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">7D</td> <td style="text-align: center;">*15 直流 125V 蓄電池 7D 直流 125V 電源設備 7D</td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="writing-mode: vertical-rl; text-align: center;">取 付 箇 所</td> <td style="text-align: center;">7A</td> <td style="text-align: center;">*15 コントロール建屋 T. M. S. L. 200mm</td> <td style="text-align: center;">変更なし</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">—</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td style="text-align: center;">*15 7A-2*2 コントロール建屋 T. M. S. L. 6500mm</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">7B</td> <td style="text-align: center;">*15 コントロール建屋 T. M. S. L. 6500mm</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">変更なし</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">7C</td> <td style="text-align: center;">*15 コントロール建屋 T. M. S. L. 6500mm</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">7D</td> <td style="text-align: center;">*15 コントロール建屋 T. M. S. L. 6500mm</td> </tr> <tr> <td rowspan="5" style="writing-mode: vertical-rl; text-align: center;">溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td style="text-align: center;">7A</td> <td style="text-align: center;">C-MB2-3</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">—</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td style="text-align: center;">7A-2</td> <td style="text-align: center;">C-B1-5</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">—</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td style="text-align: center;">7B</td> <td style="text-align: center;">C-B1-3</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">—</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td style="text-align: center;">7C</td> <td style="text-align: center;">C-B1-2</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">—</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td style="text-align: center;">7D</td> <td style="text-align: center;">C-B1-4</td> </tr> <tr> <td rowspan="5" style="writing-mode: vertical-rl; text-align: center;">取 付 箇 所</td> <td rowspan="5" style="text-align: center;">溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ</td> <td rowspan="5" style="text-align: center;">—</td> <td rowspan="5" style="text-align: center;">—</td> <td style="text-align: center;">7A</td> <td style="text-align: center;">EL0. 13m 以上</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">7A-2</td> <td style="text-align: center;">EL0. 00m 以上</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">7B</td> <td style="text-align: center;">EL0. 00m 以上</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">7C</td> <td style="text-align: center;">EL0. 00m 以上</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">7D</td> <td style="text-align: center;">EL0. 00m 以上</td> </tr> </tbody> </table>			変 更 前	変 更 後	系 統 名	7A	*15 直流 125V 蓄電池 7A 直流 125V 電源設備 7A	変更なし	—	—	*15 7A-2*2 直流 125 蓄電池 7A-2 直流 125 電源設備 7A	7B	*15 直流 125V 蓄電池 7B 直流 125V 電源設備 7B	変更なし	7C	*15 直流 125V 蓄電池 7C 直流 125V 電源設備 7C	7D	*15 直流 125V 蓄電池 7D 直流 125V 電源設備 7D	取 付 箇 所	7A	*15 コントロール建屋 T. M. S. L. 200mm	変更なし	—	—	*15 7A-2*2 コントロール建屋 T. M. S. L. 6500mm	7B	*15 コントロール建屋 T. M. S. L. 6500mm	変更なし	7C	*15 コントロール建屋 T. M. S. L. 6500mm	7D	*15 コントロール建屋 T. M. S. L. 6500mm	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—	—	7A	C-MB2-3	—	—	7A-2	C-B1-5	—	—	7B	C-B1-3	—	—	7C	C-B1-2	—	—	7D	C-B1-4	取 付 箇 所	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—	—	7A	EL0. 13m 以上	7A-2	EL0. 00m 以上	7B	EL0. 00m 以上	7C	EL0. 00m 以上	7D	EL0. 00m 以上		
		変 更 前	変 更 後																																																																				
系 統 名	7A	*15 直流 125V 蓄電池 7A 直流 125V 電源設備 7A	変更なし																																																																				
	—	—	*15 7A-2*2 直流 125 蓄電池 7A-2 直流 125 電源設備 7A																																																																				
	7B	*15 直流 125V 蓄電池 7B 直流 125V 電源設備 7B	変更なし																																																																				
	7C	*15 直流 125V 蓄電池 7C 直流 125V 電源設備 7C																																																																					
7D	*15 直流 125V 蓄電池 7D 直流 125V 電源設備 7D																																																																						
取 付 箇 所	7A	*15 コントロール建屋 T. M. S. L. 200mm	変更なし																																																																				
	—	—	*15 7A-2*2 コントロール建屋 T. M. S. L. 6500mm																																																																				
	7B	*15 コントロール建屋 T. M. S. L. 6500mm	変更なし																																																																				
	7C	*15 コントロール建屋 T. M. S. L. 6500mm																																																																					
7D	*15 コントロール建屋 T. M. S. L. 6500mm																																																																						
溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—	—	7A	C-MB2-3																																																																			
	—	—	7A-2	C-B1-5																																																																			
	—	—	7B	C-B1-3																																																																			
	—	—	7C	C-B1-2																																																																			
	—	—	7D	C-B1-4																																																																			
取 付 箇 所	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—	—	7A	EL0. 13m 以上																																																																		
				7A-2	EL0. 00m 以上																																																																		
				7B	EL0. 00m 以上																																																																		
				7C	EL0. 00m 以上																																																																		
				7D	EL0. 00m 以上																																																																		
<p>注記*1：記載内容は、既工事計画認可申請書（平成 25 年 3 月 29 日付け総官発 24 第 382 号工事計画認可申請書，平成 25 年 6 月 28 日付け原管 B 収第 130329003 号 20130401 商第 25 号にて認可）による。なお、本工事計画は、認可された工事計画に対して、基本設計方針の変更を行うことに伴い申請するものである。</p> <p>*2：本設備は既存の設備である。</p> <p>*3：記載の適正化を行う。既工事計画書には「Ah/個」と記載。</p> <p>*4：蓄電池 7A 及び蓄電池 7A-2 を合わせて 1 組とする。 又(2)(iv)-①b</p>																																																																							

設置変更許可申請書（本文（五号））	設置変更許可申請書（添付書類八） 該当事項	設計及び工事の計画 該当事項	整合性	備考																																																																	
<p>AM用直流 125V 蓄電池</p> <p>組数 <u>1</u></p> <p>容量 <u>約 3,000Ah</u></p>	<p>b. AM用直流 125V 蓄電池</p> <p>組数 <u>1</u></p> <p>電圧 125V</p> <p>容量 <u>約 3,000Ah</u></p>	<p>b. AM用直流 125V 蓄電池</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="3"></th> <th style="width: 15%;">変 更 前</th> <th style="width: 15%;">変 更 後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">名 称</td> <td></td> <td style="text-align: center;">AM用直流 125V 蓄電池</td> </tr> <tr> <td>種</td> <td>類</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td></td> <td style="text-align: center;">制御弁式据置鉛蓄電池</td> </tr> <tr> <td>容</td> <td>量</td> <td style="text-align: center;">Ah/組</td> <td></td> <td style="text-align: center;">3000 (10時間率)</td> </tr> <tr> <td>電</td> <td>圧</td> <td style="text-align: center;">V</td> <td></td> <td style="text-align: center;">125</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">主 要 寸 法</td> <td>た</td> <td style="text-align: center;">て</td> <td style="text-align: center;">mm</td> <td style="text-align: center;">□ *1, *2, *3</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">横</td> <td style="text-align: center;">mm</td> <td style="text-align: center;">□ (×2) *1, *2, □ (×6) *1, *3</td> </tr> <tr> <td>高</td> <td style="text-align: center;">さ</td> <td style="text-align: center;">mm</td> <td style="text-align: center;">□ *1, *2, *3</td> </tr> <tr> <td>個</td> <td colspan="2"></td> <td style="text-align: center;">数</td> <td style="text-align: center;">組</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">取 付 箇 所</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">系 統 名</td> <td></td> <td style="text-align: center;">1</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">設 置 床</td> <td></td> <td style="text-align: center;">AM用直流 125V 蓄電池 AM用直流 125V 電源設備</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td style="text-align: center;">原子炉建屋 T. M. S. L. 31700mm</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ</td> <td></td> <td style="text-align: center;">R-4F-2A</td> </tr> <tr> <td colspan="3"></td> <td></td> <td style="text-align: center;">E.L.O. 03m 以上</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記*1：公称値を示す。  *2：蓄電池 6 個架台 1 台の寸法を示す。なお、AM用直流 125V 蓄電池 1 組当たり 2 台とする。  *3：蓄電池 8 個架台 1 台の寸法を示す。なお、AM用直流 125V 蓄電池 1 組当たり 6 台とする。</p>				変 更 前	変 更 後	名 称				AM用直流 125V 蓄電池	種	類	—		制御弁式据置鉛蓄電池	容	量	Ah/組		3000 (10時間率)	電	圧	V		125	主 要 寸 法	た	て	mm	□ *1, *2, *3	横		mm	□ (×2) *1, *2, □ (×6) *1, *3	高	さ	mm	□ *1, *2, *3	個			数	組	取 付 箇 所	系 統 名			1	設 置 床			AM用直流 125V 蓄電池 AM用直流 125V 電源設備	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号		—	原子炉建屋 T. M. S. L. 31700mm	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ			R-4F-2A					E.L.O. 03m 以上		
			変 更 前	変 更 後																																																																	
名 称				AM用直流 125V 蓄電池																																																																	
種	類	—		制御弁式据置鉛蓄電池																																																																	
容	量	Ah/組		3000 (10時間率)																																																																	
電	圧	V		125																																																																	
主 要 寸 法	た	て	mm	□ *1, *2, *3																																																																	
	横		mm	□ (×2) *1, *2, □ (×6) *1, *3																																																																	
	高	さ	mm	□ *1, *2, *3																																																																	
個			数	組																																																																	
取 付 箇 所	系 統 名			1																																																																	
	設 置 床			AM用直流 125V 蓄電池 AM用直流 125V 電源設備																																																																	
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号		—	原子炉建屋 T. M. S. L. 31700mm																																																																	
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ			R-4F-2A																																																																	
				E.L.O. 03m 以上																																																																	

設置変更許可申請書（本文（五号））	設置変更許可申請書（添付書類八） 該当事項	設計及び工事の計画 該当事項	整合性	備考
<p>AM用動力変圧器 個数 <u>1</u></p>	<p>(6) 代替所内電気設備</p> <p>a. <u>AM用動力変圧器</u> 個数 <u>1</u> 容量 6号炉 約750kVA 7号炉 約800kVA 電圧 6.9kV/480V</p>	<p>【非常用電源設備】 （基本設計方針） 第2章 個別項目 1. 非常用電源設備の電源系統 1.2 所内電気系統 &lt;中略&gt; 代替所内電気設備は、緊急用断路器（「6,7号機共用」 （以下同じ。））（6900V,600Aのものを2個）、緊急用電 源切替箱断路器（6900V,600Aのものを1個）、緊急用電 源切替箱接続装置（6900V,1200Aのものを2個）、<u>AM用</u> <u>動力変圧器</u>（800kVA,6900/480Vのものを<u>1</u>個）、AM用 MCC（480V,400A及び480V,800Aのものを4個）、AM用切 替盤（480V,50Aのものを2個）、AM用操作盤、メタルク ラッド開閉装置7C及びメタルクラッド開閉装置7D、電 路、計測制御装置で構成し、常設代替交流電源設備、可 搬型代替交流電源設備又は可搬型直流電源設備の電路 として使用し電力を供給できる設計とする。 &lt;中略&gt;</p>		

設置変更許可申請書（本文（五号））	設置変更許可申請書（添付書類八） 該当事項	設計及び工事の計画 該当事項	整合性	備考
<p>軽油タンク <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">又(2)(iv)-⑫</span> (6号及び7号炉共用)...</p> <p><span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">又(2)(iv)-⑬</span> (ス. (2). (ii). b. と兼用)...</p> <p>基数 <u>1 (予備3)</u></p> <p>容量 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">又(2)(iv)-⑭</span> 約 550kL/基</p>	<p>(1) 常設代替交流電源設備</p> <p>d. <u>軽油タンク</u> (6号及び7号炉共用)...</p> <p>兼用する設備は以下のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・非常用電源設備 (通常運転時等)...</li> <li>・非常用電源設備 (重大事故等時)...</li> </ul> <p>基数 <u>1 (予備3)</u></p> <p>容量 <u>約 550kL/基</u></p> <p>(2) 可搬型代替交流電源設備</p> <p>b. <u>軽油タンク</u> (6号及び7号炉共用)...</p> <p>兼用する設備は以下のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・非常用電源設備 (通常運転時等)...</li> <li>・非常用電源設備 (重大事故等時)...</li> </ul> <p>基数 <u>1 (予備3)</u></p> <p>容量 <u>約 550kL/基</u></p> <p>(5) 可搬型直流電源設備</p> <p>c. <u>軽油タンク</u> (6号及び7号炉共用)...</p> <p>兼用する設備は以下のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・非常用電源設備 (通常運転時等)...</li> <li>・非常用電源設備 (重大事故等時)...</li> </ul> <p>基数 <u>1 (予備3)</u></p> <p>容量 <u>約 550kL/基</u></p> <p>(7) 燃料補給設備</p> <p>a. <u>軽油タンク</u> (6号及び7号炉共用)...</p> <p>兼用する設備は以下のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・非常用電源設備 (通常運転時等)...</li> <li>・非常用電源設備 (重大事故等時)...</li> </ul> <p>基数 <u>1 (予備3)</u></p> <p>容量 <u>約 550kL/基</u></p>	<p>【非常用電源設備】</p> <p>(要目表)</p> <p>2 非常用発電装置に係る次の事項</p> <p>2.2 代替交流電源設備</p> <p style="text-align: right;"><span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">又(2)(iv)-⑬</span></p> <p>以下の設備は、非常用電源設備のうち非常用発電装置のうち非常用ディーゼル発電設備であり、非常用電源設備のうち非常用発電装置のうち代替交流電源設備として本工事計画で兼用とする。</p> <p style="text-align: right;"><u>軽油タンク (重大事故等時のみ 6.7号機共用)...</u> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">又(2)(iv)-⑫a</span></p>		

設置変更許可申請書（本文（五号））	設置変更許可申請書（添付書類八） 該当事項	設計及び工事の計画 該当事項	整合性	備考																																																																																														
		<p>2.1 非常用ディーゼル発電設備</p> <p>ロ 容器の名称、種類、容量、最高使用圧力、最高使用温度、主要寸法、材料、個数及び取付箇所（常設及び可搬型の別に記載すること。）</p> <p>・常設</p> <p>a. 軽油タンク（重大事故等時のみ6,7号機共用）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th style="width: 10%;">変 更 前</th> <th style="width: 10%;">変 更 後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">名 称</td> <td></td> <td style="text-align: center;">*1 軽油タンク 又(2)(iv)-⑫b （重大事故等時のみ6,7号機共用）</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td style="text-align: center;">(A)</td> <td style="text-align: center;">(B)</td> </tr> <tr> <td>種 類</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">たて置円筒形</td> </tr> <tr> <td>容 量</td> <td style="text-align: center;">kL/個</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">□以上(565*2) 又(2)(iv)-⑭a</td> </tr> <tr> <td>最 高 使 用 圧 力</td> <td style="text-align: center;">MPa</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">静水頭</td> </tr> <tr> <td>最 高 使 用 温 度</td> <td style="text-align: center;">℃</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">66</td> </tr> <tr> <td rowspan="10" style="writing-mode: vertical-rl; transform: rotate(180deg);">主 要 寸 法</td> <td>胴 内 径</td> <td style="text-align: center;">mm</td> <td style="text-align: center;">9800*2</td> </tr> <tr> <td>側 板 厚 さ</td> <td style="text-align: center;">mm</td> <td style="text-align: center;">□(□*2)</td> </tr> <tr> <td>底 板 厚 さ</td> <td style="text-align: center;">mm</td> <td style="text-align: center;">□(□*2)</td> </tr> <tr> <td>屋 根 板 厚 さ</td> <td style="text-align: center;">mm</td> <td style="text-align: center;">□(□*2)</td> </tr> <tr> <td>管 台 外 径 ( 液 出 口 )</td> <td style="text-align: center;">mm</td> <td style="text-align: center;">76.3*2</td> </tr> <tr> <td>管 台 厚 さ ( 液 出 口 )</td> <td style="text-align: center;">mm</td> <td style="text-align: center;">□(7*2) □(□*2)</td> </tr> <tr> <td>側 マンホール 外 径</td> <td style="text-align: center;">mm</td> <td style="text-align: center;">712*2 711.2*2</td> </tr> <tr> <td>側 マンホール 厚 さ</td> <td style="text-align: center;">mm</td> <td style="text-align: center;">□(□*2)</td> </tr> <tr> <td>側 マンホール ふ た 厚 さ</td> <td style="text-align: center;">mm</td> <td style="text-align: center;">40*2 □(□*2)</td> </tr> <tr> <td>高 さ</td> <td style="text-align: center;">mm</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">9500*2</td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="writing-mode: vertical-rl; transform: rotate(180deg);">材 料</td> <td>側 板</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td style="text-align: center;">□</td> </tr> <tr> <td>底 板</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td style="text-align: center;">□</td> </tr> <tr> <td>屋 根 板</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td style="text-align: center;">□</td> </tr> <tr> <td>マンホールふた</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td style="text-align: center;">□</td> </tr> <tr> <td>個 数</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">2*3</td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="writing-mode: vertical-rl; transform: rotate(180deg);">取 付 箇 所</td> <td>系 統 名</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td style="text-align: center;">軽油タンク A 非常用ディーゼル発電設備 7A, 7C</td> <td style="text-align: center;">軽油タンク B 非常用ディーゼル発電設備 7B</td> </tr> <tr> <td>設 置 床</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">屋外 T. M. S. L. 12000mm</td> </tr> <tr> <td>溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">—</td> </tr> <tr> <td>溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">—</td> </tr> </tbody> </table>			変 更 前	変 更 後	名 称			*1 軽油タンク 又(2)(iv)-⑫b （重大事故等時のみ6,7号機共用）			(A)	(B)	種 類	—	たて置円筒形		容 量	kL/個	□以上(565*2) 又(2)(iv)-⑭a		最 高 使 用 圧 力	MPa	静水頭		最 高 使 用 温 度	℃	66		主 要 寸 法	胴 内 径	mm	9800*2	側 板 厚 さ	mm	□(□*2)	底 板 厚 さ	mm	□(□*2)	屋 根 板 厚 さ	mm	□(□*2)	管 台 外 径 ( 液 出 口 )	mm	76.3*2	管 台 厚 さ ( 液 出 口 )	mm	□(7*2) □(□*2)	側 マンホール 外 径	mm	712*2 711.2*2	側 マンホール 厚 さ	mm	□(□*2)	側 マンホール ふ た 厚 さ	mm	40*2 □(□*2)	高 さ	mm	9500*2		材 料	側 板	—	□	底 板	—	□	屋 根 板	—	□	マンホールふた	—	□	個 数	—	2*3		取 付 箇 所	系 統 名	—	軽油タンク A 非常用ディーゼル発電設備 7A, 7C	軽油タンク B 非常用ディーゼル発電設備 7B	設 置 床	—	屋外 T. M. S. L. 12000mm		溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—	—		溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—	—			
		変 更 前	変 更 後																																																																																															
名 称			*1 軽油タンク 又(2)(iv)-⑫b （重大事故等時のみ6,7号機共用）																																																																																															
		(A)	(B)																																																																																															
種 類	—	たて置円筒形																																																																																																
容 量	kL/個	□以上(565*2) 又(2)(iv)-⑭a																																																																																																
最 高 使 用 圧 力	MPa	静水頭																																																																																																
最 高 使 用 温 度	℃	66																																																																																																
主 要 寸 法	胴 内 径	mm	9800*2																																																																																															
	側 板 厚 さ	mm	□(□*2)																																																																																															
	底 板 厚 さ	mm	□(□*2)																																																																																															
	屋 根 板 厚 さ	mm	□(□*2)																																																																																															
	管 台 外 径 ( 液 出 口 )	mm	76.3*2																																																																																															
	管 台 厚 さ ( 液 出 口 )	mm	□(7*2) □(□*2)																																																																																															
	側 マンホール 外 径	mm	712*2 711.2*2																																																																																															
	側 マンホール 厚 さ	mm	□(□*2)																																																																																															
	側 マンホール ふ た 厚 さ	mm	40*2 □(□*2)																																																																																															
	高 さ	mm	9500*2																																																																																															
材 料	側 板	—	□																																																																																															
	底 板	—	□																																																																																															
	屋 根 板	—	□																																																																																															
	マンホールふた	—	□																																																																																															
個 数	—	2*3																																																																																																
取 付 箇 所	系 統 名	—	軽油タンク A 非常用ディーゼル発電設備 7A, 7C	軽油タンク B 非常用ディーゼル発電設備 7B																																																																																														
	設 置 床	—	屋外 T. M. S. L. 12000mm																																																																																															
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—	—																																																																																															
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—	—																																																																																															



設置変更許可申請書（本文（五号））	設置変更許可申請書（添付書類八） 該当事項	設計及び工事の計画 該当事項	整合性	備考
		<p>注記*1：非常用電源設備のうち非常用発電装置のうち代替交流電源設備，緊急時対策所代替電源設備及び監視測定設備用電源設備並びに補機駆動用燃料設備のうち燃料設備と兼用。</p> <p>*2：公称値を示す。</p> <p>*3：非常用電源設備のうち非常用発電装置のうち代替交流電源設備，緊急時対策所代替電源設備及び監視測定設備用電源設備並びに補機駆動用燃料設備のうち燃料設備として使用する場合は，軽油タンク（6号機設備，重大事故等時のみ6,7号機共用）を含めて個数1(予備3)とする。</p>		

設置変更許可申請書（本文（五号））	設置変更許可申請書（添付書類八） 該当事項	設計及び工事の計画 該当事項	整合性	備考																																																																																									
		<p>c. 軽油タンク（6号機設備，重大事故等時のみ6,7号機共用）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th style="width: 15%;">変 更 前</th> <th style="width: 15%;">変 更 後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">名 称</td> <td></td> <td>                     *1                      軽油タンク                      （6号機設備，重大事故等時のみ                      6,7号機共用）                 </td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td></td> <td style="text-align: center;">(A)      (B)</td> </tr> <tr> <td>種 類</td> <td>—</td> <td></td> <td>たて置円筒形</td> </tr> <tr> <td>容 量</td> <td>kL/個</td> <td></td> <td>□以上(565*<sup>2</sup>)</td> </tr> <tr> <td>最 高 使 用 圧 力</td> <td>MPa</td> <td></td> <td>静水頭</td> </tr> <tr> <td>最 高 使 用 温 度</td> <td>℃</td> <td></td> <td>66</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">主 要 寸 法</td> <td>胴 内 径</td> <td>mm</td> <td>9800*<sup>2</sup></td> </tr> <tr> <td>側 板 厚 さ</td> <td>mm</td> <td>□ (□*<sup>2</sup>)</td> </tr> <tr> <td>底 板 厚 さ</td> <td>mm</td> <td>□ (□*<sup>2</sup>)</td> </tr> <tr> <td>屋 根 板 厚 さ</td> <td>mm</td> <td>□ (□*<sup>2</sup>)</td> </tr> <tr> <td>管 台 外 径 (液 出 口)</td> <td>mm</td> <td>76.3*<sup>2</sup></td> </tr> <tr> <td>管 台 厚 さ (液 出 口)</td> <td>mm</td> <td>□ (□*<sup>2</sup>)      □ (7*<sup>2</sup>)</td> </tr> <tr> <td>側 マンホール 外 径</td> <td>mm</td> <td>711.2*<sup>2</sup>      712*<sup>2</sup></td> </tr> <tr> <td>側 マンホール 厚 さ</td> <td>mm</td> <td>□ (□*<sup>2</sup>)</td> </tr> <tr> <td>側 マンホール ふ た 厚 さ</td> <td>mm</td> <td>□ (□*<sup>2</sup>)      □ (40*<sup>2</sup>)</td> </tr> <tr> <td>高 さ</td> <td>mm</td> <td>9500*<sup>2</sup></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">材 料</td> <td>側 板</td> <td>—</td> <td>□</td> </tr> <tr> <td>底 板</td> <td>—</td> <td>□</td> </tr> <tr> <td>屋 根 板</td> <td>—</td> <td>□</td> </tr> <tr> <td>マ ン ホ ー ル ふ た</td> <td>—</td> <td>□</td> </tr> <tr> <td>個 数</td> <td>—</td> <td></td> <td>2*<sup>3</sup></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">取 付 箇 所</td> <td>系 統 名</td> <td>—</td> <td>軽油タンク A      軽油タンク B 非常用ディーゼル      非常用ディーゼル 発電設備 6A, 6C      発電設備 6B</td> </tr> <tr> <td>設 置 床</td> <td>—</td> <td>屋外 T. M. S. L. 12000mm</td> </tr> <tr> <td>溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>			変 更 前	変 更 後	名 称			*1 軽油タンク （6号機設備，重大事故等時のみ 6,7号機共用）				(A)      (B)	種 類	—		たて置円筒形	容 量	kL/個		□以上(565* <sup>2</sup> )	最 高 使 用 圧 力	MPa		静水頭	最 高 使 用 温 度	℃		66	主 要 寸 法	胴 内 径	mm	9800* <sup>2</sup>	側 板 厚 さ	mm	□ (□* <sup>2</sup> )	底 板 厚 さ	mm	□ (□* <sup>2</sup> )	屋 根 板 厚 さ	mm	□ (□* <sup>2</sup> )	管 台 外 径 (液 出 口)	mm	76.3* <sup>2</sup>	管 台 厚 さ (液 出 口)	mm	□ (□* <sup>2</sup> )      □ (7* <sup>2</sup> )	側 マンホール 外 径	mm	711.2* <sup>2</sup> 712* <sup>2</sup>	側 マンホール 厚 さ	mm	□ (□* <sup>2</sup> )	側 マンホール ふ た 厚 さ	mm	□ (□* <sup>2</sup> )      □ (40* <sup>2</sup> )	高 さ	mm	9500* <sup>2</sup>	材 料	側 板	—	□	底 板	—	□	屋 根 板	—	□	マ ン ホ ー ル ふ た	—	□	個 数	—		2* <sup>3</sup>	取 付 箇 所	系 統 名	—	軽油タンク A      軽油タンク B 非常用ディーゼル      非常用ディーゼル 発電設備 6A, 6C      発電設備 6B	設 置 床	—	屋外 T. M. S. L. 12000mm	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—	—	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—	—	<p>又(2)(iv)-⑫c</p> <p>又(2)(iv)-⑭b</p>	
		変 更 前	変 更 後																																																																																										
名 称			*1 軽油タンク （6号機設備，重大事故等時のみ 6,7号機共用）																																																																																										
			(A)      (B)																																																																																										
種 類	—		たて置円筒形																																																																																										
容 量	kL/個		□以上(565* <sup>2</sup> )																																																																																										
最 高 使 用 圧 力	MPa		静水頭																																																																																										
最 高 使 用 温 度	℃		66																																																																																										
主 要 寸 法	胴 内 径	mm	9800* <sup>2</sup>																																																																																										
	側 板 厚 さ	mm	□ (□* <sup>2</sup> )																																																																																										
	底 板 厚 さ	mm	□ (□* <sup>2</sup> )																																																																																										
	屋 根 板 厚 さ	mm	□ (□* <sup>2</sup> )																																																																																										
	管 台 外 径 (液 出 口)	mm	76.3* <sup>2</sup>																																																																																										
	管 台 厚 さ (液 出 口)	mm	□ (□* <sup>2</sup> )      □ (7* <sup>2</sup> )																																																																																										
	側 マンホール 外 径	mm	711.2* <sup>2</sup> 712* <sup>2</sup>																																																																																										
	側 マンホール 厚 さ	mm	□ (□* <sup>2</sup> )																																																																																										
	側 マンホール ふ た 厚 さ	mm	□ (□* <sup>2</sup> )      □ (40* <sup>2</sup> )																																																																																										
	高 さ	mm	9500* <sup>2</sup>																																																																																										
材 料	側 板	—	□																																																																																										
	底 板	—	□																																																																																										
	屋 根 板	—	□																																																																																										
	マ ン ホ ー ル ふ た	—	□																																																																																										
個 数	—		2* <sup>3</sup>																																																																																										
取 付 箇 所	系 統 名	—	軽油タンク A      軽油タンク B 非常用ディーゼル      非常用ディーゼル 発電設備 6A, 6C      発電設備 6B																																																																																										
	設 置 床	—	屋外 T. M. S. L. 12000mm																																																																																										
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—	—																																																																																										
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—	—																																																																																										
		<p>注記*1：非常用電源設備のうち非常用発電装置のうち緊急時対策所代替電源設備及び監視測定設備用電源設備並びに補機駆動用燃料設備のうち燃料設備と兼用。</p>																																																																																											



設置変更許可申請書（本文（五号））	設置変更許可申請書（添付書類八） 該当事項	設計及び工事の計画 該当事項	整合性	備考
		<p>*2 : 公称値を示す。                      *3 : 重大事故等時のみ軽油タンク（重大事故等時のみ 6,7号機共用）を含めて個数1（予備3）とする。</p>	<p>整合性</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・設計及び工事の計画の 又(2)(iv)-⑫a～又(2)(iv)-⑫c は、設置変更許可申請書（本文（五号））の 又(2)(iv)-⑫と同義であり、整合している。</li> <li>・設計及び工事の計画の 又(2)(iv)-⑬ は、設置変更許可申請書（本文（五号））の 又(2)(iv)-⑬と同義であり、整合している。</li> <li>・設計及び工事の計画の 又(2)(iv)-⑭a 及び 又(2)(iv)-⑭b は、設置変更許可申請書（本文（五号））の 又(2)(iv)-⑭を詳細に記載しており、整合している。</li> </ul>	

設置変更許可申請書（本文（五号））	設置変更許可申請書（添付書類八） 該当事項	設計及び工事の計画 該当事項	整合性	備考																																																			
<p>[可搬型重大事故等対処設備]</p> <p>又(2)(iv)-⑮電源車 (6号及び7号炉共用)</p> <p>台数 又(2)(iv)-⑯8 (予備1台)...</p> <p>容量 約500kVA/台</p>	<p>(2) 可搬型代替交流電源設備</p> <p>a. 電源車 (6号及び7号炉共用)</p> <p>エンジン 台数 8 (予備1).. 使用燃料 軽油 発電機 台数 8 (予備1).. 種類 同期発電機 容量 約500kVA/台 力率 0.8 電圧 6.9kV 周波数 50Hz</p> <p>(5) 可搬型直流電源設備</p> <p>a. 電源車 (6号及び7号炉共用)</p> <p>エンジン 台数 8 (予備1).. 使用燃料 軽油 発電機 台数 8 (予備1).. 種類 同期発電機 容量 約500kVA/台 力率 0.8 電圧 6.9kV 周波数 50Hz</p>	<p>【非常用電源設備】 (要目表)</p> <p>2 非常用発電装置に係る次の事項</p> <p>(2) 内燃機関に係る次の事項 イ 機関の名称、種類、出力、回転速度、燃料の種類及び使用量、個数並びに取付箇所並びに過給機の種類、出口の圧力、回転速度、個数及び取付箇所（常設及び可搬型の別に記載すること。）</p> <p>・可搬型 a. 電源車用内燃機関 (6,7号機共用)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th colspan="3"></th> <th style="text-align: center;">変更前</th> <th style="text-align: center;">変更後</th> </tr> <tr> <th colspan="3" style="text-align: center;">名 称</th> <td style="text-align: center;">又(2)(iv)-⑮a</td> <td style="text-align: center;">電源車用内燃機関 (6,7号機共用) *1</td> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6" style="writing-mode: vertical-rl; text-align: center;">機 関</td> <td style="text-align: center;">種 類</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td rowspan="6" style="text-align: center;">—</td> <td style="text-align: center;">4サイクル水冷直列直接噴射式 ディーゼル機関</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">出 力</td> <td style="text-align: center;">kW</td> <td style="text-align: center;">473</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">回 転 速 度</td> <td style="text-align: center;">min<sup>-1</sup></td> <td style="text-align: center;">1500</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">燃 料 種 類</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td style="text-align: center;">軽油</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">燃 料 使 用 量</td> <td style="text-align: center;">L/h</td> <td style="text-align: center;">110.25</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">個 数</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td style="text-align: center;">又(2)(iv)-⑯a 1*2</td> </tr> <tr> <td rowspan="5" style="writing-mode: vertical-rl; text-align: center;">過 給 機</td> <td style="text-align: center;">取 付 箇 所</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td rowspan="5" style="text-align: center;">—</td> <td style="text-align: center;">電源車 排気タービン式</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">種 類</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td style="text-align: center;">排気タービン式</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">出 口 の 圧 力</td> <td style="text-align: center;">kPa</td> <td style="text-align: center;">□</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">回 転 速 度</td> <td style="text-align: center;">min<sup>-1</sup></td> <td style="text-align: center;">□</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">個 数</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td style="text-align: center;">1*2</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">取 付 箇 所</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td style="text-align: center;">機関と同じ</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記*1：電源車の付属機器である。 *2：電源車1個当たりの個数を示す。 又(2)(iv)-⑯b</p>				変更前	変更後	名 称			又(2)(iv)-⑮a	電源車用内燃機関 (6,7号機共用) *1	機 関	種 類	—	—	4サイクル水冷直列直接噴射式 ディーゼル機関	出 力	kW	473	回 転 速 度	min <sup>-1</sup>	1500	燃 料 種 類	—	軽油	燃 料 使 用 量	L/h	110.25	個 数	—	又(2)(iv)-⑯a 1*2	過 給 機	取 付 箇 所	—	—	電源車 排気タービン式	種 類	—	排気タービン式	出 口 の 圧 力	kPa	□	回 転 速 度	min <sup>-1</sup>	□	個 数	—	1*2	取 付 箇 所	—	—	機関と同じ		
			変更前	変更後																																																			
名 称			又(2)(iv)-⑮a	電源車用内燃機関 (6,7号機共用) *1																																																			
機 関	種 類	—	—	4サイクル水冷直列直接噴射式 ディーゼル機関																																																			
	出 力	kW		473																																																			
	回 転 速 度	min <sup>-1</sup>		1500																																																			
	燃 料 種 類	—		軽油																																																			
	燃 料 使 用 量	L/h		110.25																																																			
	個 数	—		又(2)(iv)-⑯a 1*2																																																			
過 給 機	取 付 箇 所	—	—	電源車 排気タービン式																																																			
	種 類	—		排気タービン式																																																			
	出 口 の 圧 力	kPa		□																																																			
	回 転 速 度	min <sup>-1</sup>		□																																																			
	個 数	—		1*2																																																			
取 付 箇 所	—	—	機関と同じ																																																				

設置変更許可申請書（本文（五号））	設置変更許可申請書（添付書類八） 該当事項	設計及び工事の計画 該当事項	整合性	備考																																																																			
		<p>・可搬型 a. 電源車（6,7号機共用）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th style="text-align: center;">変更前</th> <th style="text-align: center;">変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">名 称</td> <td></td> <td style="text-align: center;">又(2)(iv)-⑮b 電源車 (6,7号機共用)</td> </tr> <tr> <td>種 類</td> <td>—</td> <td></td> <td style="text-align: center;">同期発電機</td> </tr> <tr> <td>容 量</td> <td>kVA/個</td> <td></td> <td style="text-align: center;">500</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">主 要 寸 法</td> <td>た て</td> <td>mm</td> <td style="text-align: center;">1359*</td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm</td> <td style="text-align: center;">750*</td> </tr> <tr> <td>高 さ</td> <td>mm</td> <td style="text-align: center;">730*</td> </tr> <tr> <td>車 両 全 長</td> <td>mm</td> <td style="text-align: center;">6885*</td> </tr> <tr> <td>車 両 全 幅</td> <td>mm</td> <td style="text-align: center;">2200*</td> </tr> <tr> <td>車 両 高 さ</td> <td>mm</td> <td style="text-align: center;">3040*</td> </tr> <tr> <td>力 率</td> <td>—</td> <td></td> <td style="text-align: center;">0.8</td> </tr> <tr> <td>電 圧</td> <td>V</td> <td></td> <td style="text-align: center;">6900</td> </tr> <tr> <td>相</td> <td>—</td> <td></td> <td style="text-align: center;">3</td> </tr> <tr> <td>周 波 数</td> <td>Hz</td> <td></td> <td style="text-align: center;">50</td> </tr> <tr> <td>回 転 速 度</td> <td>min<sup>-1</sup></td> <td></td> <td style="text-align: center;">1500</td> </tr> <tr> <td>結 線 法</td> <td>—</td> <td></td> <td style="text-align: center;">星形</td> </tr> <tr> <td>冷 却 方 法</td> <td>—</td> <td></td> <td style="text-align: center;">自由通流</td> </tr> <tr> <td>個 数</td> <td>—</td> <td></td> <td style="text-align: center;">又(2)(iv)-⑯c 8(予備1)</td> </tr> </tbody> </table> <p>取 付 箇 所 —</p> <p>取付箇所：          【6号機】2個          原子炉建屋 T.M.S.L. 4800mm          動力変圧器，          原子炉建屋 T.M.S.L. 4800mm          緊急用電源切替箱接続装置，          原子炉建屋 T.M.S.L. 31700mm          AM用動力変圧器 又は          屋外 T.M.S.L. 約 12000mm          熱交換器ユニット</p> <p>【7号機】2個          原子炉建屋 T.M.S.L. 4800mm          動力変圧器，          原子炉建屋 T.M.S.L. 18100mm          緊急用電源切替箱接続装置，          原子炉建屋 T.M.S.L. 23500mm          AM用動力変圧器 又は          屋外 T.M.S.L. 約 12000mm          熱交換器ユニット</p> <p>注記*：公称値を示す。</p>			変更前	変更後	名 称			又(2)(iv)-⑮b 電源車 (6,7号機共用)	種 類	—		同期発電機	容 量	kVA/個		500	主 要 寸 法	た て	mm	1359*	横	mm	750*	高 さ	mm	730*	車 両 全 長	mm	6885*	車 両 全 幅	mm	2200*	車 両 高 さ	mm	3040*	力 率	—		0.8	電 圧	V		6900	相	—		3	周 波 数	Hz		50	回 転 速 度	min <sup>-1</sup>		1500	結 線 法	—		星形	冷 却 方 法	—		自由通流	個 数	—		又(2)(iv)-⑯c 8(予備1)		
		変更前	変更後																																																																				
名 称			又(2)(iv)-⑮b 電源車 (6,7号機共用)																																																																				
種 類	—		同期発電機																																																																				
容 量	kVA/個		500																																																																				
主 要 寸 法	た て	mm	1359*																																																																				
	横	mm	750*																																																																				
	高 さ	mm	730*																																																																				
	車 両 全 長	mm	6885*																																																																				
	車 両 全 幅	mm	2200*																																																																				
	車 両 高 さ	mm	3040*																																																																				
力 率	—		0.8																																																																				
電 圧	V		6900																																																																				
相	—		3																																																																				
周 波 数	Hz		50																																																																				
回 転 速 度	min <sup>-1</sup>		1500																																																																				
結 線 法	—		星形																																																																				
冷 却 方 法	—		自由通流																																																																				
個 数	—		又(2)(iv)-⑯c 8(予備1)																																																																				
<p>整合性</p> <p>・設計及び工事の計画の又(2)(iv)-⑮a及び又(2)(iv)-⑮bは，設置変更許可申請書（本文（五号））の又(2)(iv)-⑮と同義であり，整合している。</p> <p>・設計及び工事の計画の又(2)(iv)-⑯a～又(2)(iv)-⑯cは，設置変更許可申請書（本文（五号））の又(2)(iv)-⑯と同義であり，整合している。</p>																																																																							

設置変更許可申請書（本文（五号））	設置変更許可申請書（添付書類八） 該当事項	設計及び工事の計画 該当事項	整合性	備考
<p>号炉間電力融通ケーブル（可搬型）（6号及び7号炉共用）</p> <p>個数 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">又(2)(iv)-⑰</span>1</p>	<p>(3) 号炉間電力融通電気設備</p> <p>b. <u>号炉間電力融通ケーブル（可搬型）（6号及び7号炉共用）</u></p> <p>個数 1</p>	<p>【非常用電源設備】 （基本設計方針）</p> <p>第2章 個別項目</p> <p>1. 非常用電源設備の電源系統</p> <p>1.3 号炉間電力融通系統</p> <p>&lt;中略&gt;</p> <p>号炉間電力融通電気設備は、号炉間電力融通ケーブル（常設）（「6,7号機共用，6号機及び7号機の間をわたり設置」（以下同じ。））（6900V，258.3Aのものを1相分1本の3相分3本を1セット），<u>号炉間電力融通ケーブル（可搬型）</u>（「6,7号機共用，7号機に保管」（以下同じ。））（6900V，258.3Aのものを<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">又(2)(iv)-⑰</span>1相分1本の3相分3本を1セット），計測制御装置で構成し、号炉間電力融通ケーブル（常設）をあらかじめ敷設し、6号機及び7号機の緊急用電源切替箱断路器に手動で接続することで、6号機の電源設備からメタルクラッド開閉装置7C及びメタルクラッド開閉装置7Dに電力を融通できる設計とする。また、号炉間電力融通ケーブル（常設）が使用できない場合に、予備ケーブルとして号炉間電力融通ケーブル（可搬型）を6号機及び7号機の緊急用電源切替箱断路器に手動で接続することで、6号機の電源設備からメタルクラッド開閉装置7C及びメタルクラッド開閉装置7Dに電力を融通できる設計とする。</p> <p>&lt;中略&gt;</p>	<p>設計及び工事の計画の<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">又(2)(iv)-⑰</span>は、設置変更許可申請書（本文（五号））の<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">又(2)(iv)-⑰</span>を詳細設計した結果であり、整合している。</p>	

設置変更許可申請書（本文（五号））	設置変更許可申請書（添付書類八） 該当事項	設計及び工事の計画 該当事項	整合性	備考																																																																																				
<p>タンクローリ（16kL）（6号及び7号炉共用）</p> <p>台数 <u>1（予備1）</u></p> <p>容量 <u>約16kL/台</u></p>	<p>(1) 常設代替交流電源設備</p> <p>e. <u>タンクローリ（16kL）（6号及び7号炉共用）</u></p> <p>台数 <u>1（予備1）</u></p> <p>容量 <u>約16kL/台</u></p>	<p>【非常用電源設備】</p> <p>(要目表)</p> <p>2 非常用発電装置に係る次の事項</p> <p>・可搬型</p> <p>a. <u>タンクローリ（16kL）（6,7号機共用）</u></p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th style="text-align: center;">変更前</th> <th style="text-align: center;">変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">名 称</td> <td></td> <td style="text-align: center;"><u>タンクローリ（16kL）</u> <u>（6,7号機共用）</u></td> </tr> <tr> <td>種</td> <td>類</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td style="text-align: center;">槽円筒型</td> </tr> <tr> <td>容</td> <td>量</td> <td style="text-align: center;">kL</td> <td style="text-align: center;">16以上（16*1）</td> </tr> <tr> <td>最 高 使 用 圧 力*2</td> <td></td> <td style="text-align: center;">kPa</td> <td style="text-align: center;">24</td> </tr> <tr> <td>最 高 使 用 温 度*2</td> <td></td> <td style="text-align: center;">℃</td> <td style="text-align: center;">40</td> </tr> <tr> <td rowspan="10" style="text-align: center;">主 要 寸 法</td> <td>胴 長 径</td> <td style="text-align: center;">mm</td> <td style="text-align: center;">2460*1</td> </tr> <tr> <td>胴 短 径</td> <td style="text-align: center;">mm</td> <td style="text-align: center;">1395*1</td> </tr> <tr> <td>全 長</td> <td style="text-align: center;">mm</td> <td style="text-align: center;">6200*1</td> </tr> <tr> <td>胴 板 厚 さ</td> <td style="text-align: center;">mm</td> <td style="text-align: center;">4.0(4.0*1)</td> </tr> <tr> <td>胴板厚さ（底部）</td> <td style="text-align: center;">mm</td> <td style="text-align: center;">4.5(4.5*1)</td> </tr> <tr> <td>鏡板の形状に係る寸法</td> <td style="text-align: center;">mm</td> <td style="text-align: center;">2460*1 （鏡板の内面における長径）</td> </tr> <tr> <td>鏡 板 厚 さ</td> <td style="text-align: center;">mm</td> <td style="text-align: center;">200*1 （鏡板の内面における短径の2分の1）</td> </tr> <tr> <td>管台外径（排出口）</td> <td style="text-align: center;">mm</td> <td style="text-align: center;">4.59(5.0*1)</td> </tr> <tr> <td>管台厚さ（排出口）</td> <td style="text-align: center;">mm</td> <td style="text-align: center;">165*1</td> </tr> <tr> <td>マンホール外径</td> <td style="text-align: center;">mm</td> <td style="text-align: center;">4.77(5.0*1)</td> </tr> <tr> <td>マンホール管台厚さ</td> <td style="text-align: center;">mm</td> <td style="text-align: center;">413*1</td> </tr> <tr> <td>マンホールふた厚さ</td> <td style="text-align: center;">mm</td> <td style="text-align: center;">6.1(7.5*1)</td> </tr> <tr> <td>車 両 全 長</td> <td style="text-align: center;">mm</td> <td style="text-align: center;">3.2(3.2*1)</td> </tr> <tr> <td>車 両 全 幅</td> <td style="text-align: center;">mm</td> <td style="text-align: center;">9270*1</td> </tr> <tr> <td>車 両 全 高</td> <td style="text-align: center;">mm</td> <td style="text-align: center;">2490*1</td> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center;">材 料</td> <td>胴 板</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td style="text-align: center;">A5083P</td> </tr> <tr> <td>鏡 板</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td style="text-align: center;">A5083P</td> </tr> <tr> <td>マンホールふた</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td style="text-align: center;">Q235B</td> </tr> <tr> <td>個</td> <td>数</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td style="text-align: center;"><u>1（予備1）</u></td> </tr> </tbody> </table>			変更前	変更後	名 称			<u>タンクローリ（16kL）</u> <u>（6,7号機共用）</u>	種	類	—	槽円筒型	容	量	kL	16以上（16*1）	最 高 使 用 圧 力*2		kPa	24	最 高 使 用 温 度*2		℃	40	主 要 寸 法	胴 長 径	mm	2460*1	胴 短 径	mm	1395*1	全 長	mm	6200*1	胴 板 厚 さ	mm	4.0(4.0*1)	胴板厚さ（底部）	mm	4.5(4.5*1)	鏡板の形状に係る寸法	mm	2460*1 （鏡板の内面における長径）	鏡 板 厚 さ	mm	200*1 （鏡板の内面における短径の2分の1）	管台外径（排出口）	mm	4.59(5.0*1)	管台厚さ（排出口）	mm	165*1	マンホール外径	mm	4.77(5.0*1)	マンホール管台厚さ	mm	413*1	マンホールふた厚さ	mm	6.1(7.5*1)	車 両 全 長	mm	3.2(3.2*1)	車 両 全 幅	mm	9270*1	車 両 全 高	mm	2490*1	材 料	胴 板	—	A5083P	鏡 板	—	A5083P	マンホールふた	—	Q235B	個	数	—	<u>1（予備1）</u>		
		変更前	変更後																																																																																					
名 称			<u>タンクローリ（16kL）</u> <u>（6,7号機共用）</u>																																																																																					
種	類	—	槽円筒型																																																																																					
容	量	kL	16以上（16*1）																																																																																					
最 高 使 用 圧 力*2		kPa	24																																																																																					
最 高 使 用 温 度*2		℃	40																																																																																					
主 要 寸 法	胴 長 径	mm	2460*1																																																																																					
	胴 短 径	mm	1395*1																																																																																					
	全 長	mm	6200*1																																																																																					
	胴 板 厚 さ	mm	4.0(4.0*1)																																																																																					
	胴板厚さ（底部）	mm	4.5(4.5*1)																																																																																					
	鏡板の形状に係る寸法	mm	2460*1 （鏡板の内面における長径）																																																																																					
	鏡 板 厚 さ	mm	200*1 （鏡板の内面における短径の2分の1）																																																																																					
	管台外径（排出口）	mm	4.59(5.0*1)																																																																																					
	管台厚さ（排出口）	mm	165*1																																																																																					
	マンホール外径	mm	4.77(5.0*1)																																																																																					
マンホール管台厚さ	mm	413*1																																																																																						
マンホールふた厚さ	mm	6.1(7.5*1)																																																																																						
車 両 全 長	mm	3.2(3.2*1)																																																																																						
車 両 全 幅	mm	9270*1																																																																																						
車 両 全 高	mm	2490*1																																																																																						
材 料	胴 板	—	A5083P																																																																																					
	鏡 板	—	A5083P																																																																																					
	マンホールふた	—	Q235B																																																																																					
個	数	—	<u>1（予備1）</u>																																																																																					

設置変更許可申請書（本文（五号））	設置変更許可申請書（添付書類八） 該当事項	設計及び工事の計画 該当事項	整合性	備考												
		<table border="1" data-bbox="1647 352 2614 821"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>取</td> <td>付</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>箇</td> <td>所</td> <td></td> <td>                     保管場所：                      荒浜側高台保管場所                      T.M.S.L.約 37000mm                      及び                      大湊側高台保管場所                      T.M.S.L.約 35000mm                      予備を含めた 2 個を上記 2 箇所にそれぞれ 1 個ずつ保管する。                      取付箇所：                      [ D/G 軽油タンク設置エリア*3 ]                      T.M.S.L.約 12000mm                 </td> </tr> </tbody> </table> <p data-bbox="1665 829 2122 934">                     注記*1：公称値を示す。                      *2：重大事故等時における使用時の値。                      *3：燃料油の吸入箇所を示す。                 </p>			変更前	変更後	取	付	—	—	箇	所		保管場所： 荒浜側高台保管場所 T.M.S.L.約 37000mm 及び 大湊側高台保管場所 T.M.S.L.約 35000mm 予備を含めた 2 個を上記 2 箇所にそれぞれ 1 個ずつ保管する。 取付箇所： [ D/G 軽油タンク設置エリア*3 ] T.M.S.L.約 12000mm		
		変更前	変更後													
取	付	—	—													
箇	所		保管場所： 荒浜側高台保管場所 T.M.S.L.約 37000mm 及び 大湊側高台保管場所 T.M.S.L.約 35000mm 予備を含めた 2 個を上記 2 箇所にそれぞれ 1 個ずつ保管する。 取付箇所： [ D/G 軽油タンク設置エリア*3 ] T.M.S.L.約 12000mm													

設置変更許可申請書（本文（五号））	設置変更許可申請書（添付書類八） 該当事項	設計及び工事の計画 該当事項	整合性	備考																																																																																							
<p>タンクローリ（4kL）（6号及び7号炉共用）</p> <p>台数 <u>3（予備1）</u></p> <p>容量 <u>約4kL/台</u></p>	<p>(2) 可搬型代替交流電源設備</p> <p>c. <u>タンクローリ（4kL）（6号及び7号炉共用）</u></p> <p>台数 <u>3（予備1）</u></p> <p>容量 <u>約4kL/台</u></p> <p>(5) 可搬型直流電源設備</p> <p>d. <u>タンクローリ（4kL）（6号及び7号炉共用）</u></p> <p>台数 <u>3（予備1）</u></p> <p>容量 <u>約4kL/台</u></p> <p>(7) 燃料補給設備</p> <p>b. <u>タンクローリ（4kL）（6号及び7号炉共用）</u></p> <p>台数 <u>3（予備1）</u></p> <p>容量 <u>約4kL/台</u></p>	<p>b. <u>タンクローリ（4kL）（6,7号機共用）</u></p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2" style="text-align: center;">名称</th> <th style="text-align: center;">変更前</th> <th style="text-align: center;">変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>種</td> <td>類</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td style="text-align: center;"><u>タンクローリ（4kL）（6,7号機共用）*1</u></td> </tr> <tr> <td>容</td> <td>量</td> <td style="text-align: center;">kL/個</td> <td style="text-align: center;">だ円型横置</td> </tr> <tr> <td>最</td> <td>高 使 用 圧 力 *3</td> <td style="text-align: center;">kPa</td> <td style="text-align: center;">4.0 以上 (4.0*2)</td> </tr> <tr> <td>最</td> <td>高 使 用 温 度 *3</td> <td style="text-align: center;">℃</td> <td style="text-align: center;">24</td> </tr> <tr> <td rowspan="14" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">主 要 寸 法</td> <td>胴 長 径</td> <td style="text-align: center;">mm</td> <td style="text-align: center;">40</td> </tr> <tr> <td>胴 短 径</td> <td style="text-align: center;">mm</td> <td style="text-align: center;">1800*2</td> </tr> <tr> <td>全 長</td> <td style="text-align: center;">mm</td> <td style="text-align: center;">930*2</td> </tr> <tr> <td>胴 板 厚 さ（上板）</td> <td style="text-align: center;">mm</td> <td style="text-align: center;">3350*2</td> </tr> <tr> <td>胴 板 厚 さ</td> <td style="text-align: center;">mm</td> <td style="text-align: center;">3.2 (3.2*2)</td> </tr> <tr> <td>鏡板の形状に係る寸法</td> <td style="text-align: center;">mm</td> <td style="text-align: center;">2.8 (3.2*2)</td> </tr> <tr> <td>鏡 板 厚 さ</td> <td style="text-align: center;">mm</td> <td style="text-align: center;">1800*2 (鏡板の内面における長径)</td> </tr> <tr> <td>管台外径（排出口）</td> <td style="text-align: center;">mm</td> <td style="text-align: center;">65*2 (鏡板の内面における短径の2分の1)</td> </tr> <tr> <td>管台厚さ（排出口）</td> <td style="text-align: center;">mm</td> <td style="text-align: center;">2.8 (3.2*2)</td> </tr> <tr> <td>マンホール外径</td> <td style="text-align: center;">mm</td> <td style="text-align: center;">137.9*2</td> </tr> <tr> <td>マンホール管台厚さ</td> <td style="text-align: center;">mm</td> <td style="text-align: center;">2.8 (3.2*2)</td> </tr> <tr> <td>マンホールふた厚さ</td> <td style="text-align: center;">mm</td> <td style="text-align: center;">406.4*2</td> </tr> <tr> <td>車 両 全 長</td> <td style="text-align: center;">mm</td> <td style="text-align: center;">2.8 (3.2*2)</td> </tr> <tr> <td>車 両 全 幅</td> <td style="text-align: center;">mm</td> <td style="text-align: center;">2.8 (3.2*2)</td> </tr> <tr> <td>車 両 全 高</td> <td style="text-align: center;">mm</td> <td style="text-align: center;">6185*2</td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">材 料</td> <td>胴 板（上板）</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td style="text-align: center;">2200*2</td> </tr> <tr> <td>胴 板</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td style="text-align: center;">2400*2</td> </tr> <tr> <td>鏡 板</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td style="text-align: center;">SS400 相当 (KCP-SS400)</td> </tr> <tr> <td>マンホールカバー</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td style="text-align: center;">SAPH400</td> </tr> <tr> <td>個</td> <td>数</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td style="text-align: center;">SAPH400</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td></td> <td style="text-align: center;"><u>3（予備1）</u></td> </tr> </tbody> </table>	名称		変更前	変更後	種	類	—	<u>タンクローリ（4kL）（6,7号機共用）*1</u>	容	量	kL/個	だ円型横置	最	高 使 用 圧 力 *3	kPa	4.0 以上 (4.0*2)	最	高 使 用 温 度 *3	℃	24	主 要 寸 法	胴 長 径	mm	40	胴 短 径	mm	1800*2	全 長	mm	930*2	胴 板 厚 さ（上板）	mm	3350*2	胴 板 厚 さ	mm	3.2 (3.2*2)	鏡板の形状に係る寸法	mm	2.8 (3.2*2)	鏡 板 厚 さ	mm	1800*2 (鏡板の内面における長径)	管台外径（排出口）	mm	65*2 (鏡板の内面における短径の2分の1)	管台厚さ（排出口）	mm	2.8 (3.2*2)	マンホール外径	mm	137.9*2	マンホール管台厚さ	mm	2.8 (3.2*2)	マンホールふた厚さ	mm	406.4*2	車 両 全 長	mm	2.8 (3.2*2)	車 両 全 幅	mm	2.8 (3.2*2)	車 両 全 高	mm	6185*2	材 料	胴 板（上板）	—	2200*2	胴 板	—	2400*2	鏡 板	—	SS400 相当 (KCP-SS400)	マンホールカバー	—	SAPH400	個	数	—	SAPH400				<u>3（予備1）</u>		
名称		変更前	変更後																																																																																								
種	類	—	<u>タンクローリ（4kL）（6,7号機共用）*1</u>																																																																																								
容	量	kL/個	だ円型横置																																																																																								
最	高 使 用 圧 力 *3	kPa	4.0 以上 (4.0*2)																																																																																								
最	高 使 用 温 度 *3	℃	24																																																																																								
主 要 寸 法	胴 長 径	mm	40																																																																																								
	胴 短 径	mm	1800*2																																																																																								
	全 長	mm	930*2																																																																																								
	胴 板 厚 さ（上板）	mm	3350*2																																																																																								
	胴 板 厚 さ	mm	3.2 (3.2*2)																																																																																								
	鏡板の形状に係る寸法	mm	2.8 (3.2*2)																																																																																								
	鏡 板 厚 さ	mm	1800*2 (鏡板の内面における長径)																																																																																								
	管台外径（排出口）	mm	65*2 (鏡板の内面における短径の2分の1)																																																																																								
	管台厚さ（排出口）	mm	2.8 (3.2*2)																																																																																								
	マンホール外径	mm	137.9*2																																																																																								
	マンホール管台厚さ	mm	2.8 (3.2*2)																																																																																								
	マンホールふた厚さ	mm	406.4*2																																																																																								
	車 両 全 長	mm	2.8 (3.2*2)																																																																																								
	車 両 全 幅	mm	2.8 (3.2*2)																																																																																								
車 両 全 高	mm	6185*2																																																																																									
材 料	胴 板（上板）	—	2200*2																																																																																								
	胴 板	—	2400*2																																																																																								
	鏡 板	—	SS400 相当 (KCP-SS400)																																																																																								
	マンホールカバー	—	SAPH400																																																																																								
個	数	—	SAPH400																																																																																								
			<u>3（予備1）</u>																																																																																								

設置変更許可申請書（本文（五号））	設置変更許可申請書（添付書類八） 該当事項	設計及び工事の計画 該当事項		整合性	備考								
		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2" style="text-align: left;">取付箇所</th> <th style="text-align: center;">変更前</th> <th style="text-align: center;">変 更 後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="width: 50%; text-align: center;">—</td> <td style="width: 50%; text-align: center;">—</td> <td style="width: 15%; text-align: center;">—</td> <td style="width: 80%;">                     保管場所：                      荒浜側高台保管場所                      T. M. S. L. 約 37000mm                      及び                      大湊側高台保管場所                      T. M. S. L. 約 35000mm                      及び                      5号機東側第二保管場所                      T. M. S. L. 約 12000mm                      上記 3 箇所に分散配置                      取付箇所：                      ( D/G 軽油タンク設置エリア*4 )                      T. M. S. L. 約 12000mm                 </td> </tr> </tbody> </table> <p style="font-size: small; margin-top: 5px;">注記*1：非常用電源設備のうち非常用発電装置のうち緊急時対策所代替電源設備，監視測定設備用電源設備及び補機駆動用燃料設備のうち燃料設備と兼用。                      *2：公称値を示す。                      *3：重大事故等時における使用時の値。                      *4：燃料油の吸入箇所を示す。</p>		取付箇所		変更前	変 更 後	—	—	—	保管場所： 荒浜側高台保管場所 T. M. S. L. 約 37000mm 及び 大湊側高台保管場所 T. M. S. L. 約 35000mm 及び 5号機東側第二保管場所 T. M. S. L. 約 12000mm 上記 3 箇所に分散配置 取付箇所： ( D/G 軽油タンク設置エリア*4 ) T. M. S. L. 約 12000mm		
取付箇所		変更前	変 更 後										
—	—	—	保管場所： 荒浜側高台保管場所 T. M. S. L. 約 37000mm 及び 大湊側高台保管場所 T. M. S. L. 約 35000mm 及び 5号機東側第二保管場所 T. M. S. L. 約 12000mm 上記 3 箇所に分散配置 取付箇所： ( D/G 軽油タンク設置エリア*4 ) T. M. S. L. 約 12000mm										



設置変更許可申請書（本文（五号））	設置変更許可申請書（添付書類八） 該当事項	設計及び工事の計画 該当事項	整合性	備考
<p>(iv) 補機駆動用燃料設備</p> <p><u>又(3)(iv)-①重大事故等に対処するために使用する可搬型又は常設設備の動作に必要な駆動燃料を貯蔵及び補給する燃料設備として軽油タンク及びタンクローリ(4kL)を設ける。</u></p>	<p>10.7 補機駆動用燃料設備（非常用発電設備及び補助ボイラに係るものを除く。）</p> <p>10.7.1 概要</p> <p><u>重大事故等に対処するために使用する可搬型又は常設設備の動作に必要な駆動燃料を貯蔵及び補給する燃料設備として軽油タンク及びタンクローリ(4kL)を設ける。</u></p>	<p><b>【補機駆動用燃料設備】</b> （基本設計方針）</p> <p>第2章 個別項目</p> <p>1. 補機駆動用燃料設備</p> <p>&lt;中略&gt;</p> <p>可搬型代替注水ポンプ（A-1級）（「6,7号機共用」（以下同じ。）」）、可搬型代替注水ポンプ（A-2級）（「6,7号機共用」（以下同じ。）」）、大容量送水車（熱交換器ユニット用）（「6,7号機共用」（以下同じ。）」）、大容量送水車（原子炉建屋放水設備用）（「6,7号機共用」（以下同じ。）」）又は大容量送水車（海水取水用）（「6,7号機共用」（以下同じ。）」）のポンプ駆動用燃料は、可搬型代替注水ポンプ（A-1級）燃料タンク（6,7号機共用）、可搬型代替注水ポンプ（A-2級）燃料タンク（6,7号機共用）、大容量送水車（熱交換器ユニット用）燃料タンク（6,7号機共用）、大容量送水車（原子炉建屋放水設備用）燃料タンク（6,7号機共用）又は大容量送水車（海水取水用）燃料タンク（6,7号機共用）に貯蔵する。</p> <p><u>軽油タンク（「重大事故等時のみ6,7号機共用」,「6号機設備,重大事故等時のみ6,7号機共用」（以下同じ。）」）</u></p> <p><u>又(3)(iv)-①aは、可搬型代替注水ポンプ（A-1級）、可搬型代替注水ポンプ（A-2級）、大容量送水車（熱交換器ユニット用）、大容量送水車（原子炉建屋放水設備用）及び大容量送水車（海水取水用）の燃料を貯蔵できる設計とする。</u></p> <p><u>可搬型代替注水ポンプ（A-1級）、可搬型代替注水ポンプ（A-2級）、大容量送水車（熱交換器ユニット用）、大容量送水車（原子炉建屋放水設備用）及び大容量送水車（海水取水用）は、軽油タンクからタンクローリ（4kL）（6,7号機共用）及びホースを用いて燃料を補給できる設計とする。</u></p>	<p>設計及び工事の計画の<u>又(3)(iv)-①a</u>及び<u>又(3)(iv)-①b</u>は、設置変更許可申請書（本文（五号））の<u>又(3)(iv)-①</u>を具体的に記載しており、整合している。</p>	

設置変更許可申請書（本文（五号））	設置変更許可申請書（添付書類八） 該当事項	設計及び工事の計画 該当事項	整合性	備考
<p>軽油タンク及びタンクローリ（4kL）は、ヌ、(2)、(iv)代替電源設備に記載する。</p>	<p>軽油タンク及びタンクローリ（4kL）は、「10.2 代替電源設備」に記載する。</p>	<p>【非常用電源設備】 （基本設計方針） 第2章 個別項目 4. 燃料設備 4.3 その他発電装置の燃料補給設備 ヌ(3)(iv)-①b 重大事故等時に非常用電源設備の燃料を貯蔵及び補給する設備として、<u>軽油タンク、タンクローリ（4kL）及びホースを使用できる設計とする。</u> 電源車、モニタリングポスト用発電機及び5号機原子炉建屋内緊急時対策所用可搬型電源設備は、<u>軽油タンクからタンクローリ（4kL）を用いて燃料を補給できる設計とする。</u> 軽油タンクからタンクローリ（4kL）への軽油の補給は、ホースを用いる設計とする。 &lt;中略&gt;</p>	<p>設置変更許可申請書（本文（五号））「ヌ、(2)、(iv)代替電源設備」に示す。</p>	